あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

FFG 調査月報

We look into your eyes, lend an ear to you, and engage with you.

Top Interview

- 髙木　義幸 氏　三光 株式会社　代表取締役社長
- 大村　陽之介 氏　学校法人 大村文化学園　理事長
- 濱地　泰行 氏　株式会社 ハマジ　代表取締役社長
- 田代　博之 氏　株式会社 タシロ　代表取締役社長

地域と共生するFFG

宗像・沖ノ島と関連遺産群
神宿る島

特集

海外ビジネスリポート

9

Season's Greeting

支店からの便り

福岡銀行
黒門支店

今回は、福岡銀行 黒門支店からの秋の便りです。

季節の便り㉘

伊崎漁港はもともと西公園下にありましたが、福浜地区の埋め立てに伴い現在の福浜1丁目に移転しました。毎週土曜日15時から開催される「伊崎のおさかな夕市」は玄界灘でとれた魚介類が豊富で、あっと言う間に売り切れてしまいます。

漁港周辺はかつて、砂浜と松林の風景でした。今では漁港とドームが過去と現代を映し出す素晴らしい風景となっています。

九州を知る！マンスリーコラム…49

大政奉還ヲ決断サセタ男。

小松帯刀

鹿児島市出身

1835年~1870年
（満34歳没）

鶴丸城御楼門 明治六年焼失

幕末・維新期に薩摩藩を担った若き家老。雄藩を率いて近代日本に向かう潮流を先導した英傑である。激動の時代を彩る群像のなかにあって小松帯刀は表舞台の活劇でこそ遠景だが、西郷隆盛や大久保利通を重用し坂本龍馬を庇護して縦横に働かせたのはほかならぬこのひとである。将軍・一橋慶喜、勝海舟はじめ幕府の要人とも交誼して英雄たちを動かした先見の演出家であった。三十四年九か月の生の最後の数年がなければ薩長同盟も大政奉還もなかった。

大隅半島・喜入領主の肝付家に生まれた。龍馬と同じ生年は「黒船騒動」の十八年前。成年を迎えて時勢は幕末動乱の予兆にあった。幼少より勉学に秀でた。育まれた品格と識見、門閥の出自にありながら身分や国籍を超えて交わる闊達さが大事を成す大器を育てた。藩政デビューは藩主・斉彬に見込まれて小松家の養子となり、吉利領主を継いだところに始まる。斉彬亡きあとの久光の信頼も厚く、二十七歳にして家老に抜擢され、開明路線をリードした。

生麦事件・薩英戦争の事後処理を英国との親交に結びつけた外交手腕も、勝の軍艦奉行罷免で路頭に迷う龍馬ら海軍操練所の塾生を藩邸に保護して海援隊設立にいたる支

geppou
最新情報を携帯からもチェック！

鶴丸城跡（城山町）

援を惜しまなかった慧眼も帯刀のものであった。禁門の変で敵対した長州に、切望する銃器・艦船を融通して信頼で実現させた薩長同盟、倒幕の戦乱を回避すべく京都二条城の諸侯会議で将軍を前に情理を尽くして決断をさせた大政奉還。限られた命を燃焼して成したハイライトである。

龍馬は新政府を構想して慶喜と帯刀を最重要のポストに配した。運命は人智を超え、外圧の渦中で無血革命こそと奮迅した龍馬は凶刃に帯刀は病魔に倒れ、調整役を失った潮流は倒幕、佐幕の対立を先鋭化させて戊辰の悲劇へと怒涛する。巷間言われる日本初の新婚旅行、龍馬夫妻の霧島湯治は寺田屋事件で傷ついた龍馬への帯刀の心遣いであった。自身はそれより十年早く、新婚の妻を伴って霧島に旅している。龍馬との深交と人柄を伝える挿話である。

所在地：鶴丸城跡…鹿児島市城山町／小松帯刀像…鹿児島市山下町

※写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟（鶴丸城跡）
尚古集成館（鶴丸城御楼門・小松帯刀肖像）

CONTENTS

1

6

12

18

24

2

※写真提供：尚古集成館

36

46

50

100

2 九州を知る！ マンスリーコラム㊾
大政奉還ヲ決断サセタ男。 小松 帯刀

トップに聞く！
Topinterview

6 産業に貢献し、未来を創造する
世界オンリーワンの化学品
製造・販売企業を目指します。
三光 株式会社 髙木 義幸 氏
福岡銀行

12 「一に人格 二に技術」を教育理念に、
独自教育プログラムで
業界を牽引する人材を育成しています。
学校法人 大村文化学園 大村 陽之介 氏
福岡銀行

18 九州9ヶ所を拠点に
サイン業界をリードする一流企業へ。
株式会社 ハマジ 濱地 泰行 氏
熊本銀行

24 未来と地域を見つめ次の100年へ。
高品質の商品・サービス・システムを提供し
お客様に喜び、感動、幸せを届けます。
株式会社 タシロ 田代 博之 氏
親和銀行

36 地域と共生するFFG
宗像・沖ノ島と関連遺産群
神宿る島

46 九州の逸品
佐賀 本煎りごま豆腐 ペロリン

52 アジア駐在員報告（上海・シンガポール）

64 海外進出最前線（大連・バンコク）

68 貿易お役立ち情報

72 DATA in 九州
今月の注目データ

74 経済動向・経済指標

98 見つけたアジア
タージ・マハル

100 九州の達人
観世流 能役者 坂口 貴信

今月の表紙

中秋の名月

今年の中秋の名月は9月27日です。お月見は平安時代に遣唐使によって伝えられ、宮中で月見の宴が催されていたようです。江戸時代になって、一般庶民に広がったと言われています。稲や芋類の豊作を祈る祭りが起源だと言われ、はじめはお団子でなく里芋などが供えられていたそうです。

今月の一枚 「水の祭典久留米まつり」

今月の一枚は、8月3日(月)から5日(水)にかけて開催された久留米市最大の夏祭り「第44回水の祭典久留米まつり」の様子です。

4日(火)に開催された本祭りのメインイベントである「一万人のそろばん総踊り」(約100団体が参加)にはFFG行員も参加し、浴衣姿の女性行員がそろばんを手に歩行者天国を約2時間踊り歩き、祭りを華やかに盛り上げました。法被(はっぴ)を着た男性行員の強力なサポートもあり、FFGチームは今年見事に「そろばん踊り大賞」(準優勝に相当)を受賞することができました。

翌日の5日(水)には西日本最大級の花火大会「第356回筑後川花火大会」が行われ、祭りを盛大に締めくくりました。

「水の祭典久留米まつり」で踊るFFG行員

【バックナンバーのお知らせ】「FFG 調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。
http://www.fukuoka-fg.com/

トップに聞く！

産業に貢献し、未来を創造する世界オンリーワンの化学品製造・販売企業を目指します。

三光 株式会社
代表取締役社長
髙木 義幸 氏

取引店／福岡銀行 大阪支店

三光 株式会社

▲有明工場前（左から髙木社長、柴戸頭取）

戦後の雇用支援を目的に創業

我が社は安田理雄（まさお）が1946年（昭和21年）に創業し、来年で70周年を迎えます。創業者の安田は長崎高商（現　長崎大学経済学部）を卒業後、保険会社に就職したのですが、新聞記者になりたかったようで、1931年（昭和6年）に九州大学に再入学しました。その頃は学生運動が激しさを増している時期で、安田も学生運動に参加したようです。学生運動に参加したために大学を中退となり、行き場がなくなって困っていたところを長崎高商の先輩にあたる牛島慶二氏が助けてくれました。牛島氏は、当時の久留米のコングロマリット（多角的経営を営む複合企業）ともいえる牛島工業株式会社の副社長を務めておられました。安田は牛島副社長に会社へ誘われ、牛島工業で働くことになりました。

久留米には国内大手のゴム会社が3社あり、牛島工業はそれらの企業相手に布等の繊維を販売していました。安田は牛島副社長の恩義に応えるため、一生懸命働き、1940年（昭和15年）には中国の青島に派遣され、そこの支配人を任されるまでになりました。その後日本が敗戦したため、社員共々中国から日本へ帰国してきたのですが、戦争の影響で牛島工業の業績は厳しくなっており、安田たちを受入れる体力は残っていませんでした。社員たちが途方にくれる中、安田は新たな会社を自ら創って、社員の生活を守っていくことを決意したのです。この新会社こそが我が社の前身となる三光商会です。

創業当初は、ベイクライト製の灰皿や石けんを仕入れてリヤカーに乗せて売って歩く行商をしていた他、アミノ酸醤油やカラメルの製造を行っていましたが、あまり儲かってはいなかったようです。なんとか、事業拡大を模索していたところ、有明海近くの荒尾に旧日本陸軍の工場がありました。当時は食料が極端に不足していた時代

三光で製造している主な化学製品

用途	ポリエステル繊維用難燃剤 M-Ester	プラスチック繊維用難燃剤 HCA	感熱紙用増感剤 KS-232・KS-235	感圧紙用顕色剤 R-054
特長	ポリエステルの分子中に組み込まれる。リサイクルが容易で燃焼時に有毒ガスが発生しない。	安全性や環境適正が高く、電子部品のプリント基板難燃剤として使用。	感度が高く、感熱紙の白色度を維持。粉ふきなどの問題がない。	感度が高く、少量の添加でも十分に発色する。安全性も高い。
使用例	●車両シート ●自動車シート ●カーテン ●毛布　など	●スマートフォンやテレビに入っている緑色の回路基板	●レシート ●FAX用紙　など	●配送伝票、納品書、契約書、申込書等の複写伝票

で、安田はこの工場で魚を取るための網を製造しようと考えました。しかし、この工場は賠償指定工場としてGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)に押さえられていました。管轄だった大蔵省や財務支局等と何度も交渉を重ねた結果、資本金を200万円から4,000万円に増資するという条件付きで許可はおりたのですが、会社設立後で信用力の小さい我が社にとって4,000万円は大金でした。しかし、安田は諦めず、福岡銀行を中心とした金融機関や食料問題の解決に賛同してくれた多くの出資者により、資金調達することに成功したのです。

第一次オイルショックを機に繊維から化学へシフト

1950年代は、繊維部門が事業の柱でした。化学品製造部門はというと、他社が製造したフェノールの残渣(ざんさ)を買い取って、蒸留によってフェノール化合物を取り出し販売する程度でしたが、徐々に研究を進め、1960年代に入って自社で有機化合物を製造できるようになりました。

その後、繊維部門から化学部門へ主力事業が転換する大きなターニングポイントが起こったのですが、それには2つの要因がありました。

1つ目は1973年(昭和48年)に起こった第1次オイルショックです。石油価格が高騰し、繊維業界は次々と倒産し、我が社も相当の痛手を受け、繊維部門を縮小せざるを得なくなりました。

2つ目は1人の天才との出会いで、八女市出身の斉藤寅之助という人物です。1966年(昭和41年)に我が社に入社してきました。寅之助は、1971年(昭和46年)に大手製紙会社との共同研究で、ノーカーボン紙(感圧紙)を作るためのサルチル酸系顕色剤(けんしょくざい)の開発に成功しました。これは世界初の快挙で、現在でも我が社の主力製品の1つとなっており、世界

▲見学風景

▲髙木社長

▲橋本会長

中の企業に輸出販売しています。また、リン化合物を使ったフォスファフェナントレン系難燃剤の開発にも世界で始めて成功した他、1980年(昭和55年)には、コンビニやタクシーのレシート(感熱紙)の原料となる増感剤も寅之助が開発しました。現在でも寅之助が開発した難燃剤や増感剤は世界中で利用されています。

化学メーカーと商社の2部門体制で多様な製品を提供

現在、「化学工業薬品の研究開発・製造を行うメーカー部門」と「化学薬品、合成樹脂などの卸販売を行う商社部門」の2部門体制で展開しています。取り扱っている製品は、ものづくりには欠かせない化学薬品ばかりです。これらの製品は特許を取得しているものも多く、大手に負けない製品力が我が社最大の強みといえます。この強みを最大限発揮すべく、マーケットは国内にとどまらず世界の企業相手に高付加価値の製品をお届けしています。

国内3工場を拠点に世界品質製品を製造

製造拠点として、有明工場・荒尾工場・滋賀工場を有し、3工場ではそれぞれ異なる製品を製造しています。

有明工場は、O-PP(オルソ・フェニルフェノール)という化学薬品で、いろんな化合物を作るための原材料のような薬品です。このO-PPの製造を手掛けているのは国内では我が社だけで、年間3,000トンの生産能力を有しています。

荒尾工場では、リン化合物を用いた難燃剤を製造しています。難燃剤とは、名前の通りものを燃えにくくする原料となります。スマートフォンやテレビに入っている緑色の回路基板に使われています。それまではハロゲン系が主流でしたが、燃やすとダイオキシンが発生する可能性が指摘され、いち早くリン化合物の難燃剤を開発しました。規制が最も厳しいと言われるヨーロッパへの輸出も認められており、世界一の品質であると自負しています。今後も、この難燃剤を世界中に拡販し、地球環境の保全にも貢献したいと考えています。また、O-PPを原料にした可塑剤も製造しています。この可塑剤はプラスチックを軟らかくする原料で、電子材料用フィルムなど様々な用途で使用されています。

滋賀工場は複写式の伝票等に用いられる感圧紙の原料(顕色

沿革 history

昭和21年	6月	三光商会設立
昭和22年	3月	三光化学工業所を荒尾市に設立
昭和24年	1月	三光株式会社設立(三光商会を改組)
昭和30年	1月	日本曹達株式会社九州工場として農薬の受託加工を開始
昭和31年	1月	フェニルフェノールの製造を開始
	9月	三光化学工業所を改組し、資本金200万円を以て、三光化学株式会社を設立
昭和37年	4月	三光被服株式会社を管理経営
昭和41年	1月	クミアイ化学工業株式会社九州工場として農薬の受託加工を継続
昭和43年	9月	パラフェニルフェノール(P-PP)の合成工場を完成、製造開始
昭和45年	5月	新規有機燐化合物HCA製造開始
昭和48年	12月	オルソフェニルフェノール(O-PP)の合成プラント完成、製造開始
昭和49年	10月	滋賀工場を建設、製造開始
昭和50年	10月	株式会社三光開発科学研究所を設立 大阪府茨木市に昭和57年5月研究所を建設
昭和52年	10月	難燃剤GHM製造開始
昭和61年	9月	新規特殊化成品の製造プラントを荒尾工場内に建設、製造開始
平成 3年	4月	第一ナイロン工業株式会社を合併し、滋賀事業所を設置
	6月	Sanko Europe GmbH 設立 (デュッセルドルフ、駐在員事務所を改組)
	10月	滋賀研究所建設、開発用の多目的プラントを主力とした研究所として発足
平成 4年	6月	三光メディック株式会社設立
平成 8年	4月	三光株式会社・三光化学株式会社合併、再発足
平成10年	4月	三光タックシステム株式会社設立
平成12年	7月	HP工場完成(荒尾)、製造開始
平成14年	7月	SANKO (Thailand) CO.,ltd. 設立 (バンコク)
	12月	滋賀事業所に合成樹脂成型工場を新設
平成16年	7月	SANKO U.S.A., Inc. 設立(シカゴ)
平成17年	5月	荒尾工場内にNKS工場完成 (感熱紙用増感剤の増産設備)
	11月	上海駐在員事務所開設
平成18年	12月	三広貿易(上海)有限公司を設立 (上海駐在員事務所を改組)
平成20年	11月	荒尾工場内にHP-2工場完成 (プラスチック用難然剤の増産設備)
平成23年	1月	荒尾工場内にHP-3工場完成
平成24年	4月	有明工場完成

▲荒尾工場前で 前列左3番目から角町常務、橋本会長、髙木社長、柴戸頭取、明石支店長（福岡銀行）

剤）を製造しており、この顕色剤は日本でのシェアは9割、世界シェア4割を誇っています。

製造・販売が連携し、世界オンリーワンの企業を目指す

私は、昨年の6月に社長に就任しました。そこで目標に掲げたのが、我が社が〝商売のできる技術屋集団〟になることです。メーカー部門はビジネスセンスを、商社部門はメーカーとしての視点を持つことで、メーカー部門と商社部門が一体となり、新しい価値を持つ製品開発を進めていきます。

創業から今日まで、多彩なモノを作り出してきました。これからもこの三光スピリッツを大切に、世界オンリーワンの化学品製造・販売企業を目指してまいります。

◎インタビューを終えて

私たちが日常触れている多くの製品には貴社製造の化学品が用いられていますが、これらは世界一基準が厳しいと言われるヨーロッパからも、高品質で環境にやさしいと高く評価されています。こうした評価は貴社が長年研究を怠らず培ってきた技術の賜物だと思います。

今後も三光スピリッツを守り続け、世界オンリーワンの化学品製造・販売企業を目指して成長していかれることを祈念いたします。

福岡銀行
取締役頭取 **柴戸 隆成**

トップに聞く！

「二に人格 二に技術」を教育理念に、独自教育プログラムで業界を牽引する人材を育成しています。

学校法人 大村文化学園
理事長
大村 陽之介 氏
取引店／福岡銀行 黒門支店

学校法人 大村文化学園　OMULA BEAUTY CREATES

▲学校前（左から大村理事長、柴戸頭取）

昭和初期に開業した美容室が専門学校の出発点

1929年(昭和4年)、祖母の大村トミが福岡市新大工町(現唐人町)に福岡で2番目となる洋髪専門店「ML美容室」を開業しました。祖母トミの技術が評判となり、弟子入りを希望する人が次々と訪れました。終戦後の1945年(昭和20年)、多くの弟子たちの指導で美容室の業務に支障が出るようになったため、「大村美容研究所」を設立し美容師の技術指導を本格的に始めました。

その後も志願者は増え続け、1954年(昭和29年)に「大村美容専門学院」へ変更、1992年(平成4年)に「学校法人大村文化学園」の認可を取得し、2010年(平成22年)、美容のみならずトータルビューティーの総合学校「大村美容ファッション専門学校」として新たなスタートを切りました。

今日では「トップスタイリスト科」「美容科」「メイク・エステ科」「ファッションクリエイター科」「ファッション科」の5学科13コースを擁する専門学校として「業界を牽引する人材の育成」を図っています。

大村美容ファッション専門学校　5つの学科

▲見学風景▼

人間力に焦点を当てた人格と技術を育む教育理念

本校は、人を美しく、笑顔に、おしゃれに、そして幸せにするためには、「一人前の技術者である前に、一人前の社会人であれ」との考えのもと、「一に人格 二に技術」という教育理念を設定しています。そのため、社会生活の基本である「挨拶」「返事」「時間厳守」を入学時から学生に徹底指導しています。

まず「一に人格」の言葉の意味は、「信頼される人間」になりなさいということです。周囲の人から信用されるために正しい生活態度を身につけることを目標に、様々な活動にも取り組んでいます。一例として、隣接する大濠公園など学校周辺の清掃を学生が行うほか、朝夕には学校の前に立って学校関係者はもちろん、行き交う方々にも挨拶をしています。更には、学校周辺の地域コミュニティなどへも積極的に参加し、お祭りや運動会、町内会活動やチャリティ活動など、様々な形で地域貢献を果たしながら、行事の運営、高齢者の方々との交流などを通じてコミュニケーション能力などを育んでいます。

もう一つ「二に技術」は、「技術は回数」を合言葉に、徹底的な反復練習を組み込んだ技術教育を実施しています。美容・ファッションは、回数をこなすほど技術は向上していきますし、作品の質も上がります。こうして将来でも活用できる能力を培っているのです。

センスと技術を競う、多彩なコンテストやショーイベントを開催

▲プロ仕様の実習サロン（O.designs〈オーデザインズ〉）

オオムラは、業界タイアップ&産学協同プロジェクトにも力を入れています!

▶タイアップ実績（順不同）
FACo／イオン九州／岩田屋／モバゲー／SPINNS／月刊くるめ／コフレドール／映画『ひみつのアッコちゃん』／映画『今日、恋をはじめます』／Hanjiro／minne／TEN-YA／BABY,THE STARS SHINE BRIGHT／セキミキ・グループ／博多阪急 ほか

▲人気ショップ「SPINNS」とコラボ

▲FACo

カリキュラムやサロン実習など多彩な教育を展開

本校の特徴は、まず「ヘア」「メイク・エステ」「ファッション」の3分野の学生がお互いに刺激し合えることと、業界の第一線で活躍する〝プロ〟を講師に迎え、プロフェッショナル教育を実施していることにあります。

講師陣には、客員教授のベンジャミン・アーサー・ウエストウッド氏（※）のほか、ファッション雑誌の編集長、著名なメイクアップアーティストなどをお呼びしており、スキルの向上だけでなく、仕事の取り組み方やリアルな現場の雰囲気などをプロが伝えることで、学生の感性を大いに刺激しています。

施設面に目を向けますと、本校にはプロ仕様の設備を整えた「Coffret（コフレ）」というエステサロン実習

室と「O.designs（オーデザインズ）」という美容実務実習室の2サロンを有しており、学生はプロ意識と技術力を高めるためにここでお客様へ施術を行う実習を行って、現場に即したスキルとサロンワークを学んでいます。

特に「O.designs」は、福岡市中央区大名にあるサロンで、あえて学校から離れた賑わいのある場所に造りました。これは、学校とは雰囲気も異なるサロンで学生気分を抜いて実習に取り組んでもらうためで、責任感や将来プロとなる心構えを培う場としても機能しています。

（※）イギリスのファッションデザイナーであるヴィヴィアン・ウエストウッドの長男で、自身のファッションブランドを持つファッションデザイナー、写真家

コンテストや産学協同プロジェクトで磨く技術と感性

本校は日頃から磨いてきた技術を発揮する舞台として、学内で多彩なコンテストやショーイベントを開催しているほか、学外コンテストにも積極的に挑戦しています。

たとえば〝ASIA BEAUTY CONGRESS〟。日本全国はもとより海外の多くのプロ美容師もエントリーする西日本最大級のヘア&メイクコンテストです。この大会で、メインのレディースカット部門のグランプリを獲得しており、更に2014年（平成26年）には4部門で9名が入賞という「全参加美容学校で入賞者数ナンバーワン」の快挙も達成しています。

また、学生が様々な企業やブランドとタイアップする「産学協同プロジェクト」も教育の大きな柱です。学生たちが独自の発想でビジネスや商品・イベント企画を考察し、実現に向けて行動することで業界への理解も深まっていく貴重な機会となっています。企業と関わることで、提案力の向上やビジネス感覚の養成にも繋がっています。

「デビュープログラム」も本校独自の取り組みです。これは習得した技術や知識をアピールし、在学中に企業からスカウトを受ける機会を設けているほか、企業へのインターンシップや技術を証明する検定取得のサポートなどによって就職・独立を強力にバックアップしています。

教育の成果として表れている高い出席率と就職率

こうした取り組みが奏功し、本校の学生の出席率は極めて高く、昨年のデータでは美容科の卒業生約150人の平均欠席日数は2年間で0.3日となっています。

このように学生の頑張りもあって、本校は業界就職率100%という結果も残しています。この業界では美容師を志す人でも、下積み生活や待遇面に不満を持ち、楽をして稼げるアルバイトをそのまま仕事にする人も少なくありません。しかし、本校の学生は、ひとりひとりが将来の仕事を見つめ、就職指導を1年次からしっかりと実施しているため、高い就職率を誇っています。

最後に、本校の未来図として、校内を自主性あふれる学生たちで満たしたいと考えています。目指すのは、自分を律して新しいことにチャレンジし、自分で何かを見つけ行動できる学生づくりです。また、学生の長所を発見し、磨きをかけてオンリーワンの人材へと成長する教育を実践していきたいとも考えています。

▲オオムラの頭文字「O（オー）」をモチーフにしたデザイン

学校法人 大村文化学園　OMULA BEAUTY CREATES

▲後列左端から江濱副理事長、斉藤学校長、大村理事長、柴戸頭取、海堀支店長（福岡銀行）

◎インタビューを終えて

福岡銀行
取締役頭取 **柴戸 隆成**

生徒の皆さんの挨拶と熱心に実習に取り組んでいる姿を通じて「一に人格二に技術」の教育方針の成果が表れていると感じました。

様々なコンテストでグランプリなどの優秀な成績を収められているのも、貴校のカリキュラムによるチームワークで個々の技術力を高められた指導の賜物だと思います。

これからも人格と技術を兼ね備えた立派な美容師やファッションデザイナーを輩出され、福岡はもとより全国で活躍されることを期待しています。

トップに聞く！

九州9ヶ所を拠点にサイン業界をリードする一流企業へ。

株式会社 ハマジ
代表取締役社長
濱地 泰行 氏

取引店／熊本銀行 中央支店
福岡銀行 熊本営業部

竹下頭取
創業時、主に塗料を販売していたと伺っています。

濱地社長
1951年（昭和26年）、熊本市細工町（さいくまち）で祖父・冨三郎が浜地塗料店を創業しました。創業当時は一斗缶に入った塗料を中心に、刷毛などの資材も販売していました。塗料販売は、創業時から現会長である父・徳太郎が社長に就任する1978年（昭和53年）まで続きました。

父・徳太郎は「これからの時代

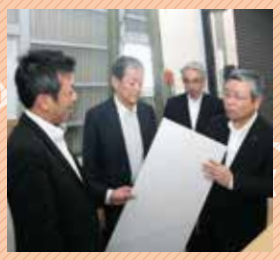
株式会社 ハマジ

▲本社前（左から濱地社長、竹下頭取）

は塗料販売だけでは事業として成り立たない」と感じ、新たな事業を模索していたそうです。

そんな時に出会い、販売を開始したのが１９７０年（昭和45年）頃に誕生した粘着フィルムです。色付きの粘着フィルムを貼ることで、それまで筆と塗料で作っていた看板を、より容易に、かつ綺麗に仕上げることができるようになり、看板資材としての粘着フィルムに対する需要は急速に高まっていきました。そして１９８０年（昭和55年）頃、カッティングプロッター（フィルム切り抜き機）が登場したことで手作業だった文字などの切り抜きがデータ入力するだけで自由自在にカットできるようになりました。そのため粘着フィルムの需要が増々拡大し販売の主流を占めるようになりました。この粘着フィルムとの出会いは、その後の我が社の大きな飛躍へと繋がりました。

見学風景



創業以来60余年。九州各地に拠点を広げています。

福岡支店（現・福岡営業本店）開設当初から関わったとお聞きしました。

私は２００１年（平成13年）に大学を卒業後、我が社に入社すると、同年に開設したばかりの福岡支店へ配属となりました。福岡支店での最初の数年間は苦労の連続でした。競合相手が多数いましたし、私も未経験なわけですから当然のことです。でもだからこそ懸命になれたのかもしれません。

ラッキーだったのは、２００１年（平成13年）にインクジェット印刷機が世に出てきたことです。インクジェット印刷機は何でも自由にプリントできる使い勝手の良さから、我が社が手掛ける看板事業における取扱商材の次の柱になると直感しました。ただ、私はこのインクジェット印刷機に関する知識も技術もなく、どのように取り扱えば良いのか全くわかりませんでした。そんな時に出会った若手の看板業者さんがいました。その方は、すでにインクジェット印刷機を活用されており、インクジェット印刷機の使い方を私に快く指導して下さったのです。私は、毎晩仕事が終わるとその方のご自宅にお邪魔して約１年かけて勉強し、ついに我が社でも自信を持ってインクジェット印刷機を取り扱うことが出来るようになりました。

その後、２００３年（平成15年）ごろになると徐々にインクジェット印刷機に関連する看板資材の注文が増えてきました。注文を受けることが嬉しくて、どんなに夜遅くても、日曜祭日であってもお客様の希望に合わせて喜んで納品していました。その結果ついに３年目には黒字化を果たしました。忘れられない嬉しい思い出です。このインクジェット印刷機との出会いが我が社の２度目の飛躍に

Top Interview

株式会社 ハマジ

ハマジでは最先端技術を積極的に取り入れ、
サイン&ディスプレイの資材に応用しています。

▲プロジェクション・マッピング

▲自社ブランドLED

▲HIGH VALUE 会議室のデジタルプリント壁紙

社員が明るく、
和気あいあいと働ける環境づくりに
努めています。

▲濱地会長

▲濱地社長

繋がる転機となりました。今でも当時ご指導いただいた業者さんには大変感謝しています。

そして更に2010年(平成22年)頃になると、LED照明が社会に認められ始めました。私はLED電気照明看板に次の事業の柱としての可能性を感じています。このLED電気照明看板には難しい専門知識が必要ですが、この分野を制すれば業界で生き延びることができると考え、現在スタッフを充実させ、研鑽を積んでいるところです。

現在は各地に拠点をお持ちですね。

福岡支店の開設を皮切りに、久留米営業所、北九州営業所、福岡東営業所、長崎営業所、大分営業所を構えている他、2011年(平成23年)には自社オリジナル商品の開発や海外との取引を行う拠点としてHIGH VALUE(福岡市東区)を、2012年(平成24年)には更に倉庫管理の内製化も図るべくHIGH VALUE菊水流通倉庫を開設し、現在は本社以外に九州の8ヶ所に拠点を設けています。拠点は複数にわたりますが、各拠点が持つ最新情報や在庫状況等について共有化を図り、お互い協力することができるようにすることで、拠点同士の相乗効果を高め、より効率的かつ効果的な運営を行っています。

時代のニーズを読み取って変化しているのですね。

我が社はこれまでその時々のお客様のニーズや環境の変化を的確に捉え、柔軟に対応することを着実に積み重ねることによって現在の礎を築いてきました。誠実でエネルギッシュな社員たちがいて

一本の苗木がやがて根付き幹を張り枝を増やしていくように、株式会社ハマジも熊本から九州各地に枝を張り、成長してまいります。

スナップ写真

▲2015年、台湾へ社員旅行▲

▲ホテル日航福岡にて新春パーティ

ハマジのイベント

▲セミナーも定期的に開催

▲隔年で開催する主催イベント。九州最大規模のサイン&ディスプレイ大展示会

くれるからこそ、そうした変化への柔軟な対応ができているのだと思います。

ただ今も昔もモットーとしていることは変わりません。個々のお客様を大切にしながら、お客様と共に発展していくことです。そのためにも営業担当者のスキルアップはもちろんの事、お客様への最新の情報提供も行っています。

お客様への情報提供の一環としてお客様向け勉強会も開催しています。具体的には昨年から大分営業所で専門家を招いた「お気軽セミナー」を始めたのですが、回数も12回を数え、お客様に大変喜んでいただいており、他の拠点でも開催するようにしました。また2年毎に開催している福岡国際センター（福岡市）での展示会も好評です。毎回60社ほどの取引メーカーからご協力いただき、千数百人のお客様に最先端の情報提供を行っています。

最後に将来展望をお聞かせください。

看板資材の卸売を本業としながら、関連する様々な分野に目を向け、新たな事業に積極的に取り組みたいと思っています。

例えば道路標識等に使用される反射材を主に扱う新事業「RM事業部」を本格展開する他、自社ブランドLEDを活用したイルミネーション事業にも力を入れて行こうと考えています。更には原材料だけではなく、半完成品を提供できるよう、デザインスタッフや製造機械も備えようと考えています。これからも時代の流れに逆らわず、誠実に情熱的に突き進んでまいります。そしてサイン資材の問屋からサインの総合商社へと脱皮したいと考えています。目指すは「皆様に愛される一流企業」です。規模の大きさではなく、質の良さを追求していく会社でありたいと願っています。

株式会社 ハマジ

▲左端から若杉執行役員、山村常務、徳永支店長（熊本銀行）、濱地社長、竹下頭取、濱地会長、濱地相談役、横田執行役員

◎インタビューを終えて

熊本銀行
取締役頭取 **竹下　英**

インクジェット印刷機へのいち早い対応など、時代やニーズの変化を読み取ってお客様に喜ばれる資材提供を続けられています。

それだけではなく、お客様向けの勉強会を開催するなど、お客様と共に発展しようとする姿勢が感じられました。

これからも最先端の情報提供と資材販売に邁進され、益々発展されることを期待しています。

トップに聞く！

未来と地域を見つめ次の100年へ。高品質の商品・サービス・システムを提供しお客様に喜び、感動、幸せを届けます。

株式会社タシロ
代表取締役社長
田代博之氏
取引店／親和銀行 佐世保支店

吉澤頭取
今年、創業100周年を迎えられました。おめでとうございます。

田代社長
我が社の創業は1915年（大正4年）9月1日です。おかげさまで、今年で創業100周年を迎えることができました。これもひとえに、我が社をご贔屓（ひいき）にしていただいている皆様あってのことと感謝しております。

祖父・七郎（しちろう）は、明治の終わり頃に、軍港として発展していた佐世

保で一旗揚げようと、故郷の佐賀県東川登（現・佐賀県武雄市）から佐世保市に移り、島瀬町で田代硝子店を創業しました。七郎は佐世保で創業する前にアメリカでの事業も考えていたようで、貨物船で密航しようとして捕まったという武勇伝も残っています。また創業後、関東大震災のあった１９２３年（大正12年）、「これから東京で家が建ち必ずガラスが必要になる」と考え、東京に支店を開設し、自らも東京で営業を行っていた他、ガラス店以外にも、家具屋・銭湯・旅館・ドライブインなど、様々な事業に挑戦するなど、何事にも積極的に挑戦していく人でした。結果的にガラス店以外はすべて撤退しましたが、旺盛な挑戦心と強烈なリーダーシップによって長く我が社を率いてくれました。

父・順之助が社長に就任したのは１９７４年（昭和49年）のことです。順之助はソフトで人当たり

▲本社前（左から田代社長、吉澤頭取）

が良く、お客様からの信用と信頼をとても大切にした人でした。そして1996年（平成8年）、順之助の死去によって私（博之）が3代目社長に就任しました。

100周年を迎えるに当たって、経営理念を刷新されたとお聞きしています。

我が社は、創業者が培った「挑戦」という精神と、2代目が培った〝常にお客様のことを考えて仕事をする〟という「信用と信頼」の精神を大切にしてきました。100周年の節目を機に、この2つの精神を改めて全社員で共有するために、経営理念を刷新しました。「株式会社タシロは常に時代の一歩先をみつめ、高品質の商品・サービス・システムを提供し、お客様のしあわせと繁栄を通して明るい豊かな会社を創造する」という理念です。

この理念には今後培っていきたい新たな精神も込めています。それは〝お客様に「喜び、感動、幸せ」を届ける〟という精神です。時代は、モノから心へと変化しており、この心の時代に大切なのは「喜び、感動、幸せ」だとかんがえているからです。

全社員がこの理念のもとで一丸となって次の100年に向かって邁進していけるよう、経営理念や企業使命感、社員行動訓をそれぞれ記し名刺サイズにまとめた「CREDO（クレド）（信条）」を作成しました。全社員がこの「CREDO」を常に携帯し、私も朝礼でこの信条が社員全員に浸透するように心掛けて話をしています。

「挑戦する姿勢」が大いに感じられます。

創業以来、挑戦する気持ちは現在もしっかり受け継いでいます。

取り扱い製品

ビル用サッシ

ビル用ガラス

住宅設備❶

インテリア❶

住宅設備❷

インテリア❷

創業100周年　タシロの歴史

▲初代 田代七郎氏
（在任期間：1915～1974年）

▲2代目 田代順之助氏
（在任期間：1974～1996年）

▲3代目 田代博之氏
（在任期間：1996年～）

①「田代硝子店」の頃の外観と社用車
②昭和10年代「田代硝子店」の写真
③始まりは板硝子小売業からだった。当時の創業者の写真

何事にも前向きに取り組む社風は、我が社の一番の強みであると考えています。

私が社長に就任した後も、時代の一歩先をみつめ、介護用品の販売・レンタル事業や不動産業、コインランドリー事業にも着手しました。

また、１００年にわたって事業を継続できた要因はもう一つあります。それはお客様との「信用と信頼」の関係です。この「信用と信頼」は、我が社がこれまで最も大切にしてきたことで、今後の事業発展にも欠かせないポイントだと考えています。「常にお客様の視点に立って考える」「常にお客様の期待以上のものを届ける」「お客様との絆を最も大切にする」ことにこれからも注力し、より強固な「信用と信頼」を築いていきたいと考えています。

社員やその家族をとても大切になさっているそうですね。

我が社の経営思想の一つに「大家族主義」があります。これは「社員はみんな家族と一緒」という考え方です。そのため、毎年全社員を集めて開催している経営方針発表会の場では、私だけでなく、全社員ひとりひとりが自らの目標を発表しています。また毎年行っている社員旅行でも上司や部下、グループの垣根を越えて社員同士が絆を深め、一丸となって未来へ進む力をじっくりと養っています。

「大家族主義」の思想は、社員だけでなくその家族にも向いており、我が社では毎年「大家族懇親会」を開催しています。この懇親会は社員の家族に我が社のことを理解してもらうとともに、家族を含めた全社員が懇親を深めてもらうことを目的に開催しているもので、今年は１００周年を祝うものとして地元のハウステンボスで例年以上に盛大に開催し、会社

佐世保でリフォームするなら
リフォーム工房タシロショールーム

◀見学風景▼

佐世保でリフォームを希望される方はまずはショールームにお越しください!

リフォーム工房タシロ（株式会社ジュン）の田代社長▶

住宅用サッシ

エクステリア❶

エクステリア❷

全体がまるで一つの家族のような一体感に包まれました。

さらに今年からは、グループ長による各グループメンバーとの個人面談を毎月実施しています。仕事のことだけでなく家族のことなども話すことによって、円滑なコミュニケーションができる風土の構築に一役買っています。

最後に将来展望をお聞かせください。

我が社は、ガラスの小売から始まり、サッシをはじめとした住宅・ビルの建材販売へと事業領域を拡大してきました。現在は、まず本業であるガラス・サッシ業界でお客様のお役に立つ仕事を行い、長崎県の県北エリアで圧倒的No.1になることを目標に掲げています。

また、お客様のご要望にお応えするため住宅のリフォーム事業も手掛けていますが、このリフォーム事業こそが、今後伸びる分野だと考えています。今年、このリフォーム事業を独立させ(グループ会社「株式会社ジュン」を設立)、社長に息子・倫太郎が就任しました。現在はこの事業を軌道に乗せ、ビジネスモデルを早期に確立することに尽力している所です。

今後も、尽きない挑戦心をもって新しい成長エンジンとなる事業を発見・開発し、我が社の事業の柱に育てていくつもりです。

▼不定期で行っている展示会イベントでは、お客様との交流を何よりも大切にしています

タシロは「大家族主義」
社員やその家族を大切にしています。

Snap shot

▲社員旅行では、上司・部下、そして部署の垣根を越えてスタッフ同士の絆を深めています

▲社員同士が家族ぐるみでお付き合い。まるでひとつの大家族のような絆で結ばれています

株式会社 タシロ

▲前列左3番目から田代社長（株式会社ジュン）、田代社長、吉澤頭取、麻生支店長（親和銀行）

◎インタビューを終えて

創業者と2代目が培われた精神を受け継ぎ、常にお客様の視点に立って考え、新しい事業にも果敢に挑戦を続けられています。

同時に社員の皆様、またその家族の方々の幸せを願い、会社全体をまるでひとつの大家族のような信頼で結びたいという強い思いが感じられました。

これからも長崎の快適な住まいづくりに貢献していただくことを期待しています。

親和銀行
取締役頭取 **吉澤 俊介**

トップに聞く

会社概要

「ふくおかフィナンシャルグループ 軽音楽部」は、
地域のイベントなどに積極的に出演し、
音楽を通して皆様とのふれあいを大切にしてまいります。

土屋Band

UnionRock

博多パラダイス

FFG 6BANDS

Frogman

由子ばんど

カヴァーソウル

三光 株式会社

「化学工業製品の研究開発・製造を行うメーカー部門」と「化学薬品、合成樹脂などの卸販売を行う商社部門」の2部門体制で展開しています。取り扱っている製品は、ものづくりに不可欠な化学薬品ばかりで、特許を取得しているものが多くあります。

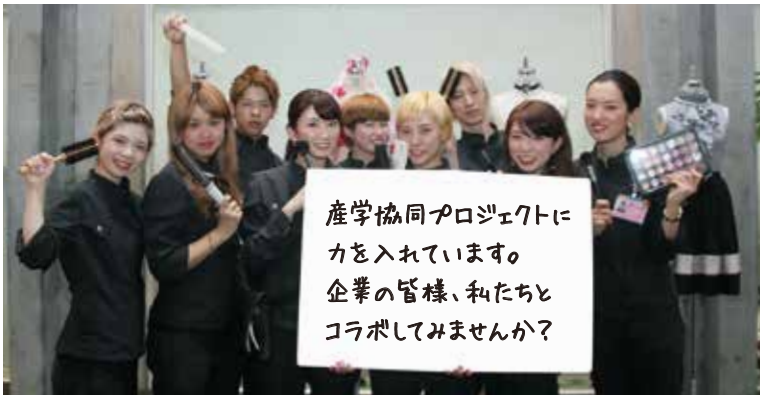
今後も国内外の化学製品の輸出入に加え、受託製造の推進、自社開発製品の製造、研究開発により、多様な化学製品の提供に努めてまいります。

■創　　業：1946年
■設　　立：1949年
■所 在 地：福岡県久留米市
■資 本 金：3億8,640万円
■従 業 員：174名
■事業内容：化学品製造・卸売
■事業拠点：
（本　　社）福岡県久留米市
（本　　部）大阪府大阪市
（支　　店）東京都中央区
愛知県名古屋市
広島県広島市
北九州市小倉北区
（荒尾工場）熊本県荒尾市
（有明工場）熊本県荒尾市
（滋賀工場）滋賀県守山市
（大阪研究所）大阪府茨木市
（海外拠点）アメリカ、ドイツ、中国、タイ

■取 引 店：福岡銀行
大阪支店
06-6261-6951

学校法人 大村文化学園

「トップスタイリスト科」「美容科」「メイク・エステ科」「ファッションクリエイター科」「ファッション科」の5学科13コースを擁する専門学校です。本学園では「一人前の技術者である前に、一人前の社会人であれ」という考えのもと、「一に人格 二に技術」を教育理念に掲げています。今後も、専門スキルとコミュニケーション能力が身に付く教育で、美容・ファッション業界を牽引する人材の育成を図ります。



■創　　業：1929年
■設　　立：1992年
■所 在 地：福岡市中央区
■従 業 員：95名
■事業内容：学校（美容専門学校）
■事業拠点：福岡市中央区

■取 引 店：福岡銀行 黒門支店
092-781-7731

全社員で記念撮影(2014年)

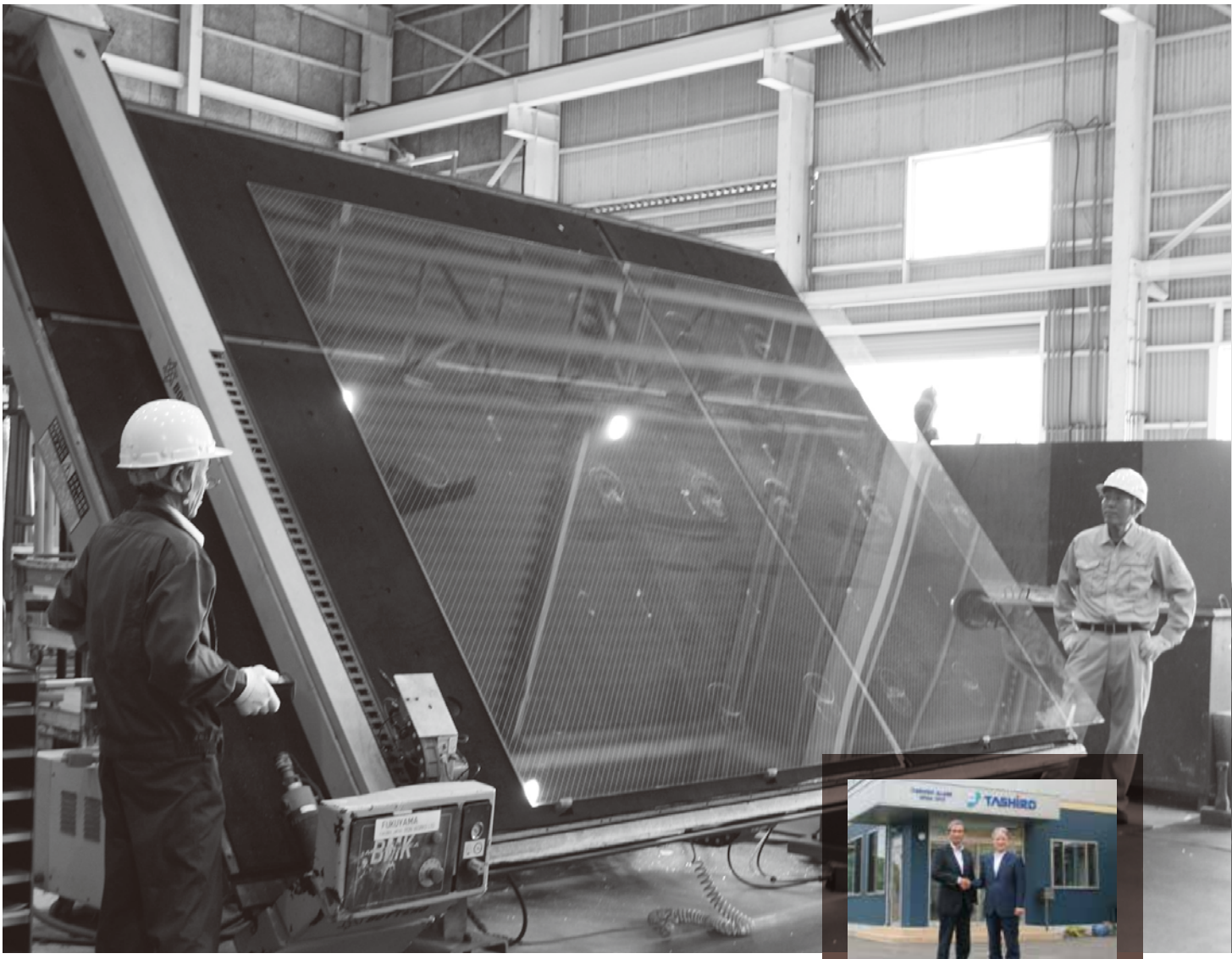
株式会社 ハマジ

1951年の創業以来、看板資材の卸売業として歴史を重ねて参りました。取り扱う商品は時代と共に大きく変化してきましたが、一貫してサイン業界に携わって参りました。時代の変化をいち早く察知し、お客様に最適な商品を提案し提供することが、我が社の使命です。
現在、九州圏内8カ所に営業所を構えています。これからも社員一人ひとりが看板資材のプロとして質の高いサービスと提案力を持ち、各地域のお客様と密接な信頼関係を築いてまいります。

▲本社のサイン

■創　　業:1951年
■設　　立:1979年
■所 在 地:熊本市西区
■資 本 金:1,000万円
■従 業 員:60人
■事業内容:看板資材の卸売業
■事業拠点:
(本　社)熊本市西区
(営業所)福岡市南区
福岡市博多区
福岡市東区
福岡県久留米市
北九州市小倉北区
長崎県大村市
大分県大分市
熊本県玉名郡

■取 引 店:熊本銀行
中央支店
096-356-5111



株式会社 タシロ

ガラス・サッシ等の卸売業を中心に事業を展開しています。おかげさまで2015年9月1日に創業100周年を迎えることができました。我が社の歴史には、初代の旺盛な挑戦心、2代目のお客様のことを考えて仕事をするという遺伝子が脈々と受け継がれています。
100周年の節目を機に、この2つの精神を社員のみんなで共有し、次の100年に向かって歩んでまいります。

■創　　業：1915年
■設　　立：1948年
■所 在 地：長崎県佐世保市
■資 本 金：3,000万円
■従 業 員：27人
■事業内容：建築資材の卸売業
■事業拠点：
(本　　社)長崎県佐世保市
(関連会社)長崎県佐世保市

■取 引 店：親和銀行
佐世保支店
0956-22-4126

地域と
共生する
FFG

神宿る島

宗像・沖ノ島と関連遺産群

今年度の世界文化遺産の国内推薦候補として選ばれた「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群。本稿では、平成29年の世界文化遺産登録に向けて大きな一歩を踏み出すことになった遺産群をレポートします。また、「元気な市民と、元気なまちづくり」をめざす宗像市の取り組みを紹介します。

寄稿:宗像市都市戦略室 秘書政策課

崇敬と畏敬の心が宿る
絶海の孤島・沖ノ島

平成27年7月、文化審議会において今年度の世界文化遺産の国内候補として「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が決定されました。九州本土から60㎞離れた玄界灘の真ん中にある沖ノ島は4世紀後半から9世紀末にかけて、航海の安全や対外交渉の成就を願って祭祀が行われました。沖ノ島の祭祀遺跡からは、神に捧げられた約8万点の品々が発見され、それらはすべて国宝に指定されています。

沖ノ島は島全体が宗像大社の境内（沖津宮）であり、宗像三女神のうち田心姫神が祀られています。「沖ノ島で見聞きしたことを口外してはならない」「沖ノ島から一木一草一石たりとも持ち出してはならない」等、現代も続く厳格な禁忌があり、一般の人の立ち入りは原則禁止されています。人々の篤い信仰や厳格な禁忌によって、神聖性は今も守り受け継がれているのです。

1

2

3

4

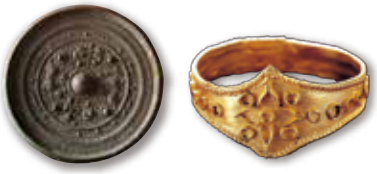
1 沖ノ島の参道入口付近にある正三位社　2 沖ノ島は今も厳しく入島が制限されている。宗像大社の神職が10日交替で一人だけ常駐して毎日禊を行う　3 宗像大社辺津宮の「遷座祭」。社殿の修復が終わり、新たに神体を移す祭儀で、2014年12月に43年ぶりに執り行われた　4 宗像大社は、道の神・宗像三女神を祀る全国約6,200社の総本宮として信仰を集める

また沖津宮・辺津宮とともに宗像大社を構成する3つの宮の一つ「宗像大社中津宮」は、宗像神湊から11㎞離れた福岡最大の島である大島にあり、三女神のうち湍津姫神を祀ります。島内には、沖ノ島を遙拝するために設けられた「沖津宮遙拝所」もあります。

さらに、九州本土には「宗像大社辺津宮」が鎮座し、三女神のうち市杵島姫神を祀っています。

本遺産はこのほか、沖ノ島で祭祀を奉斎した海の民の宗像氏が5世紀から6世紀にかけて築いた古墳群「新原・奴山古墳群」で構成されています。

世界でも類をみない価値を持った本遺産。宗像市では、平成29年の世界文化遺産の本登録に向け、福岡県、福津市、経済団体、文化教育団体、市民代表等とともに新しい一歩を踏み出しています。



▲沖ノ島の祭祀遺跡から出土された品々。右は金製指輪、左は三角縁神獣鏡

宗像大社辺津宮にある神域の高宮祭場。写真は
秋季大祭を締め括る祭典「高宮神奈備祭（たかみやかんなびさい）」の様子

10月1日開催

みあれ祭

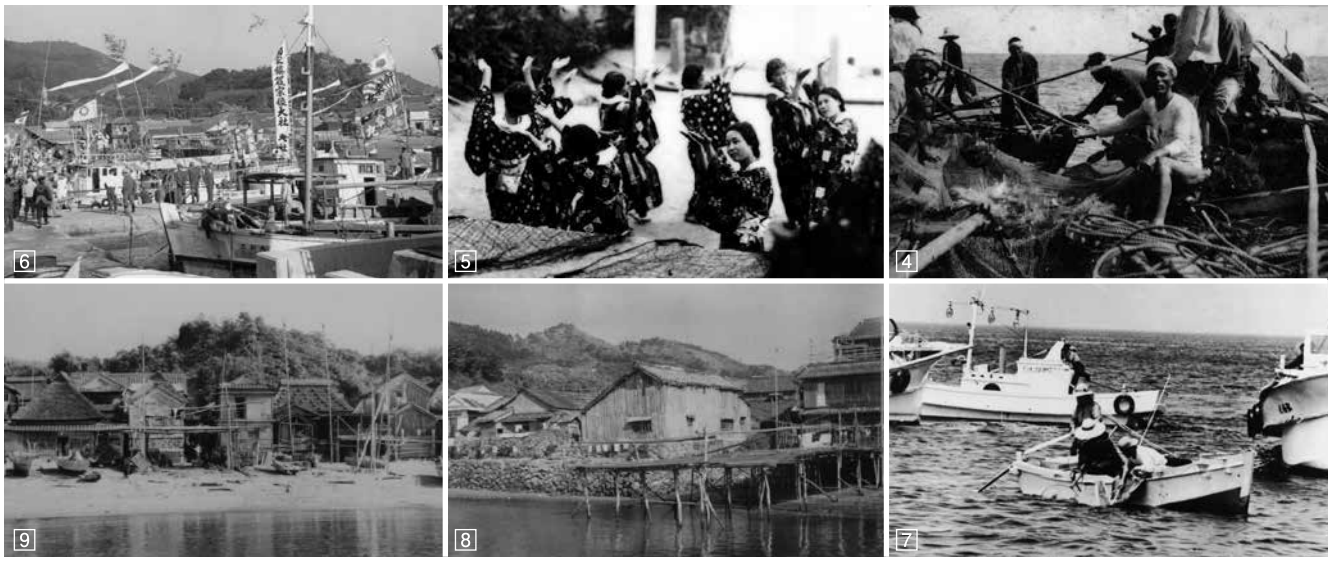
宗像大社最大の神事は10月1日～3日に行われる「秋季大祭」です。中でも、1日に行われる「みあれ祭」は、壮大な海の神事であり、沖津宮の田心姫神と中津宮の湍津姫神の神輿を載せた御座船が、大島から辺津宮の市杵島姫神の待つ神湊まで海上神幸します。御座船（ござせん）とそれを警固する供奉船（ぐぶせん）は、宗像七浦の漁船であり、数百隻の船が海上を渡る姿は圧巻です。

昭和初期。沖ノ島漁港の様子

海のある暮らし —沖ノ島・大島の懐かしい風景—

1 昔の中津宮　2 昔の沖津宮遙拝所　3 昔の沖津宮

大島港前（現在の大島診療所前）でラジオ体操をする子どもたち



4 大島で鯛網漁をする漁師　5 七夕踊りの練習をする大島の娘たち　6 みあれ祭の様子　7 漁をする様子
8 漁村集落の情景（昭和28年）　9 渚に並ぶ古い漁家、平和で静かな大島の情景（昭和28年）

写真提供：板矢 英之

豊かな自然や歴史・文化など、魅力がいっぱい
こころもからだも元気になるまち

宗像に住もうよ！

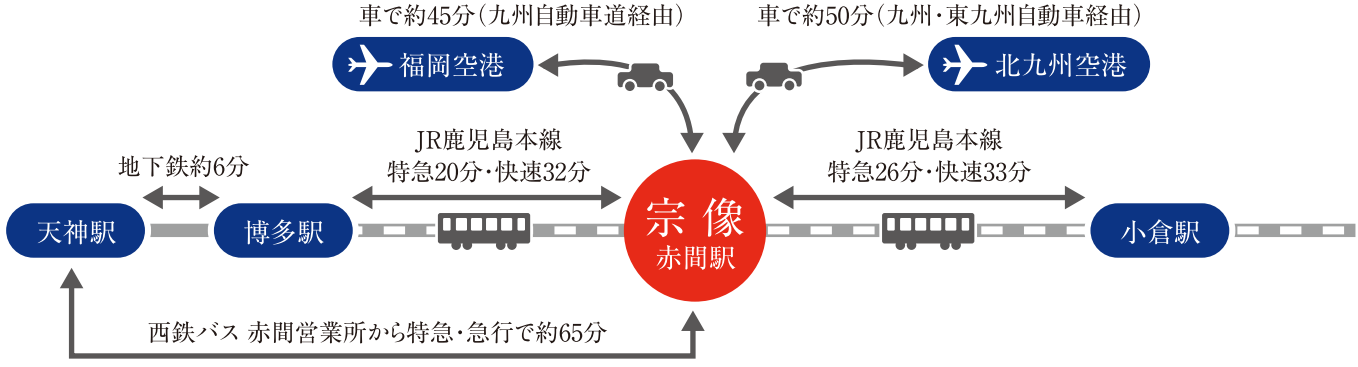
自然豊かで利便性が良く教育環境が整ったまち

宗像市は、玄界灘の海、山々、田園風景が広がる自然豊かなまちです。また、福岡市、北九州市の中間に位置する立地条件の良さも見逃せません。JR鹿児島本線や、国道3号線・495号線が走り、市外へのアクセスも便利です。さらに主要駅のJR赤間駅周辺には、商業施設が点在し、買い物にも便利です。

子育て世代にとっては、教育環境も気になるところ。宗像市は小中一貫教育や、電子黒板・タブレットなどのICTを活用した授業に取り組むなど、先進的で質の高い教育を行っています。また、グローバル人材育成にも力を入れています。

豊かな自然や文化だけでなく、利便性がよく、安心・安全な居住環境で子育てにいいまち、宗像市。皆さんもぜひ、宗像のまちで新しい生活を始めてみませんか。

市外への交通アクセスも抜群！



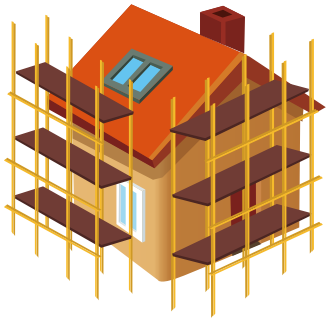
宗像市は子育て世帯、新婚世帯を応援します！

家賃補助

月額上限2万円×36か月＝ **最高72万円**

補助対象者

未就学児が同居の世帯（5年以上市外居住の転入者のみ）、
または合計年齢が70歳未満の新婚夫婦
申請期間：子育て世帯は転入日から3か月以内、新婚世帯は婚姻日から3か月以内



中古住宅購入＆リフォーム補助

最高40万円

補助対象者

市内の中古住宅を購入して居住する世帯で、
（1）か（2）の条件に該当する人
（1）中学生以下の子が同居する世帯
（2）夫婦の合計年齢が80歳未満の世帯

新築住宅建築のための古家解体補助

最高120万円

補助対象者

市内の古家を購入・解体の上、新築住宅を建て居住する世帯で、
（1）か（2）の条件に該当する人
（1）中学生以下の子が同居する世帯
（2）夫婦の合計年齢が80歳未満の世帯

※上記の補助制度は平成28年度に改正されます。
※詳細は宗像市役所 秘書政策課にお問い合わせください。

☎0940-36-1284
8:30～17:00（土、日、祝日、年末年始は休みです）

HP http://munakata-live.com
宗像に住もうよ　検索

九州の逸品

FILE No.20

九州の「地域ブランド」をご紹介致します。

豆腐リン

地域と共生するFFG

胡麻豆腐の歴史は古く、仏教の伝来とともに禅僧によって中国から伝わったと記録が残っています。

寺院では精進料理として、法事などの仏教行事にかかすことのできない料理です。

一般的に、胡麻豆腐は練りごまとデンプンで作るので豆腐のように白っぽいですが、佐賀・長崎地方では焙煎した胡麻を使用し、色合いが茶色で香りが強く、ほんのり甘いのが特徴です。口の中で広がる胡麻の香りと、とろけるような滑らかな食感が絶品です。

ごまの香りともっちり感

佐賀本煎りごまペロ

あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

福岡銀行

新しく生まれ変わった!インターネットバンキング

ふくぎん
ダイレクトバンキング

新インターネットバンキング

お茶の子
サイサイ!!

あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

SIA

艶やかで美しいタイの古典舞踊衣装

海外ビジネスリポート A

Shanghai Representative Office

アジア駐在員報告

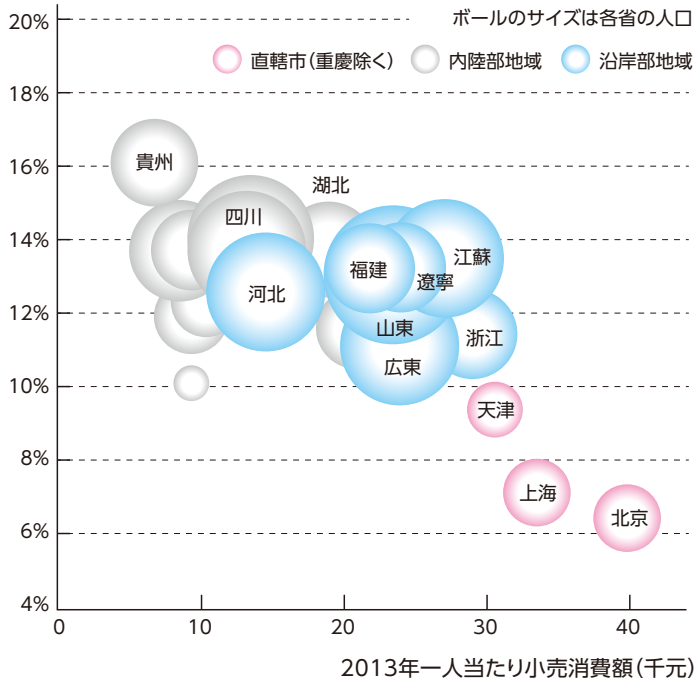
中国の消費市場とECビジネス

はじめに

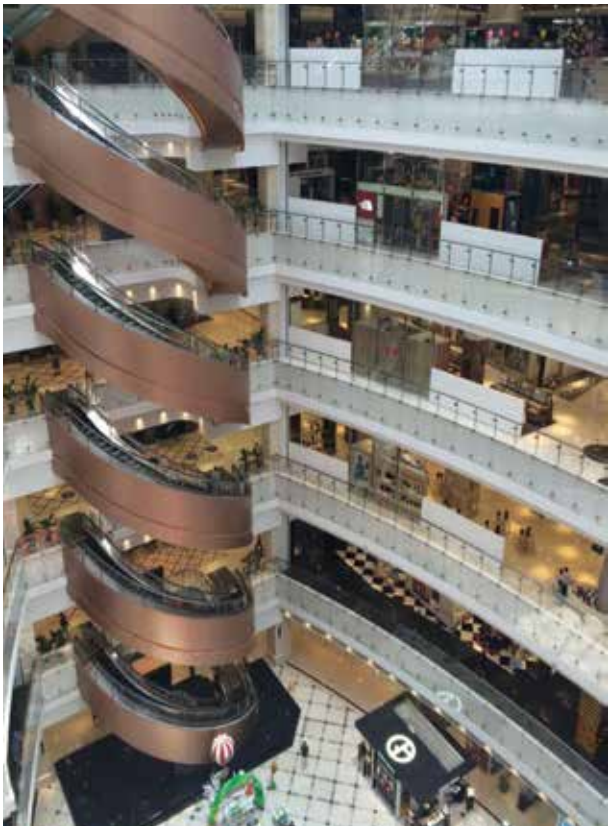
中国では近年、人件費や物価の上昇、人民元高の進行によりかつての「生産拠点」としての魅力が薄れる一方、国民の所得水準が向上し「消費市場」としての需要はますます大きくなっています。

すでに上海、北京の一人あたりGDPは日本の80年代後半の水準まで達しており、上海では一人年間60万円以上が消費されています。政府が倹約令を出し過度の贅沢を規制した影響はありますが、中国全体の昨年の小売販売額は約450兆円と日本の約3倍規模まで拡大しています。また特徴として沿岸部だけでなく内陸部の主要都市でインフラ整備や沿岸部からの工場移転が進み市民の所得水準が上昇していることが消費拡大要因のひとつに挙げられます。（図1参照）

図1：一人当たり小売消費額伸び率（2012年対比2013年）



（出所:中国日本商会「中国経済と日本企業2015白書」）



▲上海市内デパートの店内

都市部の人々は仕事が忙しく買い物などに割く時間が減少していることや生活に豊かさを求めライフスタイルに変化が見えはじめていることなどから、日用品や家電品、衣類などの購入手段や嗜好の多様化がすすんでいます。最近はスマートフォンの普及によりインターネットで簡単にモノが買えることで、外出しなくても好きな時間に買い物を楽しむ人々が増えているようです。

上海の小売店舗の実態

上海市内には数多くの百貨店、スーパー、ショッピングモール、家電量販店が建ち並び、繁華街を歩けば海外の有名ブランド店を数十メートル間隔で見つけることが出来ます。

上海では既に店舗の数は飽和状態にあり、実際に百貨店、スーパーの数は２０１１年をピークに減少に転じており、かわってショッピングモールが増加しているものの、上海中心部の不動産賃料が既に東京並の水準へ高騰していることや、毎年10％近い人件費の上昇が厳しい競争環境にさらに追い打ちをかけています。欧米の有名ブランドなど知名度の高いテナントは、入居時の費用負担や家賃などで有利な条件を引き出せますが、いまだ厳しい条件での入居、契約更改を強いられるテナントが多く企業間の格差も大きいようです。

また上海の一人当たり消費額は既に高い水準に到達しており他都市に比べ消費の伸びが鈍化していることからも、上海の消費市場は既に成熟した市場であるといえます。

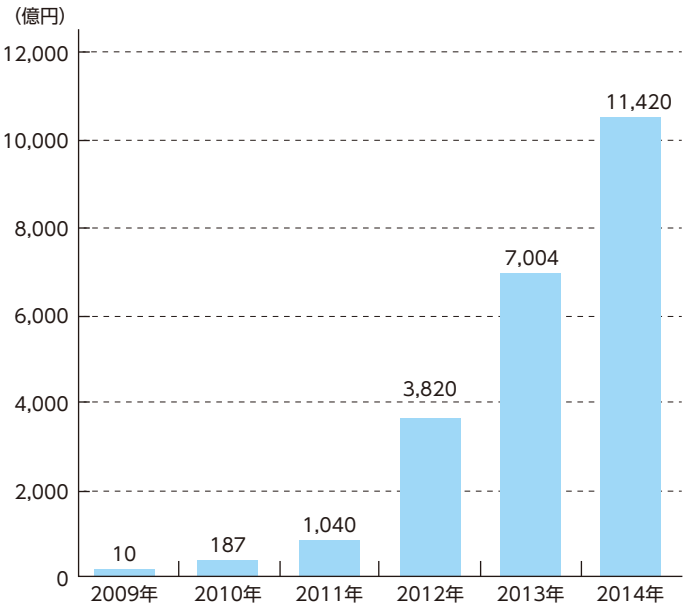
小売企業などは賃料、人件費が低く、市場開拓余地のある内陸地域へのシフトを進めていますが今後更に加速するものと思われます。内陸といえどもそこには数百万人、数千万人のマーケットが数多く存在するためです。

EC市場の成長

日本でも話題になりましたが、昨年11月11日、中国最大のインターネットショッピングサイト「天猫」モールでの売上金額は571億元（約1兆1千億円）を記録しました。

中国で「光棍節（独身者の日）」と呼ばれる日に「天猫」を運営する情報技術の大手企業であるアリババが仕掛けた特別セール1日間の売上高です。（図2参照）

図2：11月11日の「天猫（ECモール）」売上高　（1元=20円で計算）



（出所:中商情報網）

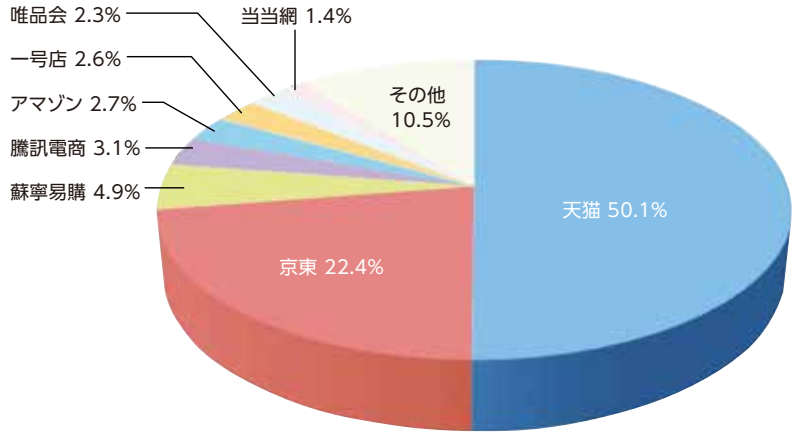
EC（ELECTRONIC COMMERCE＝電子商取引）、いわゆるインターネット通販の市場全体の昨年の売上高は2・8兆元（約56兆円）に達し、前年比で50％近く増加しています。国内の消費全体に占める割合は10％を突破しました。

スマートフォンの普及率の上昇がECの伸びにつながっており、モバイル端末による購入額は2014年9,000億元（約18兆円）、2015年は倍の1兆8千億元（約36兆円）が見込まれています。

またECがここまで発達したもうひとつの理由として、安心できる決済システムの登場があげられます。昔から偽物や粗悪品が多く出回っている中国では今もなおその不安はつきまといます。アリババが提供するアリペイ（支付宝）と呼ばれる決済システムでは、消費者が商品を注文し代金を支払った時点ではまだ販売側へ代金は届かず、アリペイが一旦預かります。消費者は届いた商品を確認した上で最終決済を行うため、もし偽物や粗悪品であった場合には代金をアリペイから返してもらうことができます。販売側も顧客がアリペイに一旦預けたことを確認してから発送できるので、回収リスクがなくなります。前述の天猫モールはこのシステムを使ったショッピングサイトとしてEC市場（個人間取引を除く）で50％のシェアを占めています。（図3参照）またこの決済システムは次第に他社のECサイ

トでも使われはじめ、現在ではタクシー代金やコンビニエンスストア、飲食店での支払いなど電子マネーとしての用途も広がっています。

図3：EC市場シェア（2013年）



（出所:中国電子商務研究中心）

ECの形態

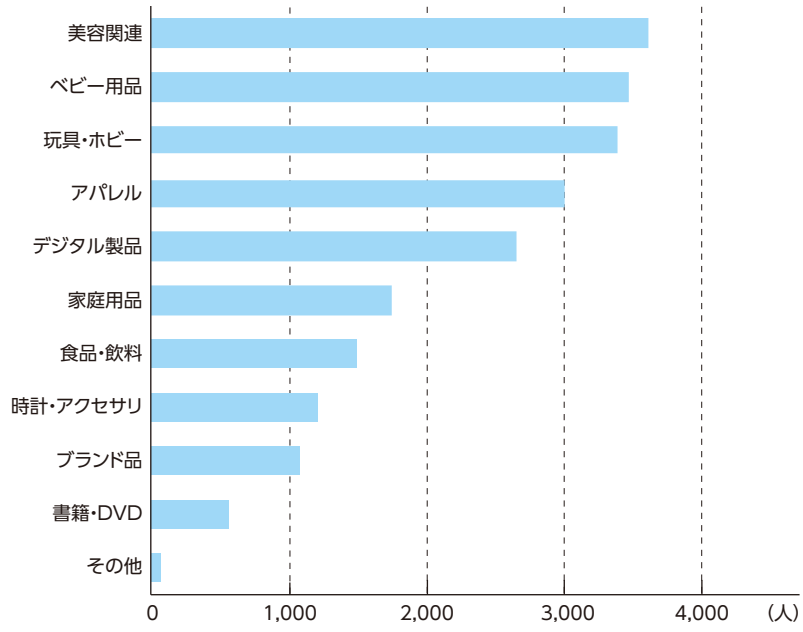
中国のECサイト（本稿では企業間取引を除き、個人向けのインターネットショッピングサイトを指します）は、日本などと同じように大きく2つに分けられます。ひとつは個人間取引（CtoC）、もうひとつは企業対個人取引（BtoC）です。

中国では先に個人同士で売買を行うCtoCから発展し、現在では企業が消費者向けに商品を販売するBtoCが勢いを増しています。昨年まではEC全体に占める割合はCtoCの方が大きかったのですが、今年以降はBtoCのシェアが上回ると予想されています。

サイト上では食品から家電品、衣料品、雑貨など日本でもよくみかける商品から、旅行や交通機関のチケットなど様々なものを買うことが出来ます。日本を訪れる中国人が化粧品や紙おむつ、炊飯器などを大量に買い占める、いわゆる爆買いに見られるように、中国でもそれらの海外製品は大変人気があります。（図4参照）

また海外製品については、サイト上で購入したものが直接海外から自宅まで輸送される、もしくは海外から中国の保税倉庫に一旦送られた在庫の中から注文の都度配送される「越境EC」と呼ばれる形態も

図4：どのような海外製品を買いたいか



（出所:中国電子商務研究中心）

浸透しはじめています。外国企業は中国に現地法人を作る必要がないほか、輸入品に比べコスト（税金、中間マージン）や手続き（商標登録、通関）の面でメリットがあり、課税面で整理されていない部分も残りますが、市場の更なる拡大が見込まれています。また、企業独自のECサイトが非常に少ないのも特徴であり、これは中国では直接サイト運営を認められているのが大手企業に偏っていることや、知名度の低いECサイトが消費者の信用を得にくいことなどに起因しています。そこでEC上でモノを売るためには大手サイトに出店することを検討する必要がありますが、CtoCサイトでは出店に際して殆ど費用はかからないものの、BtoCサイトに出店する場合には運営側に払う保証金などの出店費用や販売手数料のほか、毎年技術サポート料などの名目で一定額を支払う仕組みなどがあり、日本と比べコストは高めになるようです。（図5参照）

消費者の目

所得水準が上がったことで消費者はより良いモノを求め、海外製品の需要は高まっていますが、膨大な数の海外製品が店頭やサイト上に氾濫している以上、単に日本で有名である、あるいは品質や性能が良いというだけでは消費者は気づきません。中国人は欲しいものを買う際、まわりの多くの人が使っていて評判が良いもの（よく売れている商品）や、信頼できる店舗（もしくはECサイト）で売られているものを選び、買う前に製品情報や価格、口コミをよく調べてから購入する傾向にあります。

ECサイト上では、製品の売れ行き（月間の販売数量）をチェックできるほか、商品や店舗に対する膨大なユーザーレビュー（感想）を事前に見ることができます。中国ではECサイトで商品を購入した人の半数以上がユーザーレビューを書くと言われており、良いモノは家族、友人も含め周囲に積極的に広めたいとする意識が強いように感じます。最近ではスマートフォンのメッセージアプリが頻繁に使われるため、即座に多くの知人に広まります。またコストパフォーマンスも重要な要素であり、中国ではまとめ買いやセールでの割引、クーポン提供など買い得感を好む傾向があるようです。さらには返品

図5：大手ECサイトの概要

	淘宝（タオバオ）	天猫（T-MALL）	天猫国際（T-MALL国際）
販売チャネル	CtoC（中国個人-中国個人）	BtoC（中国企業-中国個人）	BtoC（海外企業-中国個人）
出店形態	原則個人がサイトに登録し販売	現地法人設立もしくは現地企業へ委託	現地法人不要（本国での営業実態と年数）
イニシャルコスト	特になし	保証金50千元以上	保証金25千米ドル
ランニングコスト	特になし	サポート費用60千元/年	サポート費用5千米ドル or 10千米ドル/年
販売手数料	特になし	2～5%	天猫と同程度
資金決済	中国国内決済（個人口座）	中国国内決済（法人口座）	国外決済可能（日本円など）決済手数料が必要
商品の規制	特になし	現地商標登録要（出願済or出願中）	現地商標登録不要（本国の登録は必要）
付随費用	ー	物流費用、輸入関税、増値税、消費税など	原則物流費用（行郵税、物流費）のみ
流通経路	中国国内	中国国内（海外製品の場合は輸入後配送）	海外→中国（EMSなど個別に直送）もしくは海外→保税エリア→中国国内

（出所：中国電子商務研究中心）

やクレームへの丁寧な対応などアフターサービスの良し悪しも影響します。

店舗での販売であれECでの販売であれ、競争の激しい中国市場で多くの消費者への販売につなげるには、まずは人々の好みに合った商品デザインや広告、販売方法、価格設定により、多くの人々の関心を引く（立ち止まらせる）ことが肝心であると言えます。中国人が興味をもつデザインや広告などは、当然ながら我々日本人の感覚とは異なります。中国のテレビコマーシャルを見ていると、凝った演出よりもインパクトの強いナレーションや画像が多く、店頭に並ぶ商品やポップ広告などもシンプルな表現や大きな価格表示が目につきます。現地で販路拡大をサポートする方々の話を聞いてみても、実際に消費者の声を聞いたり現地スタッフの意見を取り入れたりして、どのようなモノを欲しがっているのかをつかみ、認知度を高める（知ってもらう）ための売り方の工夫が、非常に重要であるようです。

▲ECサイト日本製品ページ

おわりに

中国では地域間の所得水準や生活環境の格差が依然大きいため、日本のように同じ商品がどこでも売れるわけではなく、それぞれの地域で価格帯や需要が異なります。裏を返せばより幅広いニーズが潜んでいるといえます。今はまだ知名度が高いものや見た目でわかりすいものなどが好まれる傾向が強いものの、市場が成熟するにつれ品質や機能性の高い日本製品への注目度はさらにあがるでしょう。また日本が人口減少局面を迎えるなか、既に中国は最も訪日観光客数の多い国であり、政治的リスクはつきまとうものの中国へ販路を見出すには訪日中国人向けのマーケットは無視できません。隣国の人々のことをより深く知ることからチャンスは広がっていくものと感じます。

（上海駐在員事務所　平田 治郎）

Singapore Representative Office

アジア駐在員報告

シンガポールの言語政策と社会・経済への影響

はじめに

シンガポールは、摩天楼と美しい緑があふれる賑やかで国際色豊かな街です。国土面積は約710㎢（東京23区、対馬、奄美大島とほぼ同じ）と、世界で最も小さな国の一つですが、マラッカ海峡沿いの交易の要所という有利な立地条件を活かした世界有数の貿易都市として、現在では世界でも有数の自由貿易経済都市国家へと成長を遂げています。

【シンガポールの概況（日本との対比）】

	シンガポール	日本
人口（2014年）	547万人	1億2,708万人
面積	716㎢	377,962㎢ 621㎢（東京23区） 696㎢（対馬） 712㎢（奄美大島）
一人あたりGDP（2014年）	USD56,319	USD36,331
民族	中華系74%　マレー系 13% インド系 9%　その他 3%"	–
言語	英語　マレー語　華語　タミル語	日本語
宗教	仏教　キリスト教　イスラム教 道教　ヒンズー教　無宗教	仏教　無宗教

（出典:外務省、日本統計局、シンガポール統計局、IMF）

今年、独立、建国50周年を迎えたシンガポールがどのような社会政策により現在の繁栄を築いたか、考察してみます。

シンガポールの歴史

シンガポールの国名は、ライオンを意味するsinga、都市を意味するpuraをあわせた、マレー語のシンガプーラ（Singapura）に由来すると言われます。

1819年1月、人口わずか150人程度のこの島に、イギリス東インド会社で書記官を務めていたイギリス人トーマス・ラッフルズがシンガポールに上陸。ラッフルズは当時何もなかったシンガポールの地理的重要性に着目し、都市化計画を推し進めました。イギリスによる植民地となった後は、東西交易、三角貿易の中継地点としての役割に止まらず、マレー半島な

どで産出された天然ゴムや、すずの積み出し港としても発展します。この時期に、労働力、港湾荷役労働者、貿易商、行政官吏として、中国、インド、現在のインドネシアなどから多くの移民がマレー半島、シンガポールへ渡来し、現在の多民族国家の起源となりました。

その後、第二次世界大戦を経てマレーシアと統合するのですが、シンガポールの大きな歴史の転換点となる事件が起こります。マレー人優遇政策を採用するマレーシア中央政府と華人が人口の大半を占め、マレー人と華人の平等政策を進めようとするシンガポール人民行動党（ＰＡＰ）の間で軋轢が激化し、１９６４年７月21日、憲法で保障されているマレー系住民への優遇政策を求めるマレー系のデモ隊と、中華系住民が衝突し、死傷者が発生しました。経済政策をめぐる考え方の違いや、マレー人と華人の人種対立が表面化し、マレーシア中央政府はマレーシア国家を崩壊させないために、シンガポールを連邦から除外することを決めます。マレーシア、シンガポール両国首脳の合意の上、１９６５年８月９日に都市国家としてシンガポールは分離独立しますが、実質、マレーシア連邦から追放されたのです。

シンガポールの言語政策

マレーシア連邦から分離独立したとき、多くのシンガポール人は資源のない小島でどう生きていくのか、途方に暮れたといいます。当時は、資源どころか日常の食料品や飲料水さえ皆無で、大半をマレーシアに頼っていました。加えて、シンガポールの総貿易の三割超を占めていたインドネシアとは貿易を停止したままの状態にあり、更に追い打ちをかけるように１９７１年に国家歳入の二割近くを依存していたイギリス駐留軍が撤退します。イギリス軍の撤退は、軍事面だけでなく、経済面でも大打撃を与えました。

それらの国家存亡の危機を救い、経済発展をも支えてきたのが、英語教育だと言われています。国民が利益を得て、国の経済的繁栄が展望されるような状況の土台となるのが言語教育、という考えに基づくものです。

独立当時のリー・クワンユー首相は、シンガポールの国家形成に向け教育に注力していく中で、こう言っています。

『われわれはシンガポールという国で生きていかなければならない。英語を行政用語にしなければ、シンガポールはもしかすると分裂、衝突、そして滅びるかもしれない』

明確な方針のもと、シンガポールは二言語政策を強力に推進していきます。二言語政策とは、シンガポールの公用語である英語、マレー語、華語（マンダリン）、タミル語から二つの言語を選ぶものですが、そもそもが英語強化政策のため英語は必須（教育上の第一言語）であり、残りの三つから他の公用語一つを選ぶことになります。ただし、華語については方言が多く、例えば華人系の子供が自宅で広東語や福建語を話しているとしたら、学校では英語と母語以外の公用語から一つを選ばねばならず、結果、三言語を操ることとなります。

英語を主軸とするバイリンガル教育が打ち出されたのは、シンガポールの歴史的背景や社会的状況によるものです。イギリス植民地時代から英語が行政用語の機能を果たしており、独立後も英語による行政上の記録の一貫性を保つために必要でした。また、華人が全人口の大多数を占め、中国的な色合いが濃い国と見られがちであったことも要因にあります。英語を行政用語にすることによって、主権国家として中国と適当な距離を保つことができますし、英語の政治的な中立性や国際社会における経済的価値（世界市場への参入が容易）が期待されます。

こうして、長年にわたって英語を主軸とするバイリンガル教育政策を実施した結果、英語はシンガポール国民の共通語となり、一躍アジアの英語教育先進国として注目を浴びるようになったのです。

▲経済発展の象徴である巨大ビル群

シンガポールにおける英語の役割

- 対外的な面において政治的に中立性のある言語
- 科学技術の分野での使用言語
- 外国人投資者の使用言語
- 各民族が同一条件で接することが出来る民族間で中立的な言葉
- シンガポールにおける諸記録、行政、司法の連続性（英国の統治以来）を保つ言語

【シンガポールの教育システムの歩み】

1960年	各民族の母国語を媒介語とする学校教育 華語校、マレー語校、タミル語校及び英語校が共存し、それぞれ独自のカリキュラムを実施
1966年	学校教育における第二言語の履修が課せられ、バイリンガル教育の実施を開始
1969年	第二言語が学校の試験科目に指定され、バイリンガル教育が正式に制度化
1973年	すべての小学校のカリキュラムに第二言語の学習時間を増加
1978年	南洋大学とシンガポール大学が共同キャンパスに移転 南洋大学の教育媒介語「華語」が英語に切り替え
1979年	教育制度の見直し委員会発足、ナショナルシステム実施の検討 華語普及キャンペーン（Speak Mandarin Campaige）の実施
1980年	南洋大学がシンガポール大学と合併、華語を媒介語とする大学が消滅 英語が学校教育の媒介語となる
1981年	大学入学の新基準として第二言語が必須
1987年	最後の華語校の学生が卒業、華語校が消滅 ナショナルシステム実施、すべての学校で統一したカリキュラムを履修
1989年	日本語、ドイツ語、フランス語が第三言語に指定
2000年	よい英語を話そう運動（Speak Good English Movement）開始
2003年	義務教育実施

（出典:多民族社会の言語政治学）

【家庭で最もよく使う言語（5歳以上）】※数値は各民族の人口における比率

	中華系			マレー系			インド系		
	1990年	2000年	2010年	1990年	2000年	2010年	1990年	2000年	2010年
英語	19%	24%	33%	6%	8%	17%	32%	36%	42%
マンダリン	30%	45%	48%						
中国語方言	50%	31%	19%						
マレー語				94%	92%	83%	15%	12%	8%
タミル語							43%	43%	37%
その他							10%	10%	14%

（出典:census of population 2010）

言語政策が及ぼす社会・経済への影響

英語の社会的・経済的役割は大きく、1970年代以降のシンガポールの急速な経済発展を強く後押ししました。シンガポールが英国の統治を受けていたという歴史的背景、そして多言語、多民族国家であるという国情に加えて、政治的、社会的状況が加わったために社会を構成する三大民族（中華系、マレー系、タミル系）の母語ではない英語が、政府の意図的介入の結果であるにもかかわらずシンガポール人に許容され、国家語として機能しました。

一方で英語を主軸としたバイリンガル教育は、様々な功罪を生んでいます。

シンガポールは教育に熱心であるがゆえに、エリート教育も苛烈です。高学歴者への社会的評価は極めて高く、厳しい能力主義を取り入れた教育制度を採用しています。近年、発生する問題として、多言語状況で英語教育を受けてきた第三世代（独立後に生まれた世代）エリート達のシンガポールへの帰属意識の薄さが見られます。人的資源の育成に国を挙げて取り組んできた結果、シンガポールの将来を担う世代の愛国心は弱く、頭脳が流出する傾向にあります。シンガポール人がシンガポールを故郷とする意識、ナショナリズムに薄いと言われる理由の一つが、英語を公用語にし、教育媒体としていることです。シンガポール人は欧米英語圏になじみ、それらの国に永住することに抵抗感がありません。急速な経済発展で、英語が流暢なほど、ライフスタイルにアイデンティティのねじれが生じます。国策で育て上げたエリート達が必ずしもシンガポールに止まるとは限らず、欧米の英語圏で学位を取得したエリートの多くは、条件が良ければ海外で就職し、定住してしまうパターンが多見されます。経済発展のために不可欠な言語が、アイデンティティの弱体化を招いたケースです。

シングリッシュ

ところで、シンガポールには庶民の日常会話に使用される独特の口語英語『シングリッシュ』（Singapore Colloquial English）が存在します。植民地時代に芽生え、生きながらえてきたピジン英語（二つ以上の言語が接触し新しく生まれる混交語）がシングリッシュとして広まっていった、と言われます。シングリッシュは英語に加えて中国語の構造をもち、福建語やマレー語の語彙等が結びついており、発音にも独特の訛（なまり）があります。前述のとおり当初から存在していたわけではなく、移民の歴史を経て、政治形態が整い、政策が施され、社会変容を遂げた中でシンガポール人自身の選択した結果として生まれたものです。

シングリッシュが広まっていった過程には、教育における言語政策以外にシンガポール政府がとった民族融合政策も影響しています。住居問題解消策は代表的な例の一つです。1959年当時のシンガポールは、深刻な住居不足（8・8％の人しか公営住宅に住んでいなかった）の状況にあり、解消のため1960年に住宅供給開発

公社（ＨＤＢ）が設立されました。ＨＤＢ設立以前は、人々は移民、また民族間の分離という英国の植民地政策ゆえに同じ民族グループ内で集まって住んでおり、その頃の社会は民族とそれが成す共同体に基盤を置いていました。もし公営住宅に民族的偏りが出来てしまえば、以前の閉鎖された共同体の状態に戻ることになり、民族共同体の中での母語使用が進むため、言語政策、教育制度を通じて種々の政策が国民に等しく展開されないことになります。民族的多様性を抱える国家では言語的に閉鎖された状況は民族的閉鎖を惹起し、政策の浸透を困難にすることに繋がるため避けなければならない、という政治的立場も考慮されました（ＨＤＢ設立の目的が住宅不足の解消にあっただけではなく、民族の統合による国家形成を目指す政策の一環であったことが明確）。よって、ＨＤＢでは民族割合に応じた構成比率が適応されています。

こういった政策があり、異民族間のコミュニケーションツールとしてシングリッシュは広まりました。シングリッシュは不完全に習得した英語、または他言語が混じり現地化された英語の変種と一般的に考えられており、実際、他の英語圏の国々に比べ、シンガポールの英語は分かり難いという指摘を受けます。政府としてもシンガポール人にしか通じない（世界と隔絶する）方向へ進むシングリッシュの氾濫を食い止めるため、２０００年４月、全国規模で「よい英語を話そう運動（Speak Good English Movement）」を打ち出しました。

しかしながら、シングリッシュはシンガポール人に受け入れられ、様々な場面で使われ続けます。流暢な英語を話すことが気取っているように見受けられる、人間関係を構築していくにはシングリッシュを話す方が親しみが感じられ迎えられ易い、など諸々あるのでしょうが、シングリッシュというものに、シンガポール人としてのアイデンティティを感じていることも一つの事実としてあるようです。

【代表的なシングリッシュ】

文法

Today, bread all finish already.Tomorrow can.
（今日のパンは全て売り切れてしまいました。明日はありますよ）
Need or no need?　（いるの?いらないの?）

発音

park（パッ）　work（ワッ）　joke（ジョッ）

強調

can!can!（出来ます!）　OK,lah（お任せ下さい）
ting,ting and ting（考えに、考え抜きました）　※ting=think

語尾

can lah− Yes（いいですよ）
can lor− Yes, I think so.（そう思うよ）　※はっきりと決めていないとき
can meh?− Are you certain?（確かですか?）　※疑っているとき

多国語の単語が混ざる

中国語混在　Coffee you wanna ma?（コーヒー要りますか?）　※〜ma（吗）:〜ですか?
マレー語混在　Go makan!（ご飯行こう!）　※makan（マカン）:食べる

【公営住宅の民族割合】

	近隣	ブロック
中国系	84%	87%
マレー系	22%	25%
インド系他	12%	15%

（出典:Housing Development Board, 2014）

最後に

２０１５年、シンガポールは建国５０年を迎えます。乏しい資源、多民族、多言語といった克服すべき問題を乗り越え、世界の中でも豊かな国として認識されるまでに発展を遂げてきました。成功の要因は、アジアの中継地点という地理的優位性、建国の父であるリー・クアンユーの政治指導力など様々挙げられますが、英語を軸とした言語政策が大きく貢献していることは間違いありません（たとえアイデンティティの問題を孕（はら）むとしても）。

▲シンガポール最大の繁華街:オーチャード

英語能力の低さによって他の教科も思うように習得できず、華語系の学校出身で英語がよく出来ないため、思うような仕事に恵まれなかった層もシンガポールには存在しますが、それらの人々の英語能力としても日本人よりは上をいくレベルです。シンガポールは英語を第一言語に据えたバイリンガル政策を展開し、成功を収めた国です。今後もグローバル化が進むにつれて、英語の経済的価値がいっそう高まると思われます。日本も鑑（かんが）みる部分が大きいのではないでしょうか。実際に、英語教育に関しては危機感があります。

なお、シンガポールの人口の70％超を占める華人は、第二言語として華語を流暢に操ります。これは、英語に並ぶ強力な武器になり得るでしょう。

（シンガポール駐在員事務所　吉田 圭一郎）

▲インド系・アラブ系の人々

▲様々な人種が混じるホーカー（屋台）

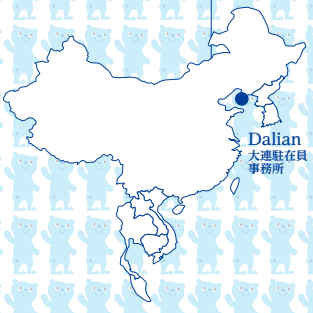
Dalian Representative Office

海外進出最前線

海外に進出されている福岡銀行吉井支店のお取引先企業グループのご紹介です。

有限会社ファクト

～中国／大連市で日本向け家具を製造～



はじめに

有限会社ファクトは、1992年10月に大連市郊外に家具工場を設立しました。その後、現地事業の拡大に合わせて製造部門は完全に大連工場に移管し、日本本社は販売に専念する分業体制を構築されています。現在では、関東地区を中心に安定した営業基盤を確立され、製品は全量が日本へ輸出されています。大連工場には、日本の高級家具専門店と遜色のない立派なショールームが併設されており、この空間にはここが中国であることを一瞬忘れてしまうほどの上品かつ快適な雰囲気が漂っています。

今回は、有限会社ファクトの金子代表取締役社長に、これまでの20年超に渡る中国事業や今後の展開についてお話を伺いました。

海外進出の苦労

金子社長は1994年に大連工場へ赴任されました。当時はレンガ作りの工場を賃借して、現地の従業員に慣れない中国語で繰り返し技術指導を行い、毎日手探りで家具を作っていたそうです。現地従業員に「品質の感覚を理解してもらうのに大変時間がかかった」と仰るように、日本では当たり前の感覚が当時の中国人にはなかなか理解されず、「これくらい大丈夫だろう」と改善されないまま製造された結果、出荷できない不良品が多数発生したことが何度もあったそうです。

当社には当時から勤務している従業員が現在も多数在籍しており、現場の中核として活躍しています。家具作りはライン化・自動化が難しく、同じ設備で何種類もの部材を加工する必要があるそうですが、当社の従業員は日々の生産計画に基づき「ひとつの現場で正確に、何種類もの家具を製造できる」技術集団で、これは20年かけて作り上げてきた現場力のなせる技で、当社の強みであると仰っています。

長年の積み重ねで多品種少量生産が可能となったことから、当社家具は同じデザイン・コンセプトに基づいたソファ、

ダイニングセット、テレビボードなどをそれぞれシリーズ化しており、取引先からの様々なニーズに対応されています。

今後の展開

当社は現在、大連に進出している多くの日系企業と同じく「円安」の問題に直面しています。加えて、現在は日本の家具業界全体が不景気であることから、日本以外の販路の開拓など、新たな事業展開を検討されています。

金子社長は、イタリアやドイツなどのヨーロッパ諸国、及びタイやシンガポール、インドネシアなどのASEAN諸国で開催される家具の展示会を例年視察されていますが、今後はこれら展示会に出展し、「各国での販売やOEM受注の可能性について検討したい」と仰っています。さらに中国国内での販売についても、パートナー確保や売掛金回収、在庫管理などの難しい問題がありますが、同様に可能性を検討されています。

最後に

当社が大連へ進出されてから20年以上経過し、この間に日中関係が悪化したことが何度かありましたが、そのことが従業員に与えた影響は「まったくなかった」そうです。金子社長は家具へのこだわりを語りだしたら止まらない情熱家ですので、従業員の皆さんもきっと社長の姿勢に共感し、家具作りに真摯に取組まれていますので、多少の政治問題などに影響されない社風が出来上がっているのだと感じました。

円安の厳しい事業環境下ではありますが、素晴らしい工場と従業員の皆さんがいらっしゃいますので、新たな販路を開拓され今後益々発展されることと思います。

（大連駐在員事務所　小田 周平）

▲金子社長

▲工場入口

▲工場

▲ショールーム

PROFILE

大連工場
住　　所：大連市旅順口区龍頭鎮龍頭村
T　E　L：+86(0411)8628-0158

親 会 社：有限会社ファクト
住　　所：福岡県うきは市吉井町333-8
T　E　L：0943-75-2233
F　A　X：0943-75-2332

Bangkok Representative Office

海外進出最前線

株式会社小川屋

Kinshiro (Thailand) Co.,Ltd.

海外に進出されている親和銀行島原支店のお取引先企業グループのご紹介です。

はじめに

株式会社小川屋（本社：長崎県島原市　代表取締役社長小川知孝）は、ちゃんぽん・皿うどん、そうめんを中心とした麺類製造・卸売、飲食店3店舗（店名：金四楼、長崎・熊本）を運営されています。

もやしの製造を本業とされていましたが、麺類の製造に業態変更された後、お客様に麺をおいしく召し上がっていただくことを目的に、飲食店を出店されました。

２０１４年12月、日本への留学経験がある日本語堪能なタイ人パートナー、ゴルフ氏と共同でバンコクにて九州レストランをオープンし、麺だけではなく長崎特産品のＰＲをされています。

タイ進出のきっかけ

２０１３年1月に開催した「ＦＦＧ食の商談会」には、出展者として参加されました。タイでの活気を感じると同時に、日本からの輸入食材をタイで販売する際の小売価格の高さを実感されました。

その後、２０１４年2月にバンコクにて40日間開催された「ＪＥＴＲＯテストキッチン」に参加され、食べ方の説明の重要性を感じながら、出店7店舗で売上トップの実績をあげられました。長崎名産の「ちゃんぽん・皿うどん」「そうめん」は、タイ人に受け入れられると確信し、レストラン開店に向けて準備を進めることとなりました。

タイのレストランでのこだわり

日本人シェフを2名配置し、「自社製造麺」「地場特産をアレンジ」「だしの仕込み」を念頭にメニューを構成されています。日本からの輸入食材だけにこだわると販売価格が高くなりますので、地場食材をいかに活用するかを工夫されて、リーズナブルな販売価格（原価率の低減）にチャレンジされています。

また、リピート客を捕まえるために「日本流の気配り・おもてなし」の教育・実践を心がけています。入れ替わりの激しいスタッフの育成に時間をかけることにより、タイ人のお客様にも日本の良さをＰＲする目的です。

最後に

駐在日本人、タイ人の訪日旅行客が増加している背景もあり、タイにおいては、日本食レストランも増加し続けています。ただし、タイ側パートナーが必要となる、日本からの輸入食材は高額となるなど進出のためにはいくつもの超えないといけないハードルがあります。

小川屋様の場合、活気あるタイでのビジネスチャンスに挑みたいという小川社長の熱い思いにより、出店が成就しています。

海外でのビジネスは日本以上に気を付ける事柄が多いですが、バンコク駐在員事務所としても精一杯のお手伝いを心がけたいと思います。

（バンコク駐在員事務所　佐々木 隆夫）

▲ビル外観

▲スタッフの皆さん

▲創作料理（カステラデザート）

▲ちゃんぽん

▲店舗入口

PROFILE

現地法人：Kinshiro（Thailand）Co.,Ltd.
住　　所：Rain Hill（Soi47）3rd Floor, 777 Sukhumvit Rd, Klongton-Nua,Wattana,Bangkok 10110
T　E　L：+66-2-261-7389

親 会 社：株式会社小川屋
住　　所：長崎県島原市前浜町乙89番地
T　E　L：0957-64-0689

アジア展示会情報 | イベント等は主催者側の都合により変更されることもあります。

場所	展覧会名	期間
	第 16 回北京国際航空展覧会	9 月16日～ 9 月19日
	2015 第 4 回中国衛星ナビゲーションと位置情報サービス年会及び展示会	9 月23日～ 9 月25日
	2015 北京輸入自動車博覧会	9 月23日～ 9 月28日
	2015 第 11 回中芸博国際画廊博覧会	10月 7 日～10月11日
	2015 中国国際電子情報科学技術展覧会	10月 9 日～10月11日
	2015 第 18 回膜及び水処理技術と装備展覧会	10月14日～10月16日
	2015 中国国際省エネエコ自動車展覧会	10月21日～10月24日
	2015 海外不動産購入、投資、移民及び高水準生活展覧会	10月22日～10月24日
	2015 中国国際教育展覧会	10月24日～10月25日
	第 16 回北京分析測定学術報告会及び展覧会	10月27日～10月30日
	第 14 回中国国際ディーゼル機及び部品展覧会	11月 2 日～11月 4 日
	2015 北京国際貨幣博覧会	11月 7 日～11月 9 日
	2015 第 8 回中国オンライン分析機器応用展覧会	11月15日～11月17日
	2015 北京世界食品博覧会 2015 中国飴文化祭り及び第 12 回中国国際甘いものスナック食品展覧会	11月18日～11月20日
	2015 北京冬季ウエディング博覧会	12月 5 日～12月 6 日
	2015 中国国際智慧教育展覧会	12月11日～12月13日
	第 13 回中国国際部屋及び建築防水技術展覧会	12月15日～12月17日
	第 8 回中国国際ブランド加盟投資博覧会	12月19日～12月20日
全国農業展覧会	2015 北京国際応急救済装備技術展示会	9 月14日～ 9 月16日
	2015 中国国際製紙科学技術展覧会	9 月16日～ 9 月18日
	2015 中国国際文化芸術博覧会	9 月25日～ 9 月27日
	2015 北京国際漁業博覧会	10月17日～10月19日

蘇州

蘇州国際博覧センター	2015 年武漢名優創新製品展覧会 2015 中国（蘇州）華夏家博博覧会	9 月11日～ 9 月13日
	2015 パルプ世界アジア博覧会及びセミナー	9 月23日～ 9 月24日
	2015 中国蘇州国際自動車博覧会	9 月30日～10月 4 日
	第十五回金蜘蛛蘇州ファスナー展覧会	10月21日～10月23日
	第六回中国国際ナノテクノロジー産業発展フォーラム	10月28日～10月30日
	2015 蘇州仏教用品展覧会	10月29日～11月 1 日
	2015 蘇州国際型鋼成形型鋼博覧会	11月 4 日～11月 6 日
	第八回中国国際紙包装工業、カラー段ボール包装印刷展覧会 第二回中国国際デジタル印刷包装及びシルク印刷展覧会 第三回中国国際消費品包装展覧会	11月 5 日～11月 7 日
	2015 蘇州品質生活博覧会	11月14日～11月29日

上海

上海新国際博覧中心	中国国際家具展覧会	9 月 9 日～ 9 月12日
	上海国際インテリジェント産業展	9 月16日～ 9 月18日
	2015 国際 LED 展覧会	9 月16日～ 9 月19日
	中国（上海）国際ファッション家庭用品展覧会	9 月17日～ 9 月19日
	BWT 中国建築給排水と汚水処理展覧会 上海国際インテリジェント建築展覧会 上海国際暖房通風エアコン、建築設備及び技術展覧会	9 月23日～ 9 月25日
	中国国際縫製設備展覧会	9 月23日～ 9 月26日
	2015 上海国際ガラス工業展覧会	10月14日～10月16日
	上海国際プロフェッショナル照明音響展覧会 中国（上海）国際楽器展覧会	10月14日～10月17日
	2015 中国国際文法具及びオフィス用品展覧会	10月15日～10月17日
	2015 中国国際金融展	10月15日～10月18日
	中国国際ベビーカー及び児童用品展覧会 中国国際玩具、幼児教育用品及び設備展覧会	10月20日～10月22日
	2015 上海国際鋼管工業展覧会 /2015 上海国際鋳造、鍛造、熱処理展覧会 2015 上海国際耐火材料、工業炉展覧会 / 国際冶金工業展覧会	10月21日～10月23日
	アジア国際動力伝動及びコントロール技術展 アジア国際物流技術及び輸送システム展	10月27日～10月30日
	第 11 回中国アイスクリーム冷凍食品設備及び原材料補助材料展覧会 第七届中国国際飲料工業科技展 上海国際断熱材及び省エネ技術展覧会	11月 4 日～11月 6 日
	中国国際ゴム技術展 上海国際食品飲料及び飲食設備展覧会 中国電子展 / 中国国際半導体博覧会	11月11日～11月13日
	CHINA-PHARM2015 中国国際医薬（化粧品）工業展覧会及び技術交流会 PacPro Asia 2015 国際包装材料生産及び加工工業展覧会 FoodPex 2015 中国国際食品加工及び包装技術と設備展覧会	11月17日～11月20日
	第二十回中国国際塗料、インク及び接着剤展覧会 第二十八回中国国際表面処理、塗装及び塗料製品展覧会	11月18日～11月20日
上海世貿商城（上海マート）	第 18 回 FBC 上海 2015 日中ものづくり商談会	9 月 9 日～ 9 月10日
	2015 上海国際金融商品展覧会	9 月11日～ 9 月13日
	第八回使い捨て衛生用品及びナノ抗菌技術（上海）展覧会	9 月24日～ 9 月26日
	2015 上海真珠宝石アクセサリー展覧会	10月 2 日～10月 5 日
	2015 中国国際不織材料展覧会	10月14日～10月16日
上海光大会展中心	中国国際タイヤ博覧会	9 月 9 日～ 9 月11日
	自動車検査及び品質管理博覧会	9 月15日～ 9 月17日
	2015 上海国際生物発酵製品及び技術設備展覧会 2015 中国（上海）WECHAT ビジネス博覧会 上海国際発酵食品展覧会 / アジア酵素製品説明会	9 月21日～ 9 月23日
	2015 上海国際運送包装、包装製品及び材料展覧会	10月10日～10月12日
	2015 上海高級食品、食品安全及び食品設備展覧会 2015 上海（秋）飲食関係博覧会	10月16日～10月18日
	2015 上海国際互換バッテリー及びマイクロ波展覧会	10月21日～10月23日
	第十六回中国制冷、エアコン及びヒートポンプ省エネ博覧会	11月 2 日～11月 4 日

大連

場所	展覧会名	期間
世界博覧広場	中国（大連）国際茶業・茶文化博覧会	9 月 4 日～ 9 月 7 日
	2015 中国国際レジャー、スポーツ、文化産業（大連）博覧会	9 月10日～ 9 月13日
	中国（大連）国際服装紡績商品博覧会	9 月18日～ 9 月21日
	2015 第 7 回大連日本商品展覧会	9 月25日～ 9 月27日
	第 16 回大連国際流行家具展示販売会 2015 大連秋季不動産交易大会	10月 9 日～10月12日
	大連港施設展覧会	10月16日～10月18日
	2015 大連国際金融展示会	10月23日～10月25日
	2015 大連冬季自動車交易会及び自動車用品展覧会 2015 第 12 回中国大連アニメ展覧会	11月20日～11月22日
星海会展中心	2015 大連国際老齢者産業博覧会	9 月 4 日～ 9 月 7 日
	第 9 回中国東北地区無公害食品博覧会	9 月11日～ 9 月14日
	第 26 大連国際服装紡績商品博覧会	9 月18日～ 9 月25日
	全国特色食品及びブランド服装展覧会	9 月27日～10月 4 日
	第 7 大連三軒秋季約貝展示会	10月 2 日～10月 4 日
	2015 第 6 回大連国際農業博覧会	10月15日～10月19日
	第 7 回中国（大連）軽工業商品博覧会	10月22日～10月26日
	2015 大連秋季茶業博覧会	10月29日～11月 2 日
	第 4 回中国（大連）国際文化産業博覧会	11月 5 日～11月 9 日
	大連国際毛皮、皮製品及びカシミア製品博覧会	11月11日～11月18日
	2015 大連冬季装飾材料及び家具博覧会	11月20日～11月22日
	迎新春ブランド商品博覧会	11月27日～12月 5 日
	2014 第 4 回なまこ海鮮珍味博覧会	11月29日～12月 3 日
	第 20 回大連国際迎新春ブランド商品博覧会	12月15日～12月22日
	第 19 回大連お正月用品展示即売会	12月23日～12月30日
大連国際会議中心	2015 全国（国際）ヨガ産業博覧会	9 月22日～ 9 月26日
	第 2 回国際口腔医学大会	11月 1 日～11月 3 日

北京

中国国際展覧中心	2015 第 11 回中国（北京）国際パイプ材料工業展覧会	9 月 8 日～ 9 月10日
	2015 第 28 回中国国際眼鏡業展覧会	9 月 9 日～ 9 月11日
	2015 第 17 回中国（北京）国際医療器械展覧会 第 11 回環境と発展フォーラム及び 2015 中国国際生態環境技術と装備博覧会	9 月14日～ 9 月16日
	2015 第 32 回中国北京国際ギフト、贈呈品及び家庭用品展覧会	9 月14日～ 9 月17日
	2015 中国国際情報通信展覧会	9 月22日～ 9 月25日
	2015 中国（北京）３D、仮想現実、シミュレーション技術及び製品展覧会	10月 9 日～10月11日
	2015 中国国際自動車製造業博覧会	10月10日～10月12日
	2015 第 4 回北京国際創造的デザイン産業博覧会 2015 第 27 回北京国際美容化粧用品博覧会 第 12 回中国国際機械視覚展示会及び機械視覚技術と工業応用展覧会 第 20 回国際レザー光電子及び表示装置製品展覧会	10月14日～10月16日
	2015 中国保安装備技術製品博覧会 第 14 回中国国際食品加工と包装機械展覧会	10月19日～10月21日
	2015 中国国際健康サービス業博覧会及び健康食品展覧会 2015 第 4 回北京国際観光商品博覧会	10月24日～10月26日
	2015 第 10 回中国北京国際文化アイディア産業博覧会	10月29日～11月 1 日
	2015 第 15 回中国（北京）国際食用油及びオリーブ油産業博覧会 2015 第 15 回中国国際栄養健康（北京）産業博覧会 2015 中国北京国際茶産業博覧会 2015 中国（北京）国際自転車電動車及び部品展覧会 2015 第 15 回（北京）国際酒業博覧会 2015 第 15 回北京国際有機食品及び無公害食品博覧会	11月 6 日～11月 8 日
	2015 第 13 回北京国際広告展覧会 2015 第 11 回アジア北京国際ＬＥＤ照明展覧会 2015 中国（北京）国際スマート科学技術応用博覧会 2015 第 8 回アジア（北京）国際電子情報産業展覧会 第 6 回中国（北京）食用油産業博覧会 2015 中国映画テレビ文化博覧会 2015 中国（北京）国際幼児教育装備及び用品展覧会 2015 中国（北京）国際教育装備及び智慧教育展覧会	11月11日～11月13日
	2015 北京国際軌道交通建設運営及び装備展覧会	11月17日～11月20日
	2015 中国国際省エネ技術改新及び装備博覧会	11月18日～11月20日
	2015 中国国際酒業博覧会及び酒類技術装備ブランド商品展覧会	11月23日～11月25日
	2015 中国国際真珠宝石アクセサリー展覧会	11月28日～12月 2 日
	2015 中国（北京）国際仏教用品博覧会	12月18日～12月21日
中国国際展覧中心（新館）	2015 北京国際商品交易博覧会	9 月 2 日～ 9 月 6 日
	2015 第 2 回中国エネルギーフォーラム及び展覧会	9 月 7 日～ 9 月10日
	2015 中国北京国際新エネルギー自動車電動自動車展覧会 2015 中国国際原子力発電工業装備展覧会 2015 中国（北京）国際熱処理展覧会 2015 第 4 回中国（北京）国際非破壊検査測定設備展覧会	9 月 8 日～ 9 月10日
	第 14 回中国国際住宅産業博覧会及び室内通風と空気浄化商品展覧会	9 月 9 日～ 9 月11日
	2015 第 13 回中国（北京）国際工程機械、建材機械及び鉱山機械展覧会	9 月22日～ 9 月25日
	2015 北京国際風能大会及び展覧会 2015 第 9 回中国国際馬業馬術展覧会	10月14日～10月16日
	第 16 回中国国際消防設備技術交流展覧会	10月20日～10月23日
	第 16 回中国国際石炭採掘技術交流及び設備展覧会	10月29日～11月 1 日
	全国自動車部品交易大会	11月 6 日～11月 8 日
	2015 中国水の博覧会	11月18日～11月20日
北京展覧館	2015 第 18 回北京芸術博覧会	9 月10日～ 9 月13日
	2015 北京国際ダイビング展覧会及びアジアダイビング展覧会	9 月11日～ 9 月13日
	2015 北京秋季不動産展示交易会	9 月17日～ 9 月20日
	2015 第 11 回北京国際金融展覧会	10月29日～11月 1 日
	2015 北京国際老齢者産業博覧会	11月13日～11月15日
	2015 中国舞台美術展覧会	11月26日～11月30日
北京国家会議中心	第 13 回中国国際室内及び建築の防水技術展覧会	9 月 1 日～ 9 月 3 日
	2015 秋季中国北京ウエディング博覧会	9 月 5 日～ 9 月 6 日
	2015 中国国際石油化工技術大会及び展覧会	9 月10日～ 9 月11日

場　　所	展　覧　会　名	期　　間
ベネチアン　マカオ	国際フードエキスポ	10月 1 日～10月 4 日
	香港トレンディパイングエキスポ 2015	
	第 5 回マカオ国際エデュケーションエキスポ	10月 9 日～10月11日
	第 20 回マカオ国際貿易＆投資フェア	10月22日～10月25日
	マカオ国際ライトニングエキスポ	10月30日～11月 1 日
	2015 中国（マカオ）国際自動車エキスポ	11月 6 日～11月 8 日
	マカオ国際デザインショー	
	マカオゲーミングショー	11月17日～11月19日
	2015 マカオ国際レーシングカーカルチャーエキスポ	11月20日～11月22日
	第 11 回国際ホテルエキスポ	11月25日～11月27日
	第 3 回国際的文化＆美術フェア	
	第 8 回クリスマスショッピングフェスティバル	12月 4 日～12月 6 日
	アジアエンターテイメントエキスポ 2015	12月11日～12月13日
	国際おもちゃ＆ゲームエキスポ 2015	12月25日～12月27日
Macau Fisherman's Wharf Convention & Exhibition Centre	第 1 回マカオコミックエキスポ	10月 2 日～10月 4 日
	第 8 回国際アニメーションコミックエキスポ	12月25日～12月27日

深圳

深圳会議展覧中心 (Shenzhen Convention & Exhibition Centre)	2015 深セン国際オートショー＆第 5 回輸入車 / 高級車エキスポ	10月 1 日～10月 5 日
	第 2 回深センゲームショー	
	第 4 回中国（深セン）国際ホスピタリティ産業設備＆供給品フェア	10月14日～10月16日
	第 10 回中国（深セン）国際物流＆輸送ションフェア	
	第 23 回中国（深セン）国際ギフト＆ホームプロダクツフェア	10月20日～10月23日
	2015 第 15 回中国パブリックセキュリティエキスポ	10月29日～11月 1 日
	2015 第 9 回中国（深セン）国際金融エキスポ	11月 6 日～11月 8 日
	第 17 回中国ハイテクフェア	11月16日～11月21日
	第 15 回深セン国際タッチパネルエキシビジョン	11月25日～11月27日
	深セン国際高機能フィルム＆テープエキスポ (高機能フィルム、粘着テープ、保護フィルム、光学フィルム)	
	2015 第 4 回深セン国際アートフェア	11月27日～11月30日
	2015 国際プリント回路＆ APEX 華南フェア	12月 2 日～12月 4 日
	中国（深セン）ツーリズムエキスポ 2015	12月 4 日～12月 6 日
	第 17 回深セン国際アパレルファブリックアクセサリ＆織り糸エキスポ	12月 9 日～12月11日
	2015 深セン国際エキシビジョン（衣類 OEM/ODM）	
	第 11 回冬　アート＆クラフトエキスポ	12月11日～12月14日
	第 11 回中国（深セン）秋　ティーエキスポ	12月18日～12月21日

広州

広州中国輸出入商品取引会展館 (China Import & Export Fair Complex,Pazhou)	第 118 回セッションチャイナインポート＆エクスポートフェア	10月15日～11月 4 日
	第 13 回中国（広州）国際自動車エキシビジョン	11月21日～11月29日
	2015 第 15 回中国（広州）国際レザーバッグ＆ハンドバッグフェア	11月26日～11月28日
	2015 第 10 回中国（広州）国際アパレルファブリックアクセサリー＆織り糸フェア	
	第 22 回広州ホテル設備＆供給品エキシビジョン	12月14日～12月16日
	第 22 回広州クリーニング設備＆供給品エキシビジョン	
	2015 広州ホテルフード＆ビバレッジエキシビジョン	
保利世貿博覧馆 (Poly World Trade Expo Centre)	中国国際コミックスフェスティバルエキスポ	10月 1 日～10月 5 日
	ペットフェアアジア 2015 －広州	10月 8 日～10月11日
	アクアフェアアジア 2015	
	2015 秋　家庭用品、照明＆エレクトロニクスエキシビジョン	10月14日～10月17日
	第 32 回 Jihan フェア（ホーム＆ギフト）	10月21日～10月27日
	第 2 回中国国際老齢者産業エキシビジョン	11月 6 日～11月 8 日
	第 78 回中国自動車パーツフェア	11月12日～11月14日
	2015 広州国際印関連刷エキスポ (スルリーンプリンティング・インダストリアルデジタルプリント＆テキスタイルデジタルプリンティング)	11月17日～11月19日
	2015 中国（広州）国際エキシビジョン (印刷技術＆パッケージング技術＆設備)	
	2015 中国（広州）国際印刷エキシビジョン (プリンティング＆パッケージングシート)	
	2015 広州デザインウィーク	12月 4 日～12月 6 日
	第 3 回中国（広州）国際グリーン建築エキスポ	12月10日～12月12日
	中国国際ヘルスエキスポ	
	ホテルエキスポ広州 2015	12月15日～12月17日
	中国（広州）クリーンエキスポ 2015	
	I-Fair（広州）2015	

台湾

Taipei World Trade Center Hall 1	台北国際発明展＆テクノマート見本市	10月 1 日～10月 3 日
	オーストラリア　教育エキシビジョン　台湾　2015	10月 3 日～10月 4 日
	第 17 回台北　幼児・妊婦グッズ＆子供エキスポ	10月 8 日～10月11日
	アジアオーガニック＆ロハスエキスポ　台湾　2015	10月 9 日～10月11日
	2015 秋　国際教育エキスポ	10月10日～10月11日
	台北シューズショー　秋＆冬 2015	10月13日～10月15日
	台湾　国際太陽光発電エキシビジョン	10月14日～10月16日
	16 回新世紀家具エキスポ	10月16日～10月19日
	台北国際デジタルフォトグラフィー＆メディア設備エキシビジョン 2015	10月22日～10月25日
	台湾　アウトドアショー 2015	
	アート台北 2015	10月30日～11月 2 日
	台北国際トラベルフェア 2015	11月 6 日～11月 9 日
	台北国際建築資材＆ファーニチャーエキシビジョン　2015	11月13日～11月16日
	台湾ジュエリー＆ジェムフェア	11月20日～11月23日
	台北国際建築建材及び産品展エキスポ 2015	12月10日～12月13日
	台北おもちゃ・女性・子供＆教育用品エキスポ 2015	12月17日～12月20日
	台北国際フィギュア＆プラスティックモデルショー	
	台北国際オートショー	12月26日～ 1 月 3 日

場　　所	展　覧　会　名	期　　間
	第二十回中国（国際）小型モーター技術セミナー	11月11日～11月13日
	第十六回磁性材料、第十四回電子変圧器、第十二回コントロール継電器センサー技術、第十一回コンデンサ技術展	
	2015 中国（上海）国際自動車用エアコン及び冷却技術展覧会	11月16日～11月18日
上海国際展覧中心	中国国際リハビリ補助器具博覧会	9 月 5 日～ 9 月 7 日
	中国国際健康食品博覧会	9 月10日～ 9 月12日
	第十九回医療機器及び栄養健康産業博覧会	9 月17日～ 9 月19日
	2015 アジア果物と野菜産業博覧会	11月19日～11月21日
	2015 上海 LED 照明、建築、家具展覧会	11月25日～11月27日
上海国家会展中心	第 36 回中国（上海）国際家具博覧会	9 月 8 日～ 9 月12日
	2015 中国茶業交易会	9 月19日～ 9 月22日
	2015 年第九回中国国際自動車商品交易会、2015 年第六回中国国際オートバイ及び部品交易会、2015 年第九回中国国際自動車改装博覧会	
	2015 上海国際口腔設備博覧会	9 月24日～ 9 月27日
	中国国際服装服飾博覧会（秋）	10月13日～10月15日
	2015 紡績生地及び副資材（秋冬）博覧会	
	上海国際切削工具及び装備展覧会	10月26日～10月28日
	第十七回中国国際工業博覧会	11月 3 日～11月 7 日
	中国ペット及び水生動物用品展	11月 4 日～11月 7 日
	2015 年中国国際窓及びカーテンウォール博覧会	11月11日～11月14日
	中国ベーカリー展覧会	11月13日～11月15日
上海世博展覧館	2015 上海国際ファッション糸展覧会（秋冬）	9 月 1 日～ 9 月 3 日
	第 21 回中国国際複合材料展覧会	9 月 2 日～ 9 月 4 日
	2015 年上海真珠宝石アクセサリ及び収蔵芸術品展覧会	9 月 3 日～ 9 月 6 日
	2015 年第二十一回中国国際家具生産設備及び原材料副資材展覧会	9 月 9 日～ 9 月12日
	2015（第十五回）中国国際化工展覧会	9 月16日～ 9 月18日
	中国国際接着剤及び密封剤展覧会	
	2015 中国国際金属成型展覧会	9 月16日～ 9 月19日
	中国国際医療設備設計及び技術展	9 月22日～ 9 月24日
	第十四回中国（上海）国際調達大会	
	第三回上海アニメ、ゲーム創作交流展	10月 3 日～10月 5 日
	2015 上海国際真珠宝石展覧会及びゴールドジュエリークリエイティブ産業博覧会	10月 8 日～10月11日
	2015 上海国際自動車カスタム改装博覧会	10月 9 日～10月11日
	2015 中国国際加熱及び熱動力技術展覧会	10月14日～10月16日
	上海国際電力設備及び技術展覧会	
	第十九回中国国際口腔器材展覧会及び学術セミナー	10月21日～10月24日
	2015 中国国際水処理化学品、水溶性高分子、製紙化学品、工業表面活性剤技術及び応用展覧会	10月28日～10月29日
	2015 中国国際教育展	10月31日～11月 1 日
	2015 第十回中国（上海）国際肉類工業展覧会	11月 5 日～11月 7 日
	2015 中国国際ファインケミカル及びカスタム化学品展覧会	11月12日～11月13日
	中国上海国際児童ブックフェア	11月13日～11月15日

香港・マカオ

Hong Kong Convention & Exhibition Centre	ウォッチズ&ワンダー 2015	9 月30日～10月 3 日
	ファインアートアジア 2015	10月 4 日～10月 7 日
	ファッションアクセス　2015 年 10 月	10月 7 日～10月 9 日
	カシミアワールド 2015	
	HKTDC 香港エレトロニクスフェア 2015 －秋 (国際コンポーネント・アッセンブリ・エレクトニクス製造見本市)	10月13日～10月16日
	メガ　ショー　パート 1	10月20日～10月23日
	メガ　ショー　パート 2	10月27日～10月29日
	HKTDC 香港国際ライトニングフェアー 秋	10月27日～10月30日
	HKTDC 香港オプティカルフェア	11月 4 日～11月 6 日
	HKTDC 香港国際ワイン＆スピリッツフェア	11月 5 日～11月 7 日
	香港ウェディングエキスポ 2015	11月 6 日～11月 8 日
	香港ウェディングパンケットエキスポ 2015	
	コスモプロフ　アジア 2015（美容関連エキスポ）	11月11日～11月13日
	HK 2015 －第 31 回国際切手展示会	11月20日～11月23日
	香港国際ジュエリーマニュファクチャラーズショー（宝飾品製造ショー）	11月26日～11月29日
	HKTDC ワールド SME エキスポ（中小企業展）	12月 3 日～12月 5 日
	HKTDC Inno デザインテクノロジーエキスポ	
	アグリプロエキスポ（アジア農産物品展）	
	シネマアジアエキシビジョン 2015	12月 8 日～12月10日
	ラーニング＆ティーチングエキスポ 2015	12月10日～12月12日
	第 81 回クリスマスウェディング＆パンケットエキスポ（香港ウェディングフェア）	12月11日～12月13日
	ダイビング＆リゾートトラベルエキスポ	
	Ink アジア 2015（芸術フェア）	12月18日～12月20日
	第 13 回香港メガショーケース	12月24日～12月27日
	香港カーショー（ニューエディション）2015（国際車博覧会併設）	
	香港 Homex2015	
	8 回 e －エキスポ（エレクトロニクス関連）	
	第 13 回香港フードフェスティバル	12月24日～12月28日
AsiaWorld-Expo	グローバルソース　エレクトロニクスショー	10月11日～10月14日
	グローバルソース　エレクトロニクスショー　モバイルエレクトロニクス	10月18日～10月21日
	グローバルソース　ギフト＆ホーム（景品など含む）	
	グローバルソース　ファッションアクセサリー＆フットウェアショー	10月27日～10月30日
	グローバルソース　アパレル＆ファブリックショー	
	グローバルソース　アンダーウェア＆スイミングウェアショー	
	国際トレードフェア（環境保護）	10月28日～10月31日
	HKTDC 香港国際建築＆装飾資材＆ハードウェアフェア	
	中国国際ニューエネルギービークルショー	11月25日～11月27日

場　　所	展　覧　会　名	期　　間
Sands Expo & Convention Centre	ITB Asia 2015	10月21日～10月23日
	シンガポール宝飾＆宝石フェアー 2015	10月22日～10月25日
	2015 EMBAC 年次会議	10月25日～10月28日
	シンガポール国際エナジーウィーク 2015	10月26日～10月30日
	アジアクリーンエナジーサミット（ACES）	10月27日～10月28日
	Gastech Singapore 2015	10月27日～10月30日
	Asian Downstream Week 2015	10月28日～10月29日
	フランチャイズ&リースアジア（FLAsia）	10月29日～10月31日

マレーシア

KL Convention Centre	フード&ホテルマレーシア 2015	9月29日～10月2日
	国際パームオイル会議（PIPOC）2015	10月6日～10月8日
	教育 UK 展示会 2015	10月10日～10月11日
	Asia Petroleum Geoscience Conference & Exhibition (APGCE 2015)	10月12日～10月13日
	ビューティーエキスポ 2015 （マレーシア国際ビューティーショー）	10月16日～10月19日
	AES Expo 2015 (アジアエステティック&スキンケアー展示会)	
	Homedec 2015 - Part 1（ホームデコー&デザイン展示会）	10月22日～10月25日
	MIA 国際アカウンタント会議 2015	10月26日～10月27日
	Homedec 2015 - Part 2（ホームデコー&デザイン展示会）	10月29日～11月1日
	世界イスラム経済会議（WIFE）2015	11月3日～11月5日
	第 25 回マレーシア国際宝飾フェスティバル 2015（秋エディッション）	11月6日～11月9日
	Axismatics Professional Institute FBDO Convention	11月7日
	スタープロパティーフェアー	11月27日～11月29日
	HRDF Conference & Exhibition 2015	12月8日～12月9日
	ASEAN Federation of Endocrine Society（AFES）2015	12月10日～12月13日
	Facon Education Fair 2015（December）	12月19日～12月20日
	マレーシア家具フェアー 2015(MF3 2015 - 12 月シリーズ)	12月25日～12月28日
PUTRA WORLD TRADE CENTRE	LABSIA Exhibition	10月6日～10月8日
	Build Tech 2015	10月7日～10月10日
	アジアマリン&オフショアエキスポ 2015（AMOX）	10月21日～10月23日
	第 12 回国際健康フェアー 2015	12月11日～12月13日
	パーフェクトリビング 2015	11月12日～11月15日
	KL Yes Fest 2015	12月18日～12月20日

インドネシア

Jakarta International Expo	Allpack 2015	9月30日～10月3日
	インドネシア マリン エキスポ 2015 &インドネシア サプライチェーン ロジスティックエキスポ 2015	10月7日～10月9日
	Allprint, LED & Signage Expo 2015	10月7日～10月10日
	ILDEX 2015	10月8日～10月10日
	インドネシア国際シーフード＆ミートエキスポ 2015, Farmtech	10月15日～10月17日
	GRC Pesta Semarak Point 2015	10月17日
	トレードエキスポ インドネシア 2015	10月21日～10月25日
	コンクリートショー東南アジア 2015	10月28日～10月30日
	HOTELEX 2015	
	Broadcast, Internet of Things and Optics	10月29日～11月1日
	Textech & Dyechem	11月5日～11月7日
	PALENTS（Pro, Audio, Lighting, Entertainment & Technology Show）2015	11月5日～11月8日
	Misa Syukur	11月7日
	SIAL Interfood 2015	11月11日～11月14日
	プラスティック&ゴム インドネシア 2015	11月18日～11月21日
	Glasstech Asia 2015	11月19日～11月21日
	HAVCR-PS	11月25日～11月27日
	製造&マシーンツール インドネシアシリーズ 2015	12月2日～12月5日
Jakarta Convention Center		

インド

Bombay Exhibition Centre	特になし	
HICC Novotel Complex	歯周学会議	10月30日～11月1日
Pragati Maidan, New Delhi	電機システム国際商談会	9月9日～9月11日
	電子決済展示会	9月22日～9月24日
	デリー宝石フェア	9月26日～9月28日
	美、健康フェア	9月27日～9月30日
	Fire インド展示会	10月5日～10月7日
	第 11 回　鉄道備品展示会 2015	10月14日～10月16日
	インド　フランチャイズフェア 2015	10月18日～10月19日
	紙製品フェア 2015	11月1日～11月4日

フィリピン

World Trade Center Metro Manila	2015　フィリピン国際建築設備、建築資材、インテリア＆エクステリアプロダクツ　エキシビジョン	10月8日～10月11日
	フィリピン都市インフラ国際会議＆展示会　2015	11月23日～11月25日
	世界バザーフェスティバルエキシビジョン（家庭用品、家電、住宅用品）	12月4日～12月20日
SMX Convention Center Manila	2015 フィリピン国際建設設備、建材、インテリア＆エクテリア　エキシビジョン	10月8日～10月11日
	HVACR　ヒーバック＆アンドフィリピンエキシビジョン－暖房、換気、冷却（空気調節）と冷凍製品とテクノロジー	
	マニラ　FAME エキシビジョン－住宅装飾、ギフト＆ファッションアクセサリー	10月15日～10月18日
	第 22 回国際機械&テクノロジーエキシビジョン	11月5日～11月7日

場　　所	展　覧　会　名	期　　間
Taipei World Trade Center Hall 3	台北国際トラベルフェア 2015	11月6日～11月9日
	台北ペットショー&ペット関連商品ショー	11月13日～11月16日
	2015 台北国際プラント工場機器＆設備ショー	11月19日～11月22日
	ネイルビューティエキスポ台北	12月11日～12月14日
Taipei World Trade Center Nangang Exhibition Hall	E－コマース　エキスポアジア	10月6日～10月9日
	第 41 回台北国際エレクトロニクスショー	
	2015　台湾国際グリーン産業ショー	10月14日～10月16日
	台湾国際太陽光発電エキシビジョン	
	レーザー台湾 2015	
	台北革新的テキスタイルアプリケーションショー 2015	10月19日～10月21日
	台湾プリント回路協会ショー 2015	10月21日～10月23日
	2015 台湾国際ツーリズムスーベニアエキシビジョン	11月13日～11月16日
	第 25 回台湾国際フードチェーン&フランチャイズフェア	
	台湾国際ティー、コーヒー&ワインエキスポ 2015	
	第 27 回台北国際建築建材及び産品展エキスポ	12月10日～12月13日
	台北国際オートショー	12月26日～1月3日

バンコク

バンコク国際貿易展示センター（Bangkok International Trade & Exhibition Centre）	食品、ホテルタイランド（FHT）2015	9月2日～9月5日
	ASEAN セラミック 2015	9月9日～9月11日
	国際ワイヤー、ケーブル、チューブ商談会	9月16日～9月18日
	家庭用品展示会 2015	10月2日～10月11日
	BIG+BIH2015（Gifts and lifestyle products）	10月19日～10月23日
	世界砂糖、オイル展示会 2015	10月27日～10月28日
	化粧品フェア 2015	11月3日～11月5日
	バス & トラック 2015	11月5日～11月7日
	メタレックス 2015	11月18日～11月21日
	写真フェア 2015	11月26日～11月29日
Queen Sirikit National Convention Centre	タイ旅行フェア	9月3日～9月6日
	タイ　モバイル展示会	10月1日～10月4日
	住宅、マンションフェア 2015	10月8日～10月11日
	旅行メディアフェア 2015	10月15日～10月17日
	第 20 回　バンコク書籍フェア 2015	10月21日～11月1日
	タイ子供用品フェア 2015	11月12日～11月15日
	アジア技術貿易ショー	11月18日～11月20日
	バンコク家具フェア	11月28日～12月6日
Impact Arena Exhibition & Convention Center	The 56th バンコク宝石フェア 2015	9月10日～9月14日
	タイ農業生産品、安全食材展示会	9月17日～9月18日
	タイ国際 TRUCK SHOW 2015（TIT 2015）	
	フェスティバル（家具、結婚、旅行、宝石、食品、電気等）	10月10日～10月18日
	キッズフェア	10月22日～10月25日
	アジア　デジタルサイン展示会 2015	11月12日～11月15日
	世界スポーツ展示会 2015	11月13日～11月22日
	東南アジア　太陽光発電フェア 2015	11月24日～11月25日

ホーチミン・ハノイ

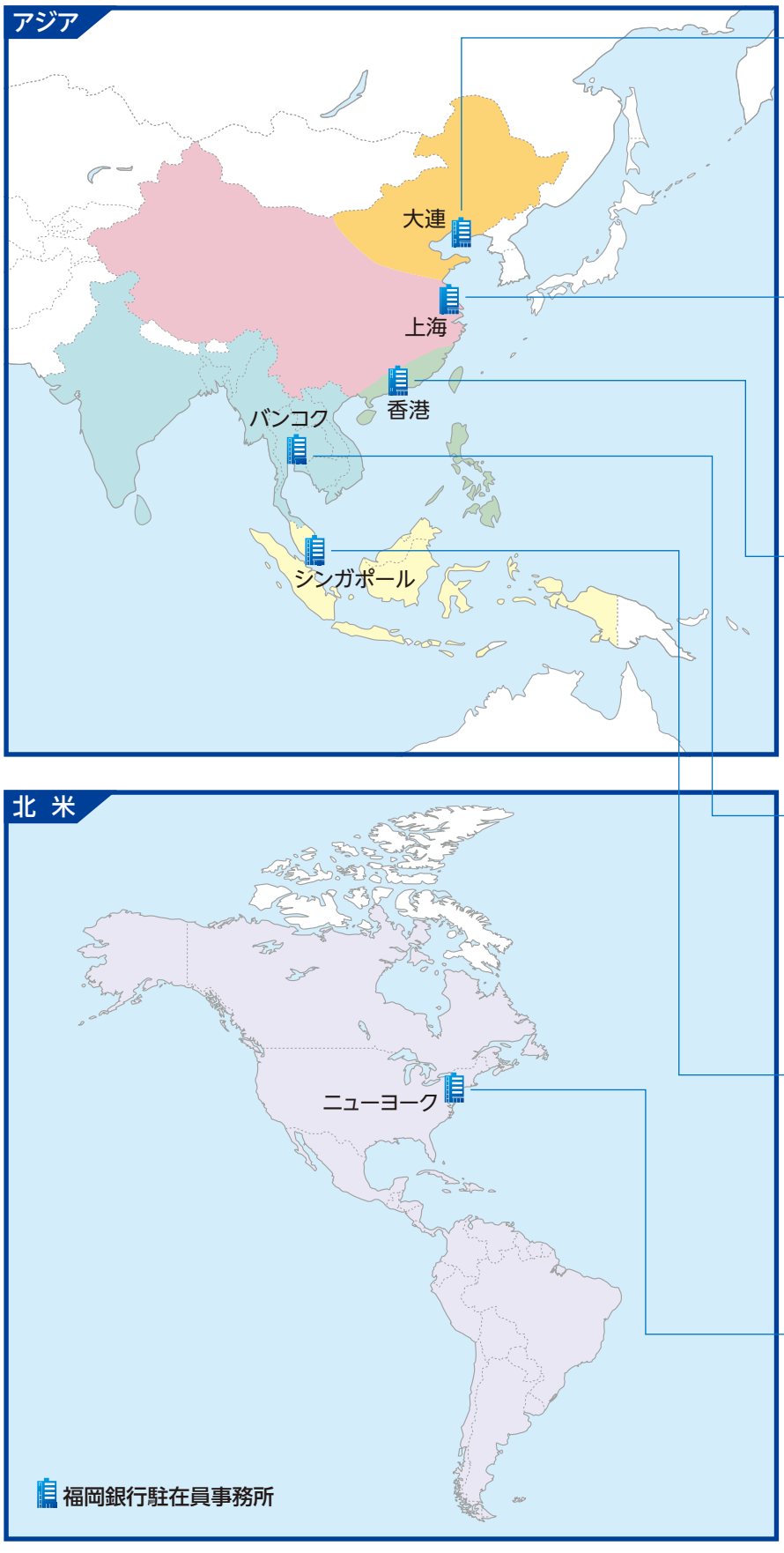
Ho Chi Minh Tan Binh Exhibition & Convention Centre	ベトナム食品、包装フェア	9月9日～9月12日
	ベトナム農場展示会 2015	10月1日～10月5日
	ベトナム衣料品フェア 2015	10月21日～10月24日
Saigon Exhibition & Convention Center	自動化工業フェア　ベトナム	9月14日～9月16日
	メタレックスベトナム 2015	10月8日～10月10日
	ベトナム　木材、家具、ガラスフェア	10月14日～10月17日
	PETROVIETNAM 展示会 2015	10月21日～10月23日
	ワイヤー＆　ケーブルフェア 2015	10月26日～10月28日
	第 11 回　ベトナムモーターショー	10月28日～11月1日
	ベトナム国際小売、フランチャイズ展示会 2015	11月5日～11月7日
Hanoi International Center for Exhibition	Nepcon ベトナム（電気製造サービス）	9月17日～9月19日
	ゴム、タイヤ　ベトナムフェア	9月21日
	メタレックスベトナム 2015	10月21日～10月21日
	ベトナム衣料機械展示会	10月25日～10月27日
Vietnam Exhibition & Fair Centre, Hanoi	ベトナム国際工業フェア	10月20日～10月23日

シンガポール

singapore expo	グレーシャスリビング（8：00AM-10：00PM）	10月3日～10月11日
	BuildTech Asia 2015（10：00AM-6：00PM）	10月13日～10月15日
	GASTECH Conference & Exhibition（10：00AM-6：00PM）	10月27日～10月30日
	ウィンタータイムセール（10：00AM-10：00PM）	11月6日～11月10日
	The Cars @ Expo 2015	11月7日～11月8日
	MPH ブックセール（9：00AM-9：00PM）	11月20日～11月22日
	SITEX 2015（11：00AM-9：00PM）	11月26日～11月29日
	Timberland Expo Sales 2015（11：00AM-8：00PM）	
	ハラルインターナショナル（10：00AM-10：00PM）	12月3日～12月6日
	Asia Stone Expo 2015	12月8日～12月12日
Suntec Singapore	LTE Aisa 2015	10月6日～10月7日
	GovernmentWare 2015	10月6日～10月8日
	JEC Composites Asia	10月20日～10月22日
	おいしいジャパン	10月22日～10月24日
	Cloud Expo Asia & Data Centre World 2015	10月28日～10月29日
	ビジュアルアジアエキスポ 2015	11月5日～11月7日
	国際建築フェスティバル	
	アニメフェスティバルアジア 2015（AFA 15）"Japan Pop Culture Now!"	11月13日～11月15日
	3rd SG-Duke 2015	
	心　精神　体　フェスティバル	11月20日～11月22日
	シンガポールアートフェアー（ME.NA. SA.ART）	11月26日～11月29日
	3rd Asia-Pacific CAD/CAM & Digital Dentistry International Conference	12月3日～12月5日
	BookFest @ Singapore 2015	12月4日～12月13日
	ESMO Asia 2015	12月18日～12月21日

海外拠点紹介

〈海外駐在員事務所の位置と担当範囲〉



福岡銀行大連駐在員事務所
(The Bank of Fukuoka,Ltd. Dalian Representative Office)

[所在地]
中華人民共和国大連市人民路60号
大連富麗華大酒店622号室
[電話番号]
(国番号 86)411-8282-3643
[所長]
小田 周平

福岡銀行上海駐在員事務所
(The Bank of Fukuoka,Ltd. Shanghai Representative Office)

[所在地]
中華人民共和国上海市延安西路2201号
上海国際貿易中心2010号室
[電話番号]
(国番号 86)21-6219-4570
[所長]
平田 治郎

福岡銀行香港駐在員事務所
(The Bank of Fukuoka,Ltd. Hong Kong Representative Office)

[所在地]
Room 404, 4/F, Far East Finance Centre,
16 Harcourt Road, Hong Kong
[電話番号]
(国番号 852)2524-2169
[所長]
石本 恒義

福岡銀行バンコク駐在員事務所
(The Bank of Fukuoka,Ltd. Bangkok Representative Office)

[所在地]
16th Floor Unit 1606, Park Ventures Ecoplex,
57 Wireless Road, Lumpini, Pathumwan,
Bangkok 10330, Thailand
[電話番号]
(国番号 66)2-256-0695
[所長]
佐々木 隆夫

福岡銀行シンガポール駐在員事務所
(The Bank of Fukuoka,Ltd. Singapore Representative Office)

[所在地]
One George Street #17-05
Singapore 049145
[電話番号]
(国番号 65)6438-4913
[所長]
吉田 圭一郎

福岡銀行ニューヨーク駐在員事務所
(The Bank of Fukuoka,Ltd. New York Representative Office)

[所在地]
One Rockefeller Plaza, Suite 1201,
New York, NY 10020-2003
[電話番号]
(国番号 1)212-247-2966
[所長]
上野 仁敬

DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「らっきょうの収穫量」と「“道の駅”登録数」です。

らっきょうの収穫量　検索

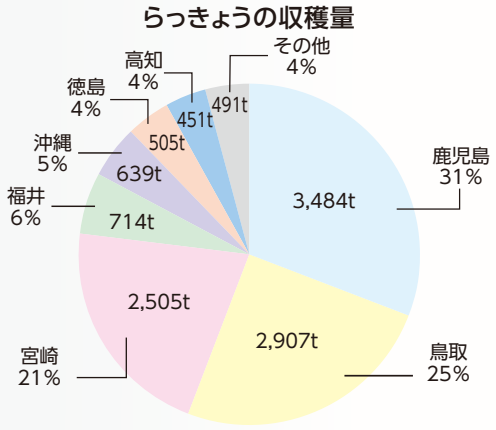
「道の駅」登録数　検索

らっきょうの収穫量

カレーライスの付け合わせとしてお馴染みのらっきょうの国内収穫量を都道府県別に見ると、鹿児島県が全国1位となっています。らっきょうの栽培には砂地や火山灰土壌など、水はけが良くやせた土地が適していることから、適地に恵まれた鹿児島でのらっきょうの栽培が盛んになっており、なかでも日本三大砂丘の一つ、吹上浜（ふきあげはま）（鹿児島）の砂地を利用して栽培された砂丘らっきょうは全国的に有名で、その特長は色白でひきしまった実とシャキシャキした食感です。

らっきょうは「畑の薬」とも呼ばれ、漢方薬にも使われるほど多くの効能をもっており、疲労回復に効果を発揮する他、風邪や生活習慣病、そしてがんの予防にも効果が期待できます。

栄養価の高いらっきょうは厳しい残暑にも負けない健康な身体を維持するのに役立ってくれそうです。



（出所：農林水産省「平成24年地域特産野菜生産状況調査」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成）

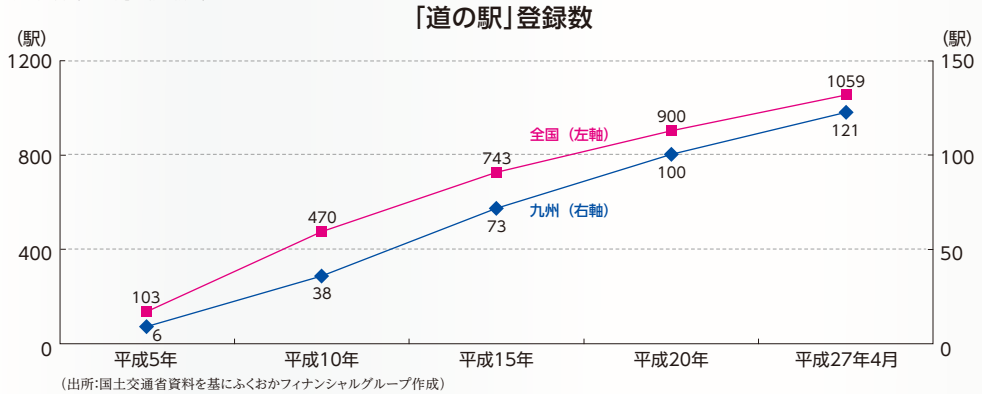
「道の駅」登録数

「道の駅」登録数を見てみると、平成27年4月現在、全国に1,059駅、九州に121駅あり、平成5年に「道の駅」の登録が開始して以来、全国、九州ともに増加を続けています。これは、人が集まる「道の駅」を活用して地域の活性化を図ろうと、多くの自治体が積極的に「道の駅」の整備を行っていることが一因と考えられます。

その「道の駅」の中で注目を集めているのが、福岡県宗像市にある「道の駅むなかた」です。「道の駅むなかた」には平成20年の開設以来、玄界灘で朝とれた新鮮な魚介類を目当てに観光客だけでなく地元の人も押しかけており、売上、来場者ともに右肩上がりで増え続け、平成26年には年間売上約18億5千万円、来場者170万人と九州地区No.1※ の売上と集客を誇っています。

その地域の特産物等を活かして人を呼び、また地域に仕事を生み出す場ともなっている「道の駅」は、地方に活力を取り戻す取り組みとして脚光をあびています。

（※九州・沖縄「道の駅」連絡会調べ）



（出所：国土交通省資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成）

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかに回復している

福岡県の景気は、緩やかに回復しています。

個人消費は、主力の飲食料品が堅調に推移する等、底堅く推移しています。住宅投資は、分譲マンションの着工が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

生産は、四輪自動車が増産となる等、持ち直しの動きが続いています。

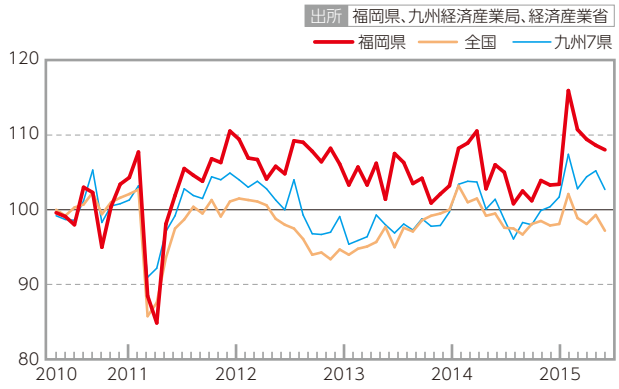
（松永 圭史）

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

5月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は108.0と前月比0.6%低下しました。

主要業種では、半導体製造装置の生産が減少したはん用・生産用機械が低下したものの、四輪自動車が増産となった輸送機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

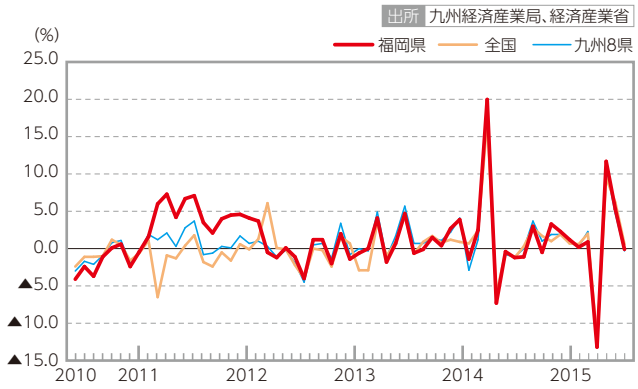


2.個人消費 | 底堅く推移している

6月の大型小売店販売額は、前年同月比0.1%減の554億円となりました。

天候不順の影響で衣料品が振るわなかったものの、主力の飲食料品や、化粧品や宝飾品など高額品が堅調に推移する等、底堅く推移しています。

■福岡県の大型小売店販売額（前年比）

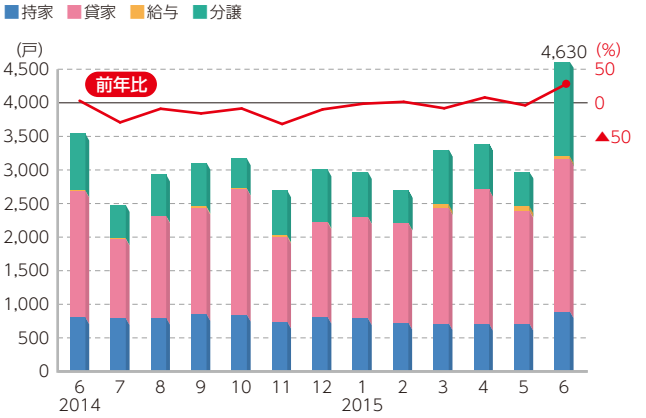


3.住宅建設 ｜ 好調に推移している

6月の新設住宅着工戸数は、4,630戸と前年同月比28.7%増加しました。

「分譲（マンション）」が前年同月比約2.2倍となった他、「持家」「貸家」でも前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

■福岡県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

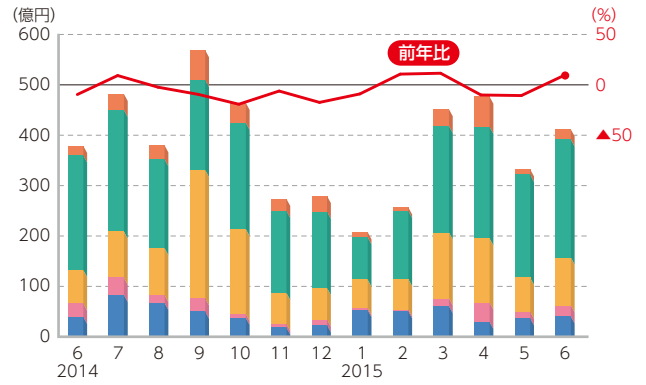


4.公共工事 ｜ 3ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比8.1%減の696件、金額が同8.7%増の419億円となりました。

発注者別では、ダム建設工事の大型案件があった「県」や、スポーツ施設新築工事の発注があった「市町村」が前年を上回り、全体では3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

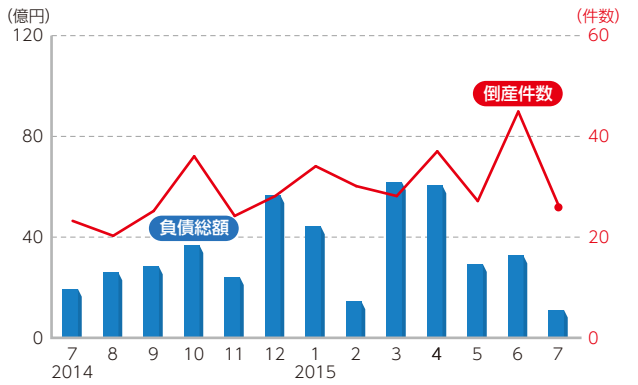


5.企業倒産 ｜ 負債総額は前年を下回る

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比13.0%増の26件、負債総額は同42.8%減の約11億円となりました。

サービス業で約2億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 緩やかに回復している

熊本県の景気は、緩やかに回復しています。

個人消費は、飲食料品が堅調に推移する等、底堅く推移しています。住宅投資は、「持家」「貸家」が前年を大きく上回った結果、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回っています。

生産は、集積回路や医薬品が増産となる等、持ち直しの動きが続いています。

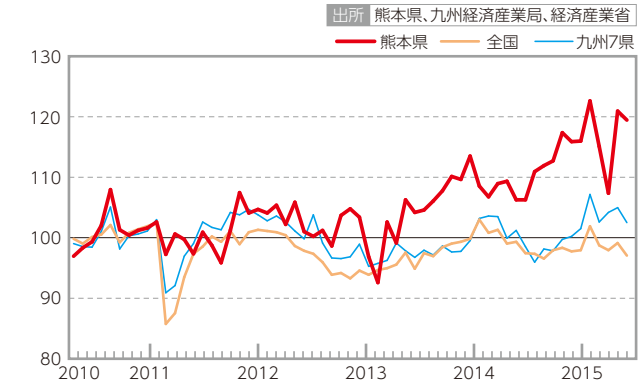
（松永 圭史）

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

5月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は119.8と前月比1.2%低下しました。

主要業種では、集積回路の生産が増加した電子部品・デバイスや、医薬品が増産となった化学が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

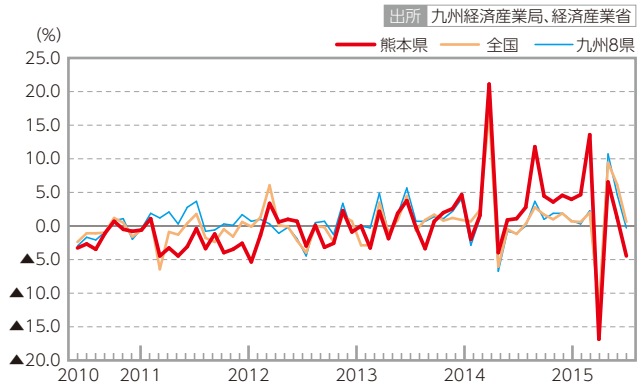


2.個人消費 | 底堅く推移している

6月の大型小売店販売額は、前年同月比4.5%減の128億円となりました。

天候不順による夏物衣料の不振に加え、今年2月の百貨店閉店の影響もあり前年を下回りましたが、主力の飲食料品が堅調に推移する等、個人消費は底堅く推移しています。

■熊本県の大型小売店販売額（前年比）



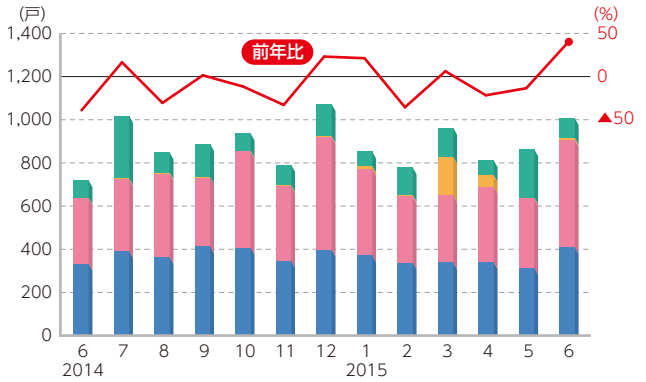
Kumamoto

3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の新設住宅着工戸数は、1,015戸と前年同月比40.0%増加しました。

「持家」「貸家」が前年を大きく上回った結果、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回っています。

■熊本県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

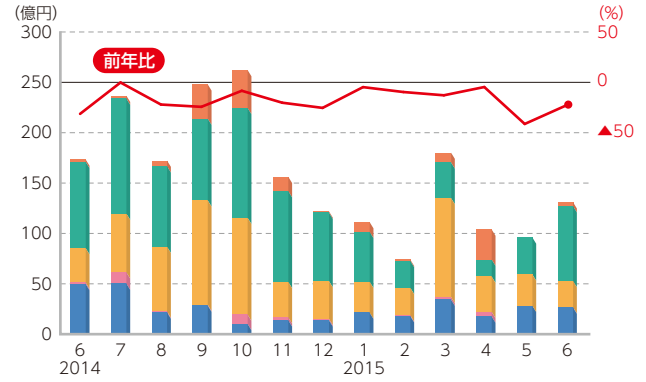


4.公共工事 | 13ヵ月連続で前年を下回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比13.3%減の417件、金額が同24.5%減の132億円となりました。

発注者別では、「その他公共的団体」以外は全て前年を下回り、全体でも13ヵ月連続で前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

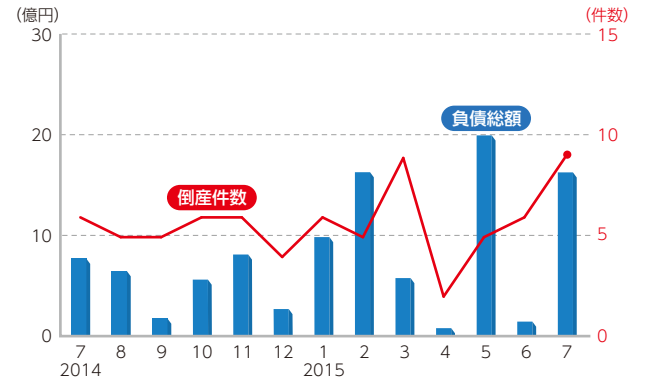


5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比50.0%増の9件、負債総額が同約2倍の約16億円となりました。

旅館業で約8億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■熊本県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

長崎県の景気は、持ち直しの動きが続いています。

個人消費は、化粧品や宝飾品など高額品が堅調に推移した他、主力の飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅投資は、「持家」「貸家」が前年を大きく上回った結果、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回っています。

生産は、ボイラーが増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、持ち直しの動きが見られます。

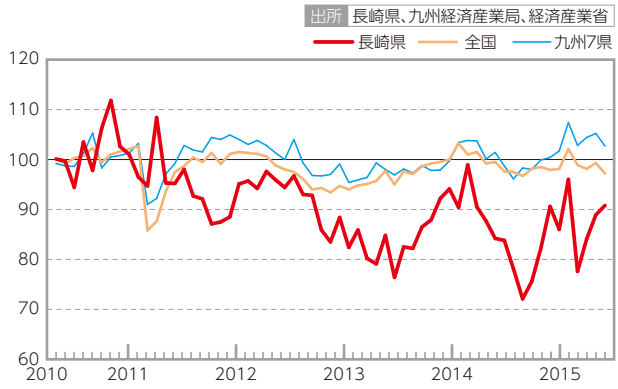
（松永 圭史）

1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

5月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は90.8と前月比2.1%上昇しました。

主要業種では、ボイラーの生産が増加したはん用・生産用機械や、修繕船が増産となった輸送機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

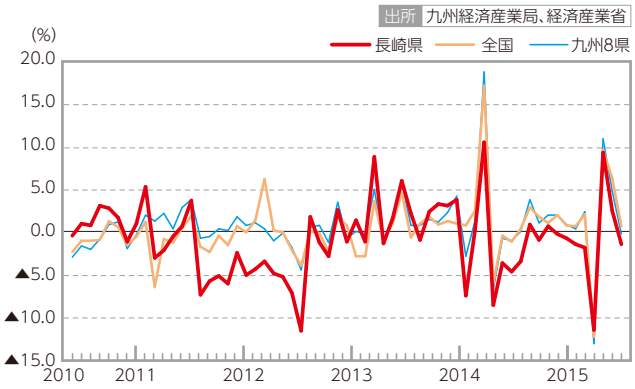


2.個人消費 | 底堅く推移している

6月の大型小売店販売額は、前年同月比1.5%減の90億円となりました。

気温の低い日が続き夏物衣料が振るわなかったものの、化粧品や宝飾品など高額品が堅調に推移した他、主力の飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■長崎県の大型小売店販売額（前年比）



Nagasaki

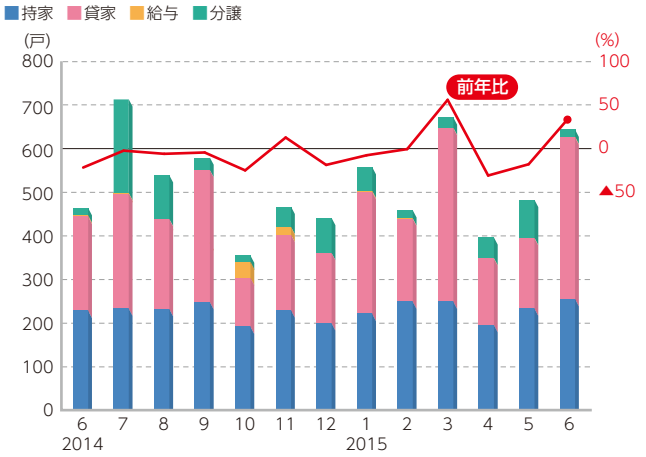
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の新設住宅着工戸数は、641戸と前年同月比37.0%増加しました。

「持家」「貸家」が前年を大きく上回った結果、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回っています。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



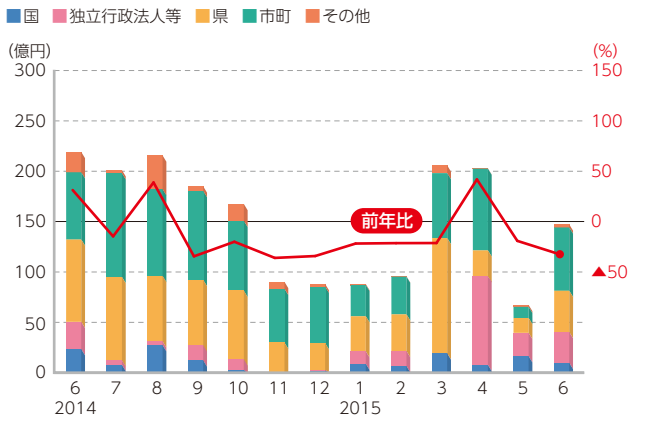
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比22.6%減の419件、金額が同32.7%減の149億円となりました。

発注者別では、大学施設関連の大型案件があった「独立行政法人等」以外は大型案件に乏しく、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



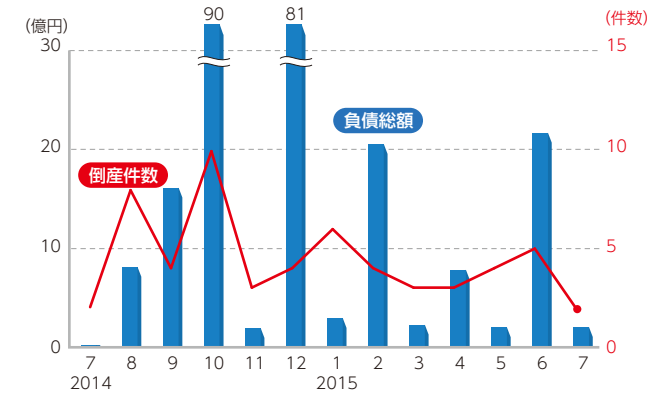
5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同数の2件、負債総額が約2億円となりました。

負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制されています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

佐賀県の景気は、持ち直しの動きが続いています。

個人消費は、飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅投資は、2ヵ月連続で前年を上回っています。

生産は、金属工作機械や工船が増産となる等、持ち直しの動きが見られます。

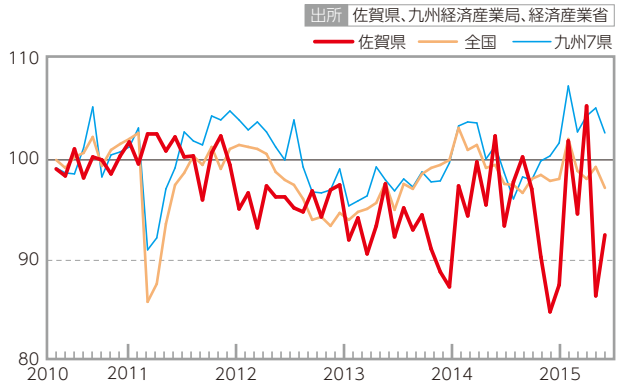
（松永 圭史）

1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

5月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は92.5と前月比7.1%上昇しました。

主要業種では、医薬品が減産となった化学が低下したものの、金属工作機械の生産が増加した一般機械や工船が増産となった輸送機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

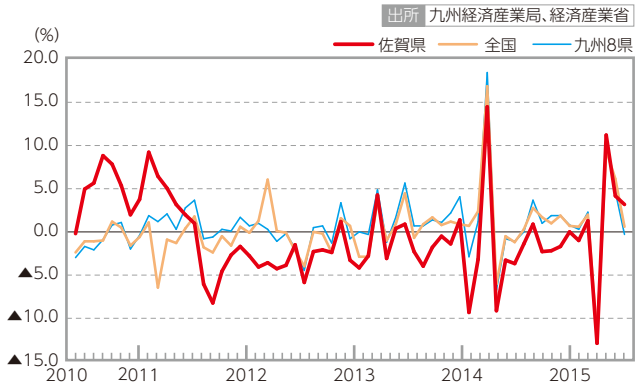


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

6月の大型小売店販売額は、前年同月比3.2%増の53億円となりました。

天候不順の影響で夏物衣料が振るわなかったものの、主力の飲食料品が前年を大きく上回る等、持ち直しの動きが続いています。

■佐賀県の大型小売店販売額（前年比）

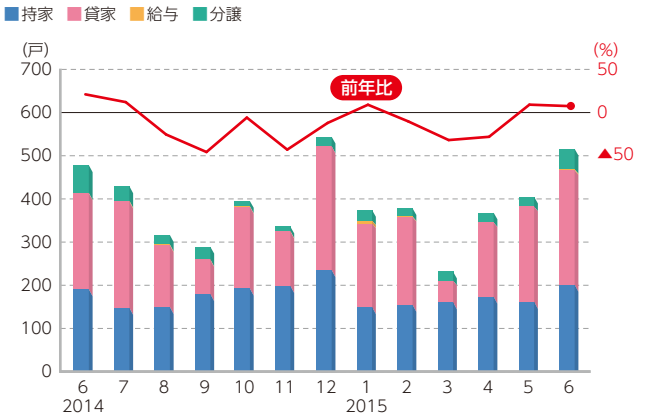


3.住宅建設 ｜ 2ヵ月連続で前年を上回る

6月の新設住宅着工戸数は、520戸と前年同月比7.9%増加しました。

「分譲（マンション）」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「分譲（戸建）」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

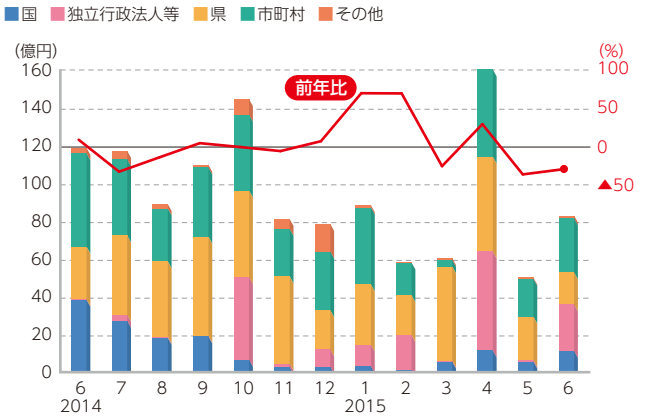


4.公共工事 ｜ 2ヵ月連続で前年を下回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比29.5%減の191件、金額が同30.2%減の84億円となりました。

発注者別では、九州新幹線関連や大学改修関連で大型案件があった「独立行政法人等」以外は大型案件に乏しく、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

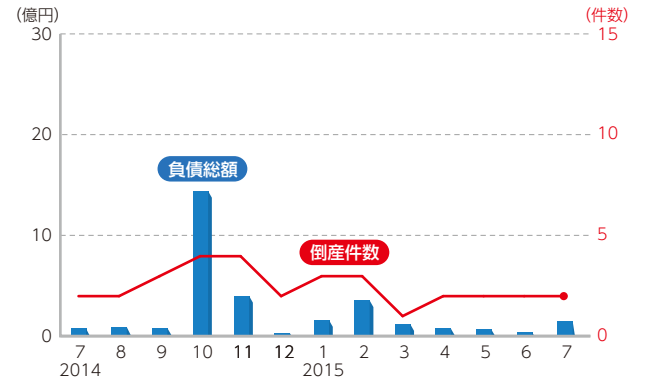


5.企業倒産 ｜ 負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同数の2件、負債総額が約2億円となりました。

負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

大分県の景気は、持ち直しの動きが続いています。

個人消費は、飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅投資は、「貸家」「分譲（マンション）」が前年を上回る等、好調に推移しています。

生産は、医療用機械器具や農薬が増産となる等、持ち直しの動きが続いています。

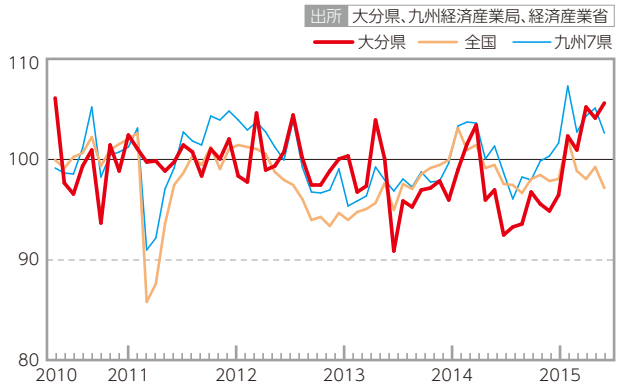
（松永 圭史）

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

5月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は105.7と前月比1.4%上昇しました。

主要業種では、医療用機械器具の生産が増加したはん用・生産用・業務用機械や、農薬が増産となった化学・石油製品工業が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

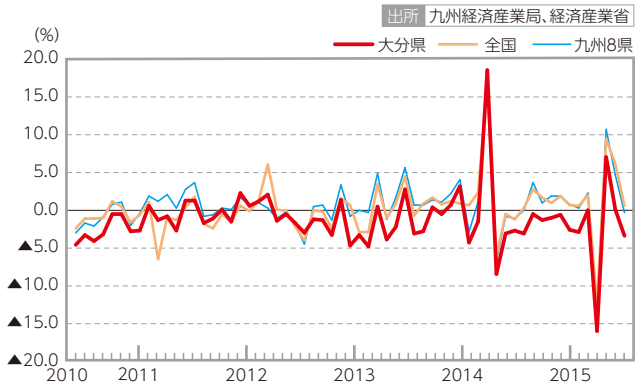


2.個人消費 | 底堅く推移している

6月の大型小売店販売額は、前年同月比3.4%減の88億円となりました。

天候不順の影響で夏物衣料が振るわなかったものの、主力の飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■大分県の大型小売店販売額（前年比）

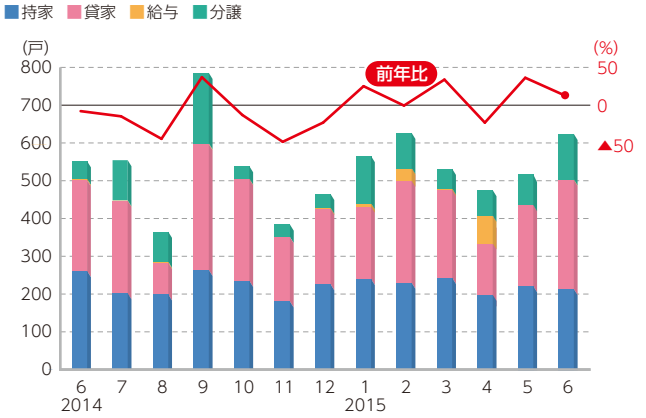


3.住宅建設 ｜ 好調に推移している

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比13.1％増の629戸となりました。

「持家」「分譲（戸建）」が前年を下回ったものの、「貸家」「分譲（マンション）」が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

■大分県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

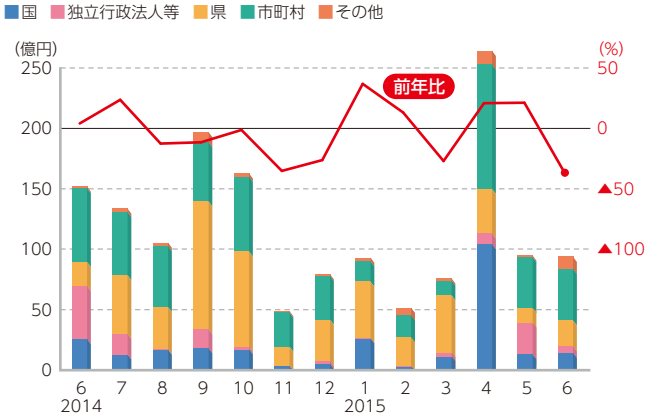


4.公共工事 ｜ 2ヵ月ぶりに前年を下回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比18.0％減の228件、金額が同38.4％減の94億円となりました。

発注者別では、防災関連施設の発注があった「その他公共的団体」以外は大型案件に乏しく、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

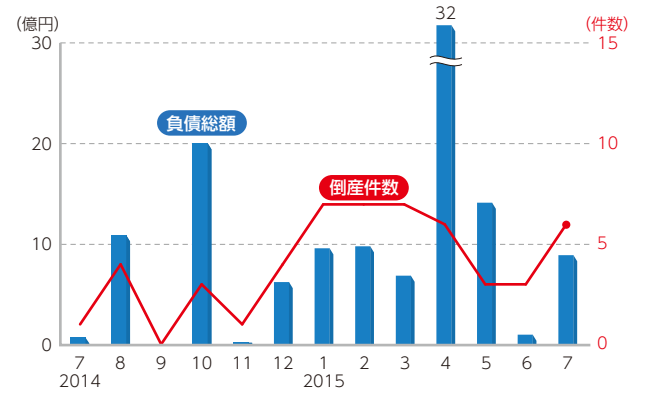


5.企業倒産 ｜ 負債総額は前年を上回る

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件、負債総額が約9億円となりました。

ホテル業で5億円の倒産が発生し、負債総額は前年を大きく上回りました。

■大分県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、持ち直しの動きが続いています。

個人消費は、飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅投資は、「持家」「貸家」「分譲」で前年を上回った結果、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

生産は、焼酎が増産となった食料品が上昇する等、持ち直しの動きが見られます。

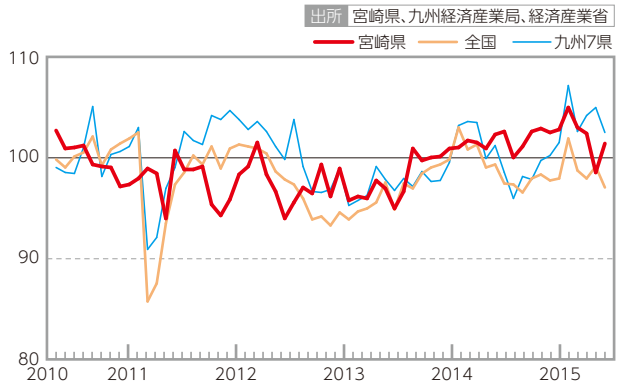
（松永 圭史）

1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

5月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は101.6と前月比2.9%上昇しました。

主要業種では、スマホ向け半導体が減産となった電子部品・デバイスが低下したものの、焼酎が増産となった食料品やステンレス原料のフェロニッケルの生産が増加した鉄鋼・金属製品が上昇する等、持ち直しの動きが見られます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

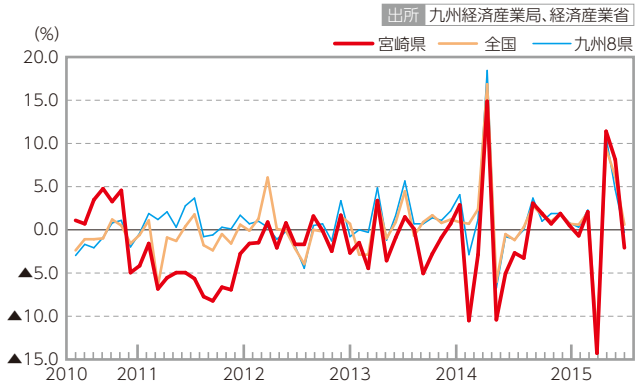


2.個人消費 | 底堅く推移している

6月の大型小売店販売額は、前年同月比2.1%減の65億円となりました。

天候不順の影響で夏物衣料が振るわなかったものの、主力の飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■宮崎県の大型小売店販売額（前年比）

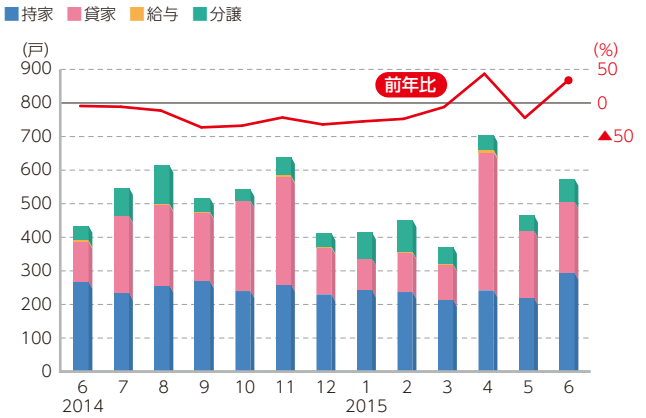


3.住宅建設 ｜ 2ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比32.2%増の579戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲」で前年を上回った結果、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

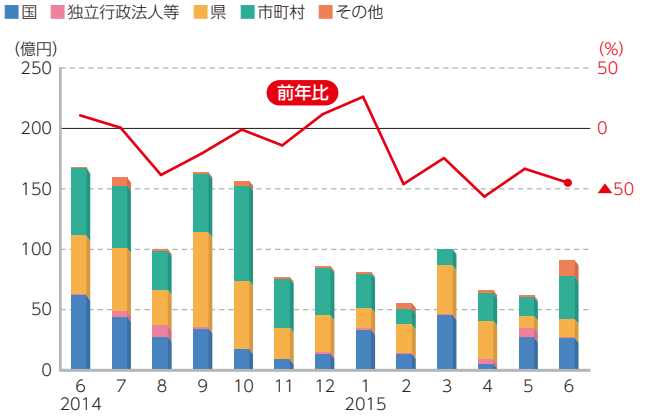


4.公共工事 ｜ 5ヵ月連続で前年を下回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比30.2%減の322件、金額が同45.9%減の91億円となりました。

発注者別では、中心市街地再開発関連の大型案件があった「その他公共的団体」以外は大型案件に乏しく、全体でも5ヵ月連続で前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

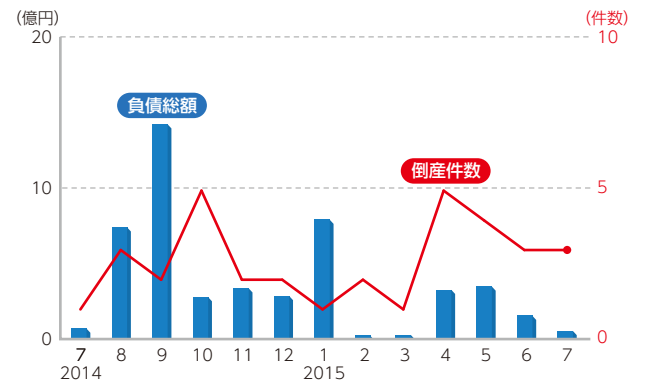


5.企業倒産 ｜ 負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が3件、負債総額が前年同月比22.9%減の約5千万円となりました。

負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 ｜ 持ち直しの動きが続いている

鹿児島県の景気は、持ち直しの動きが続いています。

個人消費は、飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅投資は、「貸家」「分譲（マンション）」が前年を上回る等、好調に推移しています。

生産は、でん粉が増産となった食料品が上昇する等、底堅く推移しています。

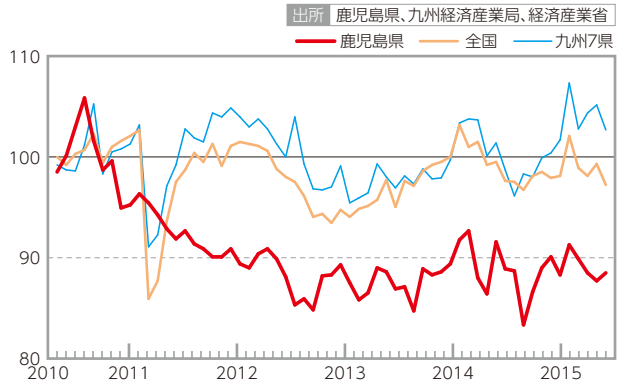
（松永 圭史）

1.生産活動 ｜ 底堅く推移している

5月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は88.4と前月比0.9%上昇しました。

主要業種では、でん粉の生産が増加した食料品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

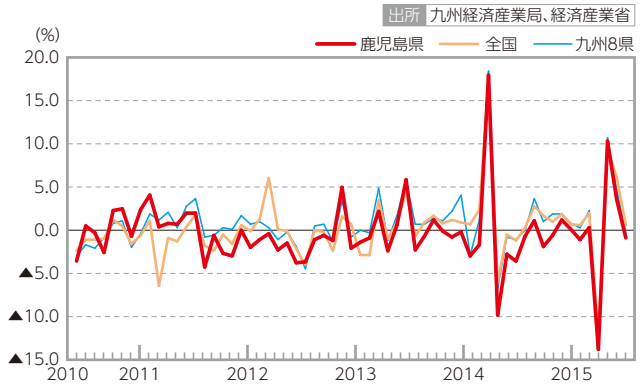


2.個人消費 ｜ 底堅く推移している

6月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9%減の120億円となりました。

天候不順の影響で夏物衣料が振るわなかったものの、主力の飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■鹿児島県の大型小売店販売額（前年比）



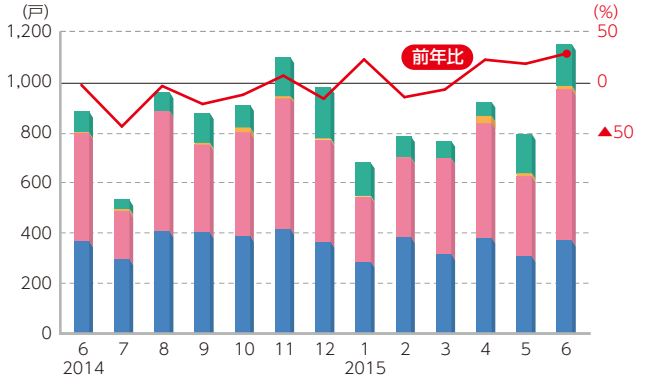
Kagoshima

3.住宅建設 ｜ 好調に推移している

6月の新設住宅着工戸数は、1,157戸と前年同月比30.3%増加しました。

「分譲(戸建)」で前年を下回ったものの、「貸家」「分譲(マンション)」で前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

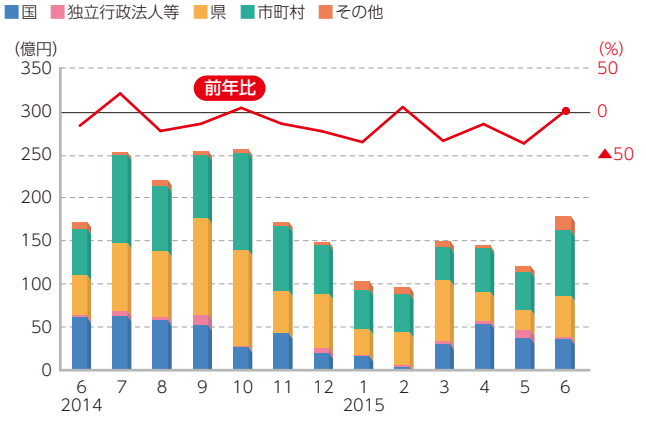


4.公共工事 ｜ 4ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比9.3%減の470件、金額が同1.1%増の175億円となりました。

発注者別では、ごみ処理施設関連工事の発注があった「その他公共的団体」や、「独立行政法人等」「市町村」で前年を上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

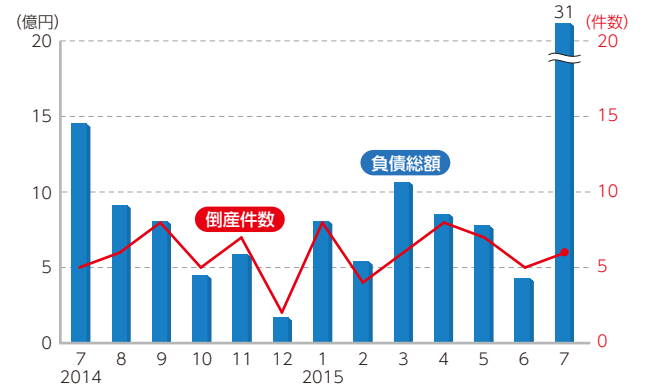


5.企業倒産 ｜ 負債総額は前年を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比20.0%増の6件、負債総額が同約2倍の約31億円となりました。

養殖業で約24億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を大きく上回りました。

■鹿児島県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



全国 経済指標

項目 / 年月	鉱工業指数(2010年=100) 生産指数 季調値	生産指数 前年比(%)	出荷指数 季調値	出荷指数 前年比(%)	在庫指数 季調値	在庫指数 前年比(%)	機械受注金額(船舶・電力を除く民需) 前月(年)比(%)	貿易 輸出金額 前年比(%)	貿易 輸入金額 前年比(%)	公共工事保証請負金額 億円	公共工事保証請負金額 前年比(%)	建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 億円	建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 前年比(%)
2011年	97.2	▲2.8	96.3	▲3.7	104.3	4.3	7.8	▲2.7	12.1	109,755	▲3.4	78,693	3.5
2012年	97.8	0.6	97.5	1.2	110.4	5.8	▲ 0.9	▲2.7	3.8	125,423	14.3	79,685	1.3
2013年	97.0	▲0.8	96.9	▲0.6	107.4	▲2.7	5.2	9.5	14.9	141,492	12.8	95,027	19.3
2014. 5	99.5	1.0	97.3	▲1.1	108.7	1.1	▲ 16.4	▲2.7	▲3.5	13,126	21.1	8,020	5.1
6	97.6	3.2	96.4	1.9	110.1	3.1	0.8	▲1.9	8.5	15,855	14.3	9,723	19.5
7	97.5	▲0.5	96.9	▲0.5	110.7	3.1	7.4	3.9	2.4	16,273	3.5	8,355	4.3
8	96.7	▲3.0	94.9	▲4.1	111.7	4.7	2.3	▲1.3	▲1.4	11,276	▲8.1	7,837	▲0.3
9	98.1	1.0	97.9	1.7	111.3	4.1	2.4	6.9	6.2	13,984	▲8.2	8,194	▲5.8
10	98.5	▲0.5	98.0	▲0.6	111.2	3.9	▲ 3.5	9.6	3.1	13,161	▲7.4	10,572	22.2
11	97.9	▲3.7	97.3	▲4.8	112.4	6.6	0.1	4.9	▲1.6	8,437	▲10.4	7,144	▲10.6
12	98.1	▲0.1	97.1	▲0.1	112.3	6.2	5.6	12.8	1.9	8,944	1.0	6,763	▲17.0
2015. 1	102.1	▲2.6	102.4	▲2.1	111.8	5.6	2.5	17.0	▲9.1	6,708	▲13.7	7,458	▲6.2
2	98.9	▲2.0	97.9	▲2.9	113.0	7.0	▲ 1.4	2.5	▲3.6	7,122	2.3	8,646	10.8
3	98.1	▲1.7	97.3	▲2.3	113.4	6.2	2.9	8.5	▲14.4	12,755	▲12.4	6,608	▲22.1
4	99.3	0.1	97.9	0.2	113.8	6.6	3.8	8.0	▲4.1	18,361	4.4	12,801	36.9
5	97.2	▲3.9	96.0	▲3.2	112.9	3.9	0.6	2.4	▲8.6	11,294	▲14.0	8,852	10.4
6	98.3	2.3	96.6	1.8	114.6	4.0	▲7.9	9.5	▲2.9	15,564	▲1.8	8,877	▲8.7
出所	経済産業省						内閣府	財務省		西日本建設業保証		国土交通省	

項目 / 年月	新設住宅着工戸数 合計 戸	合計 前年比(%)	持家 前年比(%)	貸家 前年比(%)	分譲 前年比(%)	企業物価指数(2010年=100) 指数	企業物価指数(2010年=100) 前年比(%)	消費者物価指数(2010年=100) 指数	消費者物価指数(2010年=100) 前年比(%)	大型小売店販売額 億円	大型小売店販売額 前年比(%)	乗用車 乗用車新規登録台数 台	乗用車 乗用車新規登録台数 前年比(%)
2011年	834,215	2.6	0.1	▲4.1	16.2	101.5	1.5	99.7	▲0.3	195,933	▲0.9	2,381,121	▲18.5
2012年	882,797	5.8	2.0	11.4	5.2	100.6	▲0.9	99.7	▲0.0	195,916	▲0.0	3,008,634	26.4
2013年	980,025	11.0	13.9	11.8	6.9	101.9	1.3	100.0	0.4	197,773	0.9	2,865,354	▲4.8
2014. 5	67,791	▲15.0	▲22.9	3.1	▲27.1	106.1	4.4	103.5	3.7	15,924	▲0.5	178,275	▲6.9
6	75,757	▲9.5	▲19.0	1.8	▲11.9	106.2	4.5	103.4	3.6	16,317	▲1.2	228,550	▲1.8
7	72,880	▲14.1	▲25.3	▲7.7	▲7.7	106.6	4.4	103.4	3.4	17,174	0.3	250,076	0.3
8	73,771	▲12.5	▲22.7	▲3.8	▲10.3	106.5	4.0	103.6	3.3	16,263	2.8	177,390	▲5.9
9	75,882	▲14.3	▲23.4	▲5.7	▲15.3	106.4	3.6	103.9	3.2	15,313	1.7	267,804	▲5.6
10	79,171	▲12.3	▲28.6	▲4.1	1.6	105.5	2.9	103.6	2.9	16,065	1.0	206,084	▲11.2
11	78,364	▲14.3	▲29.3	▲7.4	▲6.0	105.2	2.6	103.2	2.4	17,286	1.9	203,219	▲16.0
12	76,416	▲14.7	▲25.5	▲8.9	▲10.5	104.7	1.8	103.3	2.4	21,558	0.7	197,671	▲11.1
2015. 1	67,713	▲13.0	▲18.7	▲10.3	▲11.2	103.3	0.3	103.1	2.4	17,215	0.6	207,210	▲21.5
2	67,552	▲3.1	▲9.1	▲7.5	11.2	103.2	0.4	102.9	2.2	14,986	2.0	249,115	▲16.8
3	69,887	0.7	▲1.4	4.6	▲4.9	103.5	0.7	103.3	2.3	17,150	▲12.3	355,676	▲14.6
4	75,617	0.4	▲2.1	▲1.8	7.2	103.6	▲2.1	103.7	0.6	16,080	9.6	170,098	2.9
5	71,720	5.8	1.1	2.8	18.1	103.8	▲2.2	104.0	0.5	16,922	6.3	180,369	1.2
6	88,118	16.3	7.2	14.6	31.3	103.6	▲2.4	103.8	0.4	16,412	0.6	239,161	4.6
出所	国土交通省					日本銀行		総務省		経済産業省		日本自動車販売協会連合会	

項目 / 年月	乗用車 軽乗用車販売台数 台	軽乗用車販売台数 前年比(%)	家計消費支出(勤労者世帯) 可処分所得 円	可処分所得 前年比(%)	消費支出 円	消費支出 前年比(%)	有効求人倍率 倍	完全失業率 %	倒産件数 件	倒産件数 前年比(%)	預金残高 百億円	預金残高 前年比(%)	貸金残高 百億円	貸金残高 前年比(%)
2011年	1,138,752	▲11.4	420,538	▲2.2	308,838	▲3.0	0.65	4.5	12,734	▲4.4	59,694	3.5	41,350	1.0
2012年	1,557,681	36.8	425,005	1.1	313,874	1.6	0.80	4.4	12,124	▲4.8	61,144	2.4	42,126	1.9
2013年	1,690,171	8.5	426,132	0.3	319,170	1.7	0.93	4.0	10,855	▲10.5	63,879	4.5	43,320	2.8
2014. 5	125,717	7.9	320,940	0.8	293,050	▲4.8	1.09	3.5	834	▲20.2	64,753	2.5	43,343	2.6
6	150,205	3.2	568,874	▲3.9	295,738	▲0.3	1.10	3.7	865	▲3.6	65,086	2.7	43,555	2.7
7	140,687	▲7.5	448,429	▲1.3	311,693	0.4	1.10	3.8	882	▲14.0	64,243	2.3	43,445	2.5
8	103,576	▲15.0	383,294	▲1.4	305,836	▲2.2	1.10	3.5	727	▲11.2	64,407	2.6	43,538	2.6
9	163,388	0.9	341,855	▲2.2	303,614	▲3.7	1.10	3.6	827	0.9	65,100	2.6	44,076	2.7
10	121,646	0.1	404,682	0.9	316,154	▲0.1	1.10	3.5	800	▲16.6	64,460	2.6	43,790	2.9
11	135,933	▲0.1	352,340	▲1.1	306,230	1.7	1.12	3.5	736	▲14.6	65,443	3.5	44,159	3.1
12	161,939	19.0	773,622	2.6	357,772	▲0.2	1.14	3.4	686	▲8.5	65,833	3.1	44,704	3.2
2015. 1	136,405	▲19.4	359,029	0.2	320,674	▲1.6	1.14	3.6	721	▲16.6	65,538	3.1	44,450	3.1
2	163,627	▲14.1	406,800	2.1	291,387	▲1.1	1.15	3.5	692	▲11.5	65,899	3.6	44,603	3.4
3	230,385	▲7.4	364,614	1.7	351,974	▲8.5	1.15	3.4	859	5.5	67,375	3.5	45,195	3.3
4	93,134	▲26.9	384,710	3.1	334,301	1.3	1.17	3.3	748	▲18.2	67,162	3.5	44,721	3.3
5	98,660	▲21.5	327,875	2.2	317,317	8.3	1.19	3.3	834	0.0	67,594	4.4	44,821	3.4
6	125,348	▲16.5	581,279	2.2	293,042	▲0.9	1.19	3.4	824	▲4.7	67,609	3.9	45,015	3.4
出所	全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	総務省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間は前年比、月間は前月比。大型小売店販売額は、店舗調整前の値。なお、前年比増減率は、調査対象事業所見直し(2010年7月)に伴うギャップを調整するリンク係数で処理してあるため、実数と乖離する。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)。有効求人倍率は、年間は実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除きパートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。
預貸金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行の合計、ただし、特別国際金融取引勘定を含まない。

経済指標 福岡 Fukuoka

項目 / 年月	鉱工業生産指数(2010年=100) 総合		鉄鋼		食料品・たばこ		はん用・生産用機械		輸送機械		鉱工業出荷指数(2010年=100)		鉱工業在庫指数(2010年=100)	
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
2011年	101.7	1.7	96.8	▲3.2	98.3	▲1.7	106.1	6.1	109.7	9.7	102.8	2.8	118.0	18.0
2012年	107.2	5.4	91.0	▲6.1	101.2	3.0	100.7	▲5.0	126.7	15.5	108.6	5.6	131.3	11.3
2013年	103.9	▲3.1	89.1	▲2.0	96.5	▲4.6	100.9	0.2	119.6	▲5.6	105.1	▲3.2	141.4	7.7
2014. 5	106.0	4.3	94.4	6.9	90.8	▲8.8	117.0	4.7	119.5	13.6	108.1	2.7	139.4	6.2
6	105.0	0.2	94.1	6.9	91.6	▲4.3	125.7	32.3	112.7	▲6.7	105.7	▲0.1	145.1	10.4
7	100.8	▲6.4	92.8	8.8	88.5	▲11.5	111.1	7.6	107.9	▲14.2	101.7	▲7.3	141.5	2.9
8	102.5	▲2.9	90.4	2.1	88.9	▲9.5	120.1	15.3	105.9	▲15.6	104.6	▲2.1	140.8	0.6
9	101.2	▲2.9	93.9	6.9	89.3	▲3.8	97.0	▲7.1	105.3	▲14.0	103.2	▲2.2	140.7	▲2.6
10	103.9	2.3	91.9	3.5	89.8	▲8.9	118.7	24.1	111.2	▲2.3	105.0	3.7	136.6	▲7.1
11	103.3	0.3	95.5	5.6	91.4	0.3	115.4	9.9	107.3	▲7.3	105.3	0.8	134.4	▲10.0
12	103.4	0.2	94.8	0.2	89.6	1.2	109.4	▲7.4	114.1	▲1.4	104.4	▲0.3	133.3	▲14.1
2015. 1	115.9	5.8	97.0	8.5	94.3	2.5	112.7	▲0.9	144.7	5.5	115.8	3.9	137.4	▲2.8
2	110.7	1.6	95.7	18.5	91.1	▲0.6	109.9	8.9	130.0	▲0.2	112.5	1.5	136.2	▲1.8
3	109.4	▲1.0	93.4	10.8	88.0	▲4.1	111.9	3.0	131.6	▲4.9	109.3	▲0.8	141.4	10.1
4	108.6	5.7	91.3	3.2	90.2	10.9	128.4	3.8	122.5	10.1	108.1	6.4	149.3	10.0
5	108.0	1.7	91.2	▲4.4	91.8	0.8	114.1	▲3.8	126.4	8.2	111.9	2.6	148.6	6.6
6														
出所	福岡県調査統計課													

項目 / 年月	貿易 輸出金額	貿易 輸入金額	公共工事保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額(非居住用)		新設住宅着工戸数 合計		新設住宅着工戸数 持家	新設住宅着工戸数 貸家	新設住宅着工戸数 分譲	消費者物価指数(2010年=100) 福岡市		大型小売店販売額	
	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	0.2	13.9	3,321	▲15.7	2,560	▲0.5	34,945	12.2	▲0.7	8.6	46.1	99.8	▲0.2	689,334	4.3
2012年	2.0	6.9	3,691	11.1	2,825	10.4	36,111	3.3	▲0.3	11.4	▲5.8	99.6	▲0.1	689,812	0.1
2013年	6.6	13.6	4,742	28.5	3,855	36.4	41,335	14.5	12.9	8.5	27.6	99.6	▲0.0	698,746	1.3
2014. 5	10.2	4.5	380	46.3	126	▲56.6	3,143	▲10.9	▲26.0	26.1	▲40.6	102.2	2.9	55,183	▲0.4
6	▲4.0	4.2	385	▲10.0	320	58.3	3,598	3.2	▲11.0	28.7	▲19.9	102.3	3.1	55,437	▲1.2
7	▲2.9	1.0	490	9.7	249	▲28.8	2,520	▲30.4	▲15.8	▲22.6	▲54.1	102.6	3.1	61,984	▲1.1
8	2.9	1.7	386	▲2.4	340	9.0	2,981	▲9.2	▲14.9	15.6	▲32.7	102.9	3.2	57,250	3.0
9	2.1	6.9	579	▲9.9	288	▲44.1	3,160	▲16.5	▲19.2	3.3	▲41.9	103.3	2.8	52,202	▲0.5
10	5.2	7.0	472	▲20.1	296	▲5.5	3,225	▲8.8	▲18.1	15.5	▲43.6	102.7	2.5	57,150	3.3
11	12.2	▲16.6	278	▲6.4	389	▲23.2	2,741	▲32.9	▲31.8	▲48.1	39.8	102.6	2.7	61,050	2.3
12	12.7	6.3	284	▲18.2	256	▲39.4	3,058	▲10.2	▲26.1	▲8.7	9.7	103.1	2.9	79,588	1.2
2015. 1	25.3	0.1	211	▲9.4	353	62.7	3,019	▲1.4	▲9.1	▲7.6	31.4	102.7	3.0	60,274	0.2
2	1.2	21.1	261	11.2	339	122.4	2,738	1.5	0.0	27.6	▲37.3	102.8	3.0	51,738	0.9
3	5.5	▲4.5	459	12.1	357	30.7	3,358	▲8.5	12.2	▲15.7	▲12.4	103.3	3.4	60,716	▲13.2
4	13.3	▲0.9	485	▲10.5	406	▲25.6	3,446	8.3	▲4.1	20.7	▲7.1	103.6	1.8	55,406	11.7
5	4.3	▲6.0	338	▲11.1	293	133.5	3,016	▲4.0	▲0.1	▲3.1	▲21.2	104.1	1.9	58,099	5.3
6	12.2	6.7	419	8.7	205	▲35.9	4,630	28.7	11.3	20.7	59.5	103.9	1.6	55,370	▲0.1
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 / 年月	乗用車 乗用車新規登録台数		乗用車 軽乗用車販売台数		家計消費支出(勤労者世帯) 北九州・福岡 大都市圏 可処分所得		家計消費支出(勤労者世帯) 北九州・福岡 大都市圏 消費支出		有効求人倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	91,956	▲19.1	46,901	▲12.2	391,156	0.5	298,184	▲1.8	0.58	390	4.0	186,080	2.0	145,885	3.7
2012年	117,560	27.8	62,719	33.7	409,613	4.7	312,533	4.8	0.70	381	▲2.3	191,215	2.8	152,234	4.4
2013年	113,170	▲3.7	68,478	9.2	409,344	▲0.1	307,009	▲1.8	0.79	351	▲7.9	199,612	4.4	157,877	3.7
2014. 5	6,814	▲3.7	5,429	19.0	290,936	▲8.7	270,166	▲15.2	0.93	33	▲10.8	202,446	4.2	158,481	4.1
6	8,772	0.7	5,866	2.9	561,502	4.7	289,016	5.8	0.94	31	0.0	202,094	2.6	158,284	3.9
7	9,797	3.5	5,787	▲7.1	444,282	▲2.6	291,672	▲17.4	0.97	23	▲4.2	200,849	2.4	159,376	4.3
8	7,170	▲4.8	4,354	▲14.8	363,883	▲2.1	280,395	▲11.2	0.98	20	5.3	203,939	3.3	159,866	4.3
9	10,378	▲11.8	6,362	▲3.5	317,951	▲6.0	291,706	▲0.8	1.00	25	▲30.6	201,664	3.1	161,552	4.4
10	8,200	▲10.9	4,659	▲10.1	386,452	8.3	320,073	11.6	1.01	36	▲10.0	202,159	3.4	161,906	4.3
11	7,813	▲19.1	5,088	▲6.7	330,083	▲3.0	287,279	▲0.6	1.03	24	▲27.3	205,436	3.8	162,545	3.9
12	8,091	▲10.9	4,966	▲6.0	623,472	▲18.0	314,158	▲16.1	1.06	28	40.0	206,173	3.3	164,399	4.1
2015. 1	8,252	▲22.5	5,659	▲18.7	319,281	▲6.9	328,196	7.8	1.05	34	36.0	205,276	3.9	164,328	4.5
2	10,348	▲14.1	6,889	▲11.9	355,317	▲8.4	273,899	▲13.0	1.05	30	50.0	207,102	4.3	165,753	5.0
3	13,681	▲13.5	9,279	▲4.3	322,062	▲8.5	355,991	▲9.8	1.04	28	16.7	209,198	4.0	167,047	5.3
4	6,307	▲0.7	3,724	▲29.8	360,381	3.7	326,569	7.4	1.06	37	▲7.5	209,430	3.6	166,308	4.9
5	6,714	▲1.5	3,787	▲30.2	297,401	2.2	319,180	18.1	1.08	27	▲18.2	210,375	3.9	166,577	5.1
6	9,222	5.1	5,070	▲13.6	531,050	▲5.4	297,711	3.0	1.09	45	45.2	209,590	3.7	166,518	5.2
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

熊本 Kumamoto 経済指標

項目 / 年月	鉱工業生産指数(2010年=100) 総合		食料品		電子部品		はん用・生産用機械		輸送機械		鉱工業出荷指数(2010年=100)		鉱工業在庫指数(2010年=100)	
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
2011年	100.5	0.4	103.0	3.0	93.6	▲6.4	117.1	17.1	103.2	3.1	100.7	0.7	103.8	3.8
2012年	103.6	3.1	100.5	▲2.5	132.9	42.1	101.2	▲13.6	97.9	▲5.1	100.8	0.1	98.5	▲5.1
2013年	104.9	1.3	100.2	▲0.3	141.0	6.1	104.0	2.7	87.3	▲10.9	100.7	▲0.1	91.6	▲7.0
2014. 5	106.5	▲4.9	102.0	2.6	147.3	▲20.6	117.6	26.6	82.4	▲5.3	102.2	▲5.2	87.3	▲3.0
6	106.5	1.8	97.0	1.1	154.1	▲2.5	105.5	12.8	89.7	12.4	103.0	4.5	85.6	▲5.6
7	111.2	5.5	97.4	▲2.6	179.1	34.9	96.7	▲10.8	86.9	2.0	106.8	6.8	84.8	▲8.6
8	112.2	2.9	98.0	▲2.1	188.7	37.2	96.8	▲23.2	71.4	▲20.8	106.2	1.4	86.3	▲5.7
9	113.0	6.7	93.4	▲8.2	188.0	31.6	109.2	▲3.1	80.7	▲8.1	107.7	7.6	94.0	2.6
10	117.7	9.9	98.3	▲4.9	183.4	24.7	121.8	▲2.1	83.0	▲4.7	116.0	14.0	90.8	▲0.5
11	116.2	4.7	98.3	▲1.4	198.5	25.8	116.3	▲9.9	90.9	▲4.9	113.2	5.6	92.3	▲0.1
12	116.3	7.5	95.2	▲1.2	209.2	44.5	124.0	3.3	82.0	▲13.4	112.6	9.2	91.4	4.0
2015. 1	123.0	10.4	93.9	1.6	207.5	65.8	143.3	▲3.5	85.3	▲13.2	119.2	11.0	97.2	12.7
2	115.4	7.9	98.1	3.2	180.3	29.9	116.7	3.3	83.1	▲7.9	110.7	7.6	89.1	14.8
3	107.6	1.6	95.0	▲1.4	174.0	22.2	97.5	▲9.1	78.9	▲12.2	101.9	4.5	93.6	▲1.0
4	121.3	10.7	98.9	4.6	212.6	35.7	114.5	17.6	82.0	▲14.6	116.6	10.3	97.4	11.4
5	119.8	9.2	96.1	▲7.1	243.6	57.6	89.8	▲26.8	71.9	▲16.8	118.6	10.6	93.2	6.7
6														
出所	熊本県統計調査課													

項目 / 年月	貿易 輸出金額	貿易 輸入金額	公共工事保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額(非居住用)		新設住宅着工戸数 合計		持家	貸家	分譲	消費者物価指数(2010年=100) 熊本市		大型小売店販売額	
	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	4.5	16.8	1,713	▲14.9	1,385	22.8	10,063	13.8	4.7	7.6	112.1	99.5	▲0.5	166,476	▲2.5
2012年	▲2.3	1.3	1,806	5.4	1,042	▲24.8	11,521	14.5	▲3.8	34.1	21.1	99.1	▲0.4	165,154	▲0.8
2013年	47.1	4.9	2,575	42.6	1,183	13.6	12,078	4.8	19.3	1.7	▲19.7	99.1	0.0	166,640	0.9
2014. 5	▲3.4	6.4	161	3.7	153	29.5	1,015	▲6.6	▲18.2	▲5.0	31.5	102.8	3.8	13,351	0.9
6	▲31.7	▲1.3	174	▲32.8	95	▲8.6	725	▲41.2	▲22.3	▲52.9	▲45.3	102.6	3.6	13,397	1.2
7	10.7	▲16.4	238	▲0.2	94	▲24.7	1,027	17.4	▲6.6	▲9.4	261.7	102.5	3.2	15,591	2.8
8	8.1	2.1	173	▲23.1	77	▲25.6	855	▲32.2	▲31.3	▲37.5	▲10.4	103.1	3.6	14,161	11.9
9	▲20.3	8.3	250	▲25.5	69	▲37.1	894	1.5	17.2	▲18.9	22.0	103.2	3.6	12,546	4.5
10	▲3.6	▲9.8	264	▲8.8	137	▲0.4	944	▲12.3	▲12.2	▲15.8	12.5	102.7	2.9	13,858	3.6
11	▲3.8	16.6	157	▲21.3	50	▲31.8	797	▲34.7	▲45.2	▲18.6	▲38.9	102.6	2.6	14,722	4.6
12	5.5	21.5	123	▲26.6	96	▲5.3	1,081	24.4	▲12.3	49.9	145.9	102.5	2.3	20,343	4.0
2015. 1	55.2	▲0.5	112	▲5.0	84	41.6	859	22.4	▲1.1	134.9	▲54.1	101.8	2.0	15,345	4.7
2	14.3	30.6	74	▲10.1	130	60.5	785	▲37.5	▲21.1	▲47.7	▲43.9	101.8	2.2	13,452	13.7
3	17.9	▲5.6	181	▲13.5	96	117.5	970	6.5	16.0	▲31.0	▲15.5	102.4	2.3	14,045	▲17.0
4	▲3.9	10.8	104	▲4.9	84	▲48.1	818	▲22.9	▲7.6	▲33.2	▲57.8	103.0	0.7	13,084	6.6
5	25.6	▲20.4	91	▲43.3	42	▲72.5	870	▲14.3	▲11.7	▲36.2	54.1	103.3	0.5	13,514	1.2
6	18.8	▲26.1	132	▲24.5	99	4.1	1,015	40.0	24.0	63.4	12.2	102.9	0.3	12,800	▲4.5
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 / 年月	乗用車 乗用車新規登録台数		乗用車 軽乗用車販売台数		家計消費支出(勤労者世帯) 熊本市 可処分所得		消費支出		有効求人倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	29,430	▲22.7	22,718	▲14.7	351,844	▲6.7	277,713	▲6.5	0.61	110	▲3.5	51,564	1.4	30,903	2.1
2012年	37,962	29.0	31,789	39.9	396,686	12.7	314,374	13.2	0.68	98	▲10.9	53,225	3.2	31,741	2.7
2013年	35,900	▲5.4	33,820	6.4	397,409	0.2	299,637	▲4.7	0.85	72	▲26.5	54,720	2.8	32,621	2.8
2014. 5	2,060	▲6.6	2,796	16.1	277,050	▲17.5	292,458	▲21.6	0.98	3	▲57.1	55,739	3.1	33,074	4.2
6	2,783	0.8	3,264	15.5	494,723	▲11.7	289,510	17.5	0.97	7	40.0	56,518	3.7	33,053	3.7
7	3,085	▲1.2	2,754	▲13.6	456,542	9.6	306,575	15.9	0.99	6	20.0	55,392	3.5	33,097	3.8
8	2,290	▲4.3	2,264	▲5.7	368,576	▲4.7	293,066	10.3	1.01	5	0.0	55,551	3.0	33,134	3.7
9	3,220	▲10.0	3,371	5.5	357,183	19.0	307,205	▲7.4	1.03	5	▲28.6	54,969	2.5	33,632	3.5
10	2,472	▲16.0	2,255	▲1.9	405,166	11.2	329,324	6.1	1.04	6	20.0	54,573	2.0	33,402	4.6
11	2,490	▲20.9	2,602	0.8	349,615	14.1	279,357	▲4.3	1.04	6	20.0	55,139	2.4	33,467	4.3
12	2,368	▲13.4	3,416	37.5	728,744	11.2	360,406	▲15.3	1.06	4	▲20.0	55,705	1.8	33,937	4.0
2015. 1	2,518	▲28.9	2,552	▲20.8	320,769	6.8	290,235	▲0.3	1.05	6	0.0	55,300	2.6	33,696	4.2
2	3,349	▲16.1	3,330	▲7.6	376,801	14.8	282,206	▲3.6	1.05	5	▲44.4	55,319	2.4	33,800	4.1
3	4,191	▲18.0	4,180	▲9.6	335,151	12.7	333,589	▲5.6	1.05	9	350.0	56,070	2.3	34,511	4.6
4	2,105	▲3.7	1,874	▲31.7	347,825	11.6	342,468	7.9	1.09	2	▲66.7	56,269	1.7	33,880	4.9
5	2,160	4.9	1,958	▲30.0	294,614	6.3	294,160	0.6	1.11	5	66.7	56,452	1.3	34,388	4.0
6	2,637	▲5.2	2,512	▲23.0	512,079	3.5	294,030	1.6	1.10	6	▲14.3	57,606	1.9	34,431	4.2
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 長崎 Nagasaki

項目 / 年月	鉱工業生産指数(2010年=100) 総合 季調値	総合 前年比(%)	はん用・生産用機械 季調値	はん用・生産用機械 前年比(%)	食料品 季調値	食料品 前年比(%)	電子部品 季調値	電子部品 前年比(%)	輸送機械 季調値	輸送機械 前年比(%)	造船 生産高 億円	造船 生産高 前年比(%)	電子部品 生産高 前年比(%)
2011年	94.3	▲5.7	99.4	▲0.6	99.8	▲0.2	81.7	▲18.3	101.0	1.0	1,963	0.4	▲21.5
2012年	93.1	▲1.3	65.0	▲34.7	104.8	5.0	81.3	▲0.5	119.8	18.6	1,626	▲17.2	▲16.3
2013年	84.4	▲9.3	84.9	30.7	109.1	4.1	49.2	▲39.5	93.7	▲21.7	1,611	▲0.9	▲2.3
2014. 5	84.2	▲1.6	131.1	94.6	107.2	▲3.4	46.3	▲11.7	83.4	▲5.9	143	▲0.3	30.8
6	83.8	11.3	142.0	99.2	106.7	▲6.8	43.1	▲8.8	80.8	▲10.1	98	▲49.7	▲0.8
7	78.1	▲8.2	130.3	58.8	106.6	1.1	44.7	▲10.6	72.4	▲28.6	131	▲5.0	5.0
8	72.1	▲16.7	111.3	29.5	106.9	1.3	38.7	▲14.1	78.6	▲16.8	144	10.4	25.9
9	75.6	▲14.5	114.8	24.1	108.7	3.7	42.8	▲4.2	72.5	▲31.0	220	75.1	30.6
10	82.3	▲7.3	121.8	18.5	105.5	▲3.2	42.0	9.0	81.6	▲14.1	148	10.3	26.0
11	90.6	▲3.3	111.7	5.7	107.2	▲6.7	54.3	18.9	81.5	▲20.6	123	▲0.2	25.7
12	86.0	▲5.0	123.8	5.5	107.0	▲1.0	42.5	▲10.3	81.2	▲15.6	226	87.2	30.2
2015. 1	96.0	5.0	104.2	▲13.6	113.8	2.9	40.5	▲6.7	99.3	7.3	132	0.2	25.1
2	77.6	▲21.6	82.4	▲32.3	105.8	▲1.9	57.1	▲19.8	81.2	▲11.9	142	16.0	20.2
3	84.1	▲4.7	110.9	▲16.1	105.8	2.9	39.5	▲21.0	80.6	▲3.9	149	38.4	▲19.7
4	88.9	0.6	147.9	12.4	118.9	13.0	35.3	▲33.3	73.9	▲9.3	153	13.3	▲16.9
5	90.8	6.8	162.1	27.1	116.5	8.5	33.6	▲27.4	79.2	▲8.8	141	▲1.2	▲1.5
6													0.8
出所	長崎県統計課										三菱重工業長崎造船所、佐世保重工業		日本銀行長崎支店

項目 / 年月	貿易 輸出金額 前年比(%)	貿易 輸入金額 前年比(%)	漁業水揚金額 百万円	漁業水揚金額 前年比(%)	公共工事保証請負金額 億円	公共工事保証請負金額 前年比(%)	建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 億円	建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 前年比(%)	新設住宅着工戸数 合計 戸	合計 前年比(%)	持家 前年比(%)	貸家 前年比(%)	分譲 前年比(%)	観光施設入場者数(主要6施設合計) 千人	観光施設入場者数(主要6施設合計) 前年比(%)	消費者物価指数(2010年=100) 長崎市 指数	消費者物価指数(2010年=100) 長崎市 前年比(%)
2011年	▲12.2	18.5	63,871	11.5	1,590	▲10.4	761	35.9	5,501	0.6	0.9	▲8.2	72.5	2,013	▲10.2	99.5	▲0.5
2012年	▲14.5	2.4	64,448	0.9	1,601	0.7	803	5.5	6,344	15.3	14.9	22.5	▲7.3	1,995	▲0.9	99.5	0.0
2013年	▲8.6	9.9	60,044	▲6.8	1,973	23.2	688	▲14.3	6,661	5.0	2.8	9.8	1.1	2,181	9.3	99.7	0.2
2014. 5	▲21.1	▲1.4	4,865	▲4.6	86	▲5.0	40	▲48.0	598	20.1	18.1	▲10.3	326.9	270	▲0.3	102.7	3.4
6	▲40.5	29.3	4,430	▲14.6	222	31.9	49	▲19.7	468	▲22.5	▲5.0	▲29.2	▲65.3	144	4.7	102.7	3.4
7	▲57.0	▲4.4	4,502	1.0	204	▲15.1	62	103.2	720	▲2.4	▲11.0	▲18.8	52.8	149	▲6.3	102.7	3.2
8	63.1	7.2	4,157	▲16.0	218	39.6	88	106.5	544	▲6.2	▲7.5	▲13.3	23.2	245	▲9.5	102.9	2.9
9	56.7	▲11.2	4,319	▲4.0	187	▲35.4	95	151.2	585	▲4.6	▲8.4	6.6	▲43.1	182	▲3.6	103.2	2.9
10	227.3	39.3	4,312	▲2.7	170	▲20.6	58	3.3	358	▲25.9	▲35.0	▲32.3	▲22.2	190	▲9.1	103.0	2.8
11	▲23.0	▲25.5	4,772	▲0.0	92	▲37.0	50	30.3	471	13.2	▲10.5	42.3	80.8	230	10.6	102.5	2.0
12	160.9	▲27.9	5,511	▲6.0	90	▲35.1	33	▲60.5	445	▲19.4	▲29.7	▲33.5	305.0	144	6.5	102.8	2.0
2015. 1	84.9	▲14.8	5,888	14.9	90	▲22.4	59	71.0	563	▲7.9	▲17.7	6.8	▲21.4	108	▲11.3	102.5	2.1
2	▲27.9	▲23.6	5,145	26.6	97	▲21.9	24	▲67.1	463	▲0.6	0.8	▲1.0	▲13.6	136	▲8.6	102.6	2.4
3	▲45.0	▲22.9	5,596	25.2	208	▲21.9	45	▲89.0	678	58.0	1.6	232.2	▲60.7	216	▲2.5	102.9	2.5
4	47.5	▲22.5	4,840	▲12.6	205	42.7	130	111.1	400	▲32.0	▲29.1	▲33.3	▲38.5	166	0.1	103.3	1.0
5	▲24.5	7.7	4,873	0.2	69	▲19.7	93	133.1	487	▲18.6	▲12.3	▲24.9	▲20.7	295	9.2	103.7	1.0
6	▲30.3	▲24.1	4,412	▲0.4	149	▲32.7	64	31.2	641	37.0	10.4	69.3	▲5.9	154	7.2	103.3	0.6
出所	財務省		県内主要4魚市場		西日本建設業保証		国土交通省							長崎県観光振興推進本部		総務省	

項目 / 年月	大型小売店販売額 百万円	大型小売店販売額 前年比(%)	乗用車 乗用車新規登録台数 台	乗用車 乗用車新規登録台数 前年比(%)	乗用車 軽乗用車販売台数 台	乗用車 軽乗用車販売台数 前年比(%)	家計消費支出(勤労者世帯) 長崎市 可処分所得 円	可処分所得 前年比(%)	消費支出 円	消費支出 前年比(%)	有効求人倍率 倍	倒産件数 件	倒産件数 前年比(%)	預金残高 億円	預金残高 前年比(%)	貸金残高 億円	貸金残高 前年比(%)
2011年	121,789	▲1.9	18,633	▲21.2	18,210	▲14.8	336,448	▲24.9	271,058	▲13.0	0.58	78	8.3	42,677	1.6	23,035	1.0
2012年	117,232	▲3.7	23,255	24.8	24,759	36.0	333,216	▲1.0	275,314	1.6	0.64	76	▲2.6	43,379	1.6	23,456	1.8
2013年	119,990	2.4	21,657	▲6.9	26,688	7.8	391,917	17.6	308,148	11.9	0.73	49	▲35.5	45,357	4.6	24,639	5.0
2014. 5	9,261	▲3.6	1,276	▲6.6	2,245	23.1	278,028	▲7.8	239,276	▲9.5	0.84	6	100.0	46,733	5.4	24,846	4.7
6	9,186	▲4.7	1,633	3.4	2,511	4.0	395,452	▲39.7	276,139	1.7	0.85	5	25.0	46,705	3.8	24,757	4.6
7	10,632	▲3.5	1,947	1.6	2,116	▲15.2	360,684	▲4.0	278,303	▲14.3	0.86	2	▲50.0	46,517	4.2	24,946	4.6
8	9,887	0.8	1,391	2.8	1,706	▲6.7	322,407	▲16.1	315,806	▲2.0	0.87	8	33.3	46,701	4.2	25,001	4.6
9	8,732	▲1.0	1,892	▲5.8	2,694	9.7	296,495	▲8.1	390,090	7.6	0.86	4	▲33.3	46,456	4.1	25,023	4.3
10	9,392	0.6	1,601	▲12.2	2,017	8.4	367,288	▲0.8	267,041	▲14.6	0.83	10	400.0	46,238	3.4	25,071	4.4
11	10,107	▲0.3	1,511	▲14.8	2,285	11.8	331,063	15.0	267,826	▲2.7	0.85	3	0.0	46,659	3.3	25,233	4.4
12	13,106	▲0.8	1,562	▲4.8	2,427	10.8	803,794	30.6	384,842	24.2	0.85	4	▲33.3	46,661	2.9	25,473	3.4
2015. 1	9,685	▲2.0	1,709	▲22.2	2,129	▲19.4	350,901	28.9	297,735	0.6	0.89	6	0.0	46,695	3.5	25,471	3.6
2	8,457	▲1.9	1,996	▲17.4	2,317	▲18.2	368,527	22.2	256,109	▲6.7	0.93	4	▲33.3	47,107	3.8	25,520	3.4
3	9,802	▲11.5	2,556	▲17.9	3,179	▲10.5	318,502	21.7	287,428	▲38.5	0.97	3	50.0	47,685	2.6	25,831	3.3
4	9,059	9.2	1,230	▲5.5	1,428	▲33.8	308,929	▲2.5	329,174	29.3	0.96	3	▲62.5	47,651	2.2	25,242	2.9
5	9,487	2.4	1,257	▲1.5	1,518	▲32.4	292,666	5.3	262,414	9.7	1.00	4	▲33.3	47,822	2.3	25,551	2.8
6	9,048	▲1.5	1,612	▲1.3	2,144	▲14.6	504,335	27.5	268,023	▲2.9	0.98	5	0.0	48,119	3.0	25,523	3.1
出所	九州経済産業局		日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

（注） 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚金額は、長崎、佐世保、北松、松浦の4市場の合計。
観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海パールシーリゾート、平戸城、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

佐賀 Saga 経済指標

項目 / 年月	鉱工業生産指数(2010年=100) 総合		一般機械		電子部品		化学		食料品		鉱工業出荷指数(2010年=100)		鉱工業在庫指数(2010年=100)	
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
2011年	100.7	0.7	107.6	7.6	86.1	▲13.9	103.6	3.6	102.0	2.0	98.5	▲1.5	102.1	2.1
2012年	96.1	▲4.6	100.1	▲7.0	74.4	▲13.6	101.8	▲1.8	100.6	▲1.3	93.0	▲5.6	101.8	▲0.2
2013年	92.4	▲3.9	72.4	▲27.7	47.1	▲36.6	92.2	▲9.4	96.3	▲4.3	96.1	3.3	92.8	▲8.8
2014. 5	102.4	3.9	77.1	▲42.1	49.7	4.1	119.4	21.4	96.8	▲8.4	103.7	5.3	75.7	▲19.4
6	93.4	2.1	60.6	▲18.0	49.7	▲0.6	88.7	▲3.3	90.7	▲6.1	97.2	2.2	71.9	▲23.8
7	97.8	2.7	68.2	▲0.4	44.3	▲0.8	88.9	▲7.3	93.2	▲3.4	100.1	1.1	71.9	▲25.2
8	100.3	6.8	79.9	27.3	55.0	16.7	102.7	7.1	99.8	0.9	102.5	4.7	74.7	▲15.6
9	97.1	3.7	69.0	7.1	42.6	6.6	97.5	▲4.2	99.3	4.3	99.3	2.1	76.6	▲18.1
10	90.3	4.6	69.7	▲4.3	50.6	15.2	87.6	13.9	96.4	2.7	93.1	▲0.7	75.5	▲9.8
11	84.8	0.2	68.2	▲6.1	43.0	▲0.4	74.9	▲8.3	89.2	▲1.8	92.1	▲1.8	75.4	▲10.2
12	87.5	2.2	62.6	▲5.6	48.4	10.0	82.8	0.3	94.1	▲2.7	97.1	4.5	72.9	▲12.4
2015. 1	101.9	1.9	84.9	31.8	56.7	13.0	116.1	1.8	88.9	3.5	102.4	2.2	82.5	▲8.6
2	94.6	▲1.7	87.3	▲3.9	49.1	▲1.5	90.3	▲1.2	86.7	▲2.9	103.2	4.9	85.7	▲2.2
3	105.4	2.0	108.4	23.3	56.3	▲1.8	121.9	0.9	98.6	▲1.0	105.2	4.0	95.8	17.9
4	86.4	▲9.5	52.4	▲30.5	47.2	▲8.1	89.2	▲15.4	93.6	0.3	89.6	▲8.1	87.8	9.6
5	92.5	▲9.2	90.2	16.3	47.6	▲8.3	74.7	▲32.0	92.7	▲3.5	95.3	▲8.9	82.7	9.7
6														
出所	佐賀県統計分析課													

項目 / 年月	貿易 輸出金額	貿易 輸入金額	公共工事保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額(非居住用)		新設住宅着工戸数 合計		持家	貸家	分譲	消費者物価指数(2010年=100) 佐賀市		大型小売店販売額	
	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	▲39.4	▲12.1	978	▲7.5	662	2.3	4,417	8.4	2.9	10.6	60.9	99.4	▲0.7	70,066	0.3
2012年	15.6	11.4	1,077	10.1	596	▲10.0	4,524	2.4	▲0.8	12.3	▲20.2	99.3	▲0.1	67,989	▲3.0
2013年	11.7	▲2.1	1,178	9.4	684	14.6	5,568	23.1	23.4	13.5	71.2	99.4	0.2	67,244	▲1.1
2014. 5	▲15.0	12.2	80	▲8.4	89	108.9	372	9.7	▲33.3	8.9	337.0	102.4	3.3	5,199	▲3.3
6	▲9.8	▲4.3	120	9.9	63	43.1	482	22.3	▲6.3	39.1	132.1	102.2	3.0	5,164	▲3.7
7	▲89.5	11.7	118	▲33.5	36	▲34.6	433	12.8	▲35.5	96.8	25.9	102.5	3.3	5,774	▲1.4
8	▲12.9	15.0	90	▲14.0	50	18.5	319	▲26.8	▲36.0	48.5	▲78.6	102.9	3.2	5,682	0.9
9	1,789.2	29.9	111	5.3	52	▲19.5	291	▲48.2	▲33.2	▲54.5	▲74.8	102.9	2.8	4,845	▲2.3
10	330.3	35.5	146	▲0.1	71	17.3	398	▲6.1	▲14.9	9.1	▲40.0	103.0	2.9	5,277	▲2.2
11	▲62.4	▲33.0	82	▲5.5	44	▲42.5	338	▲45.3	▲34.2	▲53.3	▲75.6	102.7	2.8	5,542	▲1.7
12	132.4	60.8	79	7.9	85	▲5.8	548	▲12.7	▲14.1	3.2	▲69.4	102.5	2.2	7,287	0.0
2015. 1	2,490.0	▲31.5	89	73.2	28	▲38.6	377	9.6	▲12.2	25.8	177.8	102.0	2.0	5,433	▲1.0
2	▲75.8	35.2	59	72.9	40	▲39.5	381	▲10.8	▲17.0	61.4	▲82.9	101.9	2.3	4,861	1.3
3	148.0	▲16.2	61	▲26.0	34	▲17.8	233	▲33.6	▲6.4	▲64.0	▲46.2	102.4	2.4	5,483	▲13.0
4	▲30.3	▲9.5	177	31.1	92	▲16.1	371	▲29.6	17.4	19.3	▲90.1	102.7	0.9	5,275	11.3
5	▲34.6	▲10.9	50	▲37.2	20	▲77.9	408	9.7	16.4	101.8	▲80.5	103.1	0.7	5,417	4.2
6	▲91.4	▲6.4	84	▲30.2	136	116.2	520	7.9	5.7	19.2	▲26.2	102.9	0.6	5,327	3.2
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 / 年月	乗用車 乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		家計消費支出(勤労者世帯) 佐賀市 可処分所得		消費支出		有効求人倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	12,548	▲23.0	11,414	▲11.8	429,542	▲5.8	314,463	▲3.7	0.62	45	▲4.3	21,268	0.8	11,217	0.0
2012年	15,960	27.2	15,561	36.3	430,581	0.2	322,774	2.6	0.72	57	26.7	21,627	1.7	11,261	0.4
2013年	15,018	▲5.9	16,696	7.3	436,794	1.4	320,917	▲0.6	0.78	51	▲10.5	22,454	3.8	11,621	3.2
2014. 5	909	▲4.1	1,313	10.6	325,767	13.6	268,202	▲11.2	0.91	3	▲40.0	22,778	3.0	11,776	4.2
6	1,154	4.4	1,466	6.9	644,545	11.2	268,254	▲5.7	0.93	4	33.3	22,702	0.6	11,761	3.2
7	1,272	1.6	1,641	3.8	432,307	▲4.0	340,131	9.4	0.91	2	▲71.4	22,569	1.3	11,826	3.5
8	920	▲6.2	1,130	▲2.6	388,864	▲12.7	295,397	▲0.1	0.92	2	▲60.0	22,664	2.3	11,907	3.1
9	1,308	▲8.9	1,596	1.8	376,367	11.6	274,705	1.3	0.91	3	▲66.7	22,260	1.9	11,907	4.3
10	1,177	▲2.5	1,264	▲0.9	420,251	▲8.0	280,643	▲4.4	0.89	4	100.0	22,206	1.3	11,886	4.1
11	1,068	▲18.0	1,609	14.8	366,445	11.3	290,665	▲9.1	0.89	4	33.3	22,478	1.5	11,966	4.0
12	1,004	▲19.2	1,658	22.4	757,088	▲6.3	328,824	▲8.4	0.86	2	0.0	22,662	0.9	12,130	4.4
2015. 1	1,200	▲23.0	1,311	▲28.2	354,123	3.6	334,994	11.4	0.87	3	▲40.0	22,659	2.4	12,084	4.9
2	1,445	▲17.0	1,513	▲17.3	428,934	0.7	307,281	14.0	0.87	3	▲25.0	22,738	2.4	12,108	4.6
3	1,811	▲14.0	2,216	▲3.0	343,162	6.0	342,889	1.2	0.88	1	▲66.7	23,314	2.7	12,261	4.4
4	839	▲4.7	912	▲31.7	417,101	▲5.1	296,732	▲16.5	0.88	2	100.0	23,102	1.4	12,144	4.5
5	924	1.7	993	▲24.4	323,229	▲0.8	296,439	10.5	0.89	2	▲33.3	23,157	1.7	12,349	4.9
6	1,191	3.2	1,248	▲14.9	694,333	7.7	294,933	9.9	0.91	2	▲50.0	23,205	2.2	12,329	4.8
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 大分 Oita

項目 / 年月	鉱工業生産指数(2010年=100) 総合		鉄鋼		はん用・生産用機械		電子部品		化学		鉱工業出荷指数(2010年=100)		鉱工業在庫指数(2010年=100)	
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
2011年	100.5	0.4	101.6	1.5	97.8	▲2.2	100.3	0.2	107.3	7.3	98.6	▲1.4	108.4	8.4
2012年	99.9	▲0.6	105.0	3.4	99.7	2.0	111.1	10.8	96.5	▲10.1	99.3	0.7	102.4	▲5.5
2013年	97.3	▲2.6	106.1	1.0	102.7	3.0	84.8	▲23.7	106.6	10.4	95.5	▲3.8	104.0	1.6
2014. 5	97.0	▲3.2	101.3	▲7.0	107.9	8.9	88.0	12.9	93.2	▲29.1	94.3	▲3.6	92.9	▲14.0
6	92.5	▲0.1	104.0	▲1.3	106.2	13.3	87.0	17.7	77.5	▲27.8	91.1	▲0.9	87.9	▲18.5
7	93.3	▲3.2	107.1	▲2.8	104.0	2.0	81.0	4.1	93.5	▲6.5	89.7	▲7.1	91.6	▲12.9
8	93.6	▲4.3	105.0	▲2.9	104.1	▲4.0	77.0	▲2.6	104.2	7.9	90.1	▲6.9	98.7	▲4.7
9	96.8	1.1	102.5	▲3.2	107.9	7.3	82.3	▲5.5	106.9	9.8	94.3	2.6	91.4	▲13.7
10	95.6	▲1.9	105.1	1.1	98.4	▲7.4	85.0	6.7	103.0	▲0.3	91.7	▲4.2	93.7	▲8.2
11	94.9	▲4.5	99.4	▲6.8	104.5	▲15.0	79.5	▲0.2	103.6	3.5	93.9	▲3.8	92.6	▲7.8
12	96.5	1.5	99.3	▲4.0	121.6	21.4	75.9	▲7.9	98.7	▲2.6	92.9	▲0.9	90.6	▲7.9
2015. 1	102.4	▲0.1	102.8	▲1.7	110.8	4.1	90.3	▲12.3	106.4	4.7	98.1	▲0.2	93.9	▲2.7
2	101.0	▲1.7	91.7	▲15.2	120.9	14.7	93.6	▲3.6	102.1	▲6.4	97.4	▲0.4	93.9	▲3.2
3	105.3	2.3	103.5	▲2.6	115.3	14.7	95.9	3.1	111.7	29.6	98.7	2.0	93.4	▲0.5
4	104.2	8.5	114.8	15.5	111.8	3.9	98.0	13.9	113.4	51.4	98.5	6.2	98.7	2.9
5	105.7	8.4	109.6	9.3	144.9	24.8	89.0	6.7	123.4	29.3	96.5	0.9	103.2	11.1
6														
出所	大分県統計調査課													

項目 / 年月	貿易 輸出金額	貿易 輸入金額	公共工事保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額(非居住用)		新設住宅着工戸数 合計		持家	貸家	分譲	消費者物価指数(2010年=100) 大分市		大型小売店販売額	
	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	13.5	24.5	1,288	▲16.1	958	29.2	5,691	▲1.2	1.9	▲12.3	30.3	99.7	▲0.3	124,448	0.9
2012年	▲10.8	▲5.2	1,396	8.3	635	▲33.8	6,670	17.2	1.4	19.6	65.1	99.9	0.2	123,046	▲1.1
2013年	21.5	22.3	1,732	24.1	1,006	58.5	7,431	11.4	16.0	21.9	▲18.8	100.1	0.2	121,812	▲1.0
2014. 5	▲33.5	▲24.5	78	▲42.4	22	▲63.3	376	▲39.6	▲35.5	▲40.2	▲40.8	103.7	4.1	9,243	▲3.1
6	▲23.2	▲0.7	153	4.3	76	▲35.7	556	▲8.4	▲4.0	▲15.4	9.3	103.6	3.8	9,118	▲2.7
7	▲35.0	6.8	135	24.5	86	78.5	559	▲15.7	▲29.7	▲19.3	64.6	103.7	3.5	10,730	▲3.1
8	▲27.3	▲3.8	106	▲13.0	54	▲27.5	368	▲47.4	▲34.5	▲71.0	▲21.6	104.1	3.6	9,766	▲0.5
9	1.0	20.6	199	▲11.9	82	▲59.7	792	39.4	▲15.0	60.8	317.8	104.2	3.2	8,740	▲1.3
10	▲18.3	5.4	164	▲1.3	61	7.3	543	▲13.8	▲15.1	3.8	▲62.5	103.9	2.9	9,700	▲1.0
11	▲14.3	▲4.1	49	▲36.5	88	49.7	387	▲51.6	▲42.4	▲54.0	▲69.4	103.4	2.3	10,255	▲0.6
12	▲2.3	10.9	80	▲27.2	59	▲14.5	469	▲24.5	▲33.9	0.0	▲50.0	103.3	2.3	13,562	▲2.6
2015. 1	▲16.2	▲15.9	94	38.3	41	9.0	570	26.7	4.3	2.7	320.0	103.1	2.3	9,991	▲2.9
2	▲14.5	▲32.1	52	13.8	62	99.3	632	▲0.6	▲1.7	▲22.1	161.1	103.0	2.0	8,869	0.0
3	▲4.2	▲18.0	77	▲28.0	78	41.7	536	36.0	18.4	53.9	51.4	103.6	2.4	10,224	▲16.1
4	27.4	▲23.7	266	21.7	46	▲3.1	479	▲24.6	▲29.3	▲52.1	4.6	103.9	0.5	8,929	7.1
5	30.7	▲12.7	96	22.2	98	340.5	521	38.6	25.3	45.0	82.2	104.7	1.0	9,248	0.1
6	22.3	▲7.7	94	▲38.4	86	12.2	629	13.1	▲18.3	20.7	157.4	104.1	0.4	8,804	▲3.4
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 / 年月	乗用車 乗用車新規登録台数		乗用車 軽乗用車販売台数		家計消費支出(勤労者世帯) 大分市 可処分所得		消費支出		有効求人倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	20,956	▲18.7	15,760	▲12.7	446,998	5.2	320,368	8.9	0.66	66	▲7.0	33,559	2.2	21,078	▲0.5
2012年	25,785	23.0	21,346	35.4	464,878	4.0	341,720	6.7	0.73	67	1.5	33,721	0.5	21,245	0.8
2013年	24,796	▲3.8	22,690	6.3	448,318	▲3.6	342,834	0.3	0.78	58	▲13.4	33,422	▲0.9	21,151	▲0.4
2014. 5	1,605	▲1.5	1,643	5.9	312,947	▲6.6	305,534	▲6.1	0.90	5	▲44.4	35,115	2.9	21,808	2.9
6	1,879	3.6	1,994	9.4	621,106	5.2	273,292	▲17.7	0.89	6	50.0	35,238	1.4	21,771	2.4
7	2,161	3.1	2,159	▲6.0	427,883	▲19.7	286,851	▲9.2	0.90	1	▲83.3	34,721	1.7	21,932	3.2
8	1,648	▲0.6	1,461	▲15.4	373,059	▲15.9	287,111	▲31.8	0.92	4	▲33.3	35,021	1.8	22,032	3.3
9	2,262	▲10.0	2,357	11.8	355,139	▲0.7	301,316	▲4.2	0.93	0	▲100.0	34,553	1.6	22,197	4.0
10	1,886	▲2.7	1,470	▲5.4	395,808	▲10.1	345,502	16.9	0.94	3	▲40.0	34,453	1.5	22,116	3.7
11	1,809	▲17.6	1,843	10.4	396,314	6.0	304,049	▲3.7	0.95	1	▲75.0	35,070	2.2	22,331	3.5
12	1,711	▲12.8	2,692	42.2	782,127	▲0.2	331,714	▲29.0	0.95	4	33.3	35,354	1.8	22,620	4.2
2015. 1	1,939	▲23.7	2,026	▲12.5	350,502	▲7.5	339,518	▲16.1	0.97	7	▲22.2	35,086	2.6	22,612	4.7
2	2,342	▲17.1	2,284	▲8.1	417,788	12.6	330,093	1.7	0.99	7	40.0	35,206	2.3	22,722	4.9
3	3,030	▲14.9	2,850	▲7.3	348,873	1.3	351,038	▲2.6	1.04	7	600.0	35,642	1.3	22,798	4.3
4	1,551	▲0.6	1,285	▲24.7	379,167	12.0	342,420	25.8	1.03	6	100.0	35,521	1.6	22,613	4.3
5	1,470	▲8.4	1,338	▲18.6	384,113	22.7	284,276	▲7.0	1.07	3	▲40.0	35,821	2.0	22,658	3.9
6	1,987	5.7	1,656	▲17.0	492,299	▲20.7	320,132	17.1	1.08	3	▲50.0	35,985	2.1	22,836	4.9
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

宮崎 Miyazaki 経済指標

項目 / 年月	鉱工業生産指数(2010年=100) 総合 季調値	総合 前年比(%)	電子部品 季調値	電子部品 前年比(%)	化学 季調値	化学 前年比(%)	電気・情報通信 季調値	電気・情報通信 前年比(%)	食料品 季調値	食料品 前年比(%)	鉱工業出荷指数(2010年=100) 季調値	鉱工業出荷指数(2010年=100) 前年比(%)	鉱工業在庫指数(2010年=100) 季調値	鉱工業在庫指数(2010年=100) 前年比(%)
2011年	97.4	▲2.6	78.3	▲21.7	104.6	4.6	118.9	18.9	96.5	▲3.5	101.4	1.4	111.4	11.4
2012年	98.2	0.8	70.3	▲10.3	101.6	▲2.9	122.1	2.7	104.3	8.1	102.8	1.4	116.5	4.5
2013年	98.2	0.0	76.0	8.1	94.4	▲7.1	131.9	8.0	104.2	▲0.1	105.5	2.6	109.0	▲6.4
2014. 5	102.5	4.7	78.7	21.8	92.3	0.5	141.1	2.6	111.4	7.4	105.3	1.7	116.6	7.2
6	102.8	10.2	81.1	15.3	101.1	12.0	138.3	5.1	116.9	23.2	105.5	2.6	120.3	10.4
7	100.2	2.2	80.2	9.9	96.7	▲7.8	130.6	▲3.4	108.6	12.5	104.1	▲0.6	118.9	9.7
8	101.3	▲2.2	83.2	▲13.8	97.1	4.0	136.7	0.6	106.1	▲0.7	103.2	▲5.4	118.7	10.0
9	102.8	4.0	85.1	4.1	103.9	10.8	135.4	0.5	107.4	▲0.1	105.8	▲3.5	119.1	10.8
10	103.1	3.4	96.6	21.4	101.6	4.6	133.6	▲0.6	107.2	0.4	105.6	▲0.1	118.4	8.2
11	102.7	1.2	98.9	28.8	101.1	8.0	135.0	1.6	108.4	▲1.7	105.9	▲0.6	119.3	11.0
12	103.0	3.3	103.1	35.9	102.3	2.2	135.8	▲0.1	104.2	▲1.7	106.7	0.6	120.8	12.8
2015. 1	105.2	3.0	104.2	37.7	107.9	0.4	131.3	0.4	103.8	▲2.3	104.3	0.4	122.1	12.8
2	103.2	1.2	102.1	35.9	98.7	▲5.1	135.4	0.4	103.8	▲6.5	101.0	▲5.4	120.8	9.1
3	102.6	2.1	102.2	33.2	111.9	▲1.5	139.6	▲2.5	95.1	▲6.6	98.9	▲6.4	126.4	15.9
4	98.7	▲2.4	111.7	44.2	102.1	▲3.7	128.2	▲6.8	90.4	▲17.7	106.4	6.1	126.4	10.1
5	101.6	▲2.0	100.5	27.7	84.4	▲4.5	127.5	▲6.7	102.8	▲10.5	102.9	▲3.3	126.1	8.2
6														
出所	宮崎県統計調査課													

項目 / 年月	貿易 輸出金額 前年比(%)	貿易 輸入金額 前年比(%)	公共工事保証請負金額 億円	公共工事保証請負金額 前年比(%)	建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 億円	建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 前年比(%)	新設住宅着工戸数 合計 戸	合計 前年比(%)	持家 前年比(%)	貸家 前年比(%)	分譲 前年比(%)	消費者物価指数(2010年=100) 宮崎市 指数	消費者物価指数(2010年=100) 宮崎市 前年比(%)	大型小売店販売額 百万円	大型小売店販売額 前年比(%)
2011年	2.4	16.8	1,375	▲6.7	622	▲5.6	6,076	5.9	9.0	1.4	12.1	99.8	▲0.2	89,145	▲2.5
2012年	14.2	▲11.9	1,366	▲0.7	520	▲16.4	6,754	11.2	0.1	13.8	55.1	99.9	0.1	88,398	▲0.8
2013年	22.1	0.6	1,695	24.2	735	41.2	7,869	16.5	16.6	14.7	30.9	100.1	0.2	87,717	▲0.8
2014. 5	▲1.6	24.1	95	▲56.9	54	▲30.6	615	▲18.1	▲13.3	▲13.2	▲50.0	103.0	3.3	6,705	▲5.1
6	▲21.0	30.7	169	11.2	36	▲57.0	438	▲4.8	23.9	▲30.8	▲35.7	102.9	3.2	6,639	▲2.7
7	3.1	18.9	160	0.6	74	37.5	552	▲6.0	▲25.6	9.5	49.1	103.4	3.6	7,582	▲3.3
8	17.3	65.8	101	▲40.0	72	2.5	619	▲12.2	▲25.6	▲22.7	231.4	103.9	3.5	7,337	3.1
9	8.7	29.1	165	▲21.7	54	31.3	521	▲39.0	▲23.9	▲44.5	▲65.9	104.2	3.4	6,343	1.9
10	1.6	34.2	158	▲1.0	73	▲14.0	547	▲36.3	▲30.3	▲19.3	▲80.5	103.9	3.1	6,967	0.7
11	▲4.3	▲2.9	78	▲14.6	64	27.1	645	▲23.2	▲31.1	2.9	▲61.0	103.4	2.8	7,527	1.9
12	25.5	38.2	87	12.2	26	▲59.1	415	▲34.3	▲34.5	▲44.4	57.7	103.6	2.7	9,962	0.5
2015. 1	30.3	34.2	82	27.2	20	▲53.5	418	▲29.4	▲10.0	▲52.0	▲33.9	103.3	2.5	7,050	▲0.7
2	13.8	▲7.0	56	▲47.8	108	178.9	455	▲25.4	▲32.1	▲5.6	▲26.5	103.1	2.5	6,225	2.1
3	8.2	40.9	101	▲25.5	92	169.2	375	▲6.5	40.3	▲49.5	32.5	103.5	2.3	7,145	▲14.4
4	3.4	11.0	66	▲58.6	90	83.0	711	46.6	▲4.7	115.0	25.0	103.8	0.8	6,925	11.5
5	21.3	▲3.5	62	▲34.6	31	▲41.7	469	▲23.7	▲23.0	▲23.3	▲20.3	103.9	0.9	7,257	8.2
6	38.4	▲5.0	91	▲45.9	42	16.8	579	32.2	10.0	79.0	53.3	103.7	0.8	6,499	▲2.1
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 / 年月	乗用車 乗用車新規登録台数 台	乗用車 乗用車新規登録台数 前年比(%)	乗用車 軽乗用車販売台数 台	乗用車 軽乗用車販売台数 前年比(%)	家計消費支出(勤労者世帯) 宮崎市 可処分所得 円	可処分所得 前年比(%)	消費支出 円	消費支出 前年比(%)	有効求人倍率 倍	倒産件数 件	倒産件数 前年比(%)	預金残高 億円	預金残高 前年比(%)	貸金残高 億円	貸金残高 前年比(%)
2011年	18,199	▲22.9	14,632	▲14.3	374,940	1.3	287,889	▲4.4	0.58	57	▲12.3	25,446	2.4	17,771	3.0
2012年	23,989	31.8	20,879	42.7	326,592	▲12.9	263,379	▲8.5	0.69	68	19.3	25,954	2.0	18,421	3.7
2013年	21,773	▲9.2	21,911	4.9	367,510	12.5	293,817	11.6	0.77	38	▲44.1	27,246	5.0	19,859	7.8
2014. 5	1,434	▲8.5	1,703	8.9	275,034	7.3	292,638	11.1	0.93	2	▲33.3	28,114	6.1	20,170	9.0
6	1,733	1.5	1,968	▲0.7	537,948	▲15.0	317,899	13.0	0.96	6	100.0	27,993	4.3	20,106	8.0
7	1,794	▲5.5	1,810	▲6.9	332,763	3.9	264,040	3.3	0.94	1	▲80.0	27,669	4.0	20,249	7.9
8	1,512	2.8	1,552	▲7.4	282,635	▲18.0	248,370	▲11.5	0.95	3	▲25.0	27,773	3.8	20,387	7.9
9	1,882	▲7.7	2,058	4.1	269,116	▲13.8	229,192	▲17.7	0.94	2	100.0	27,865	4.4	20,810	9.2
10	1,532	▲14.9	1,553	5.6	318,005	▲11.4	221,251	▲28.5	0.96	5	▲37.5	27,749	4.5	20,672	8.6
11	1,435	▲23.5	1,797	4.6	249,591	▲13.4	285,468	▲12.1	0.98	2	0.0	27,926	4.3	20,998	8.2
12	1,339	▲14.6	1,977	2.3	471,376	▲31.4	291,759	▲31.5	0.99	2	100.0	28,395	4.2	21,550	8.5
2015. 1	1,614	▲29.2	1,805	▲18.2	255,919	▲13.7	251,962	▲24.7	0.97	1	▲66.7	28,205	3.9	21,407	8.3
2	1,929	▲22.9	2,175	▲13.7	354,426	3.7	251,589	▲6.3	0.97	2	▲71.4	28,425	4.2	21,529	8.5
3	2,499	▲22.7	2,602	▲6.4	308,207	21.4	301,847	▲2.0	0.98	1	▲85.7	28,933	4.6	21,862	7.9
4	1,225	▲7.7	1,326	▲21.1	339,393	12.2	275,984	8.9	0.99	5	150.0	29,066	3.8	21,657	8.3
5	1,364	▲4.9	1,320	▲22.5	268,686	▲2.3	281,931	▲3.7	1.01	4	100.0	29,131	3.6	21,890	8.5
6	1,571	▲9.3	1,584	▲19.5	480,832	▲10.6	233,857	▲26.4	1.00	3	▲50.0	29,337	4.8	21,775	8.3
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 鹿児島 Kagoshima

項目 / 年月	鉱工業生産指数(2010年=100) 総合		電気・情報通信		電子部品		窯業・土石製品		食料品		鉱工業出荷指数(2010年=100)		鉱工業在庫指数(2010年=100)	
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
2011年	92.3	▲7.7	82.5	▲17.6	81.6	▲18.4	85.6	▲14.4	98.0	▲2.0	95.4	▲4.6	116.7	16.7
2012年	88.7	▲3.9	106.1	28.7	61.7	▲24.4	78.3	▲8.5	101.5	3.6	94.2	▲1.3	106.4	▲8.8
2013年	87.5	▲1.4	120.3	13.4	49.8	▲19.4	89.7	14.5	102.9	1.3	91.6	▲2.8	121.0	13.7
2014. 5	91.5	2.3	110.6	▲17.3	48.8	▲11.5	91.6	4.4	108.8	3.7	93.3	▲3.9	134.7	11.1
6	88.8	3.5	125.9	0.5	42.9	▲10.2	84.6	▲2.0	104.3	3.7	88.6	▲0.3	140.6	18.4
7	88.6	1.8	108.4	▲14.5	43.2	▲9.4	83.7	▲0.9	107.7	4.7	90.4	▲1.0	131.5	10.8
8	83.2	▲2.6	114.0	6.7	39.7	▲17.2	92.9	7.5	100.1	▲3.5	86.4	▲5.9	131.8	7.1
9	86.5	▲1.6	107.3	▲19.6	42.7	▲8.2	86.8	2.1	99.5	▲3.0	90.4	▲1.8	122.5	▲2.6
10	88.9	0.8	108.3	▲7.9	46.2	▲1.5	95.8	8.0	101.8	▲1.2	90.2	0.3	123.0	▲3.9
11	90.0	▲0.1	72.9	▲40.5	50.9	9.4	102.8	12.8	102.4	▲1.5	90.6	▲5.7	124.3	1.7
12	88.2	▲0.2	72.9	▲25.5	52.6	15.6	98.1	2.3	102.0	▲2.0	88.4	▲1.8	129.4	1.4
2015. 1	91.2	▲1.6	78.1	▲20.3	55.7	19.4	114.5	13.2	104.4	▲4.3	93.5	▲4.1	136.1	6.5
2	89.8	▲3.1	85.9	▲18.8	56.5	20.8	101.6	5.7	104.4	▲4.7	93.2	▲1.9	133.7	1.3
3	88.4	2.5	70.6	▲18.6	55.3	18.6	107.2	24.9	106.1	▲0.3	89.7	▲1.9	130.0	2.9
4	87.6	1.5	90.2	▲16.8	52.1	15.1	104.7	21.5	97.5	▲7.2	88.7	4.1	137.1	▲0.7
5	88.4	▲5.1	93.0	▲16.9	50.2	0.0	105.2	11.8	102.9	▲5.9	91.6	▲4.7	133.7	▲0.8
6														
出所	鹿児島県統計課													

項目 / 年月	貿易 輸出金額	貿易 輸入金額	公共工事保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額(非居住用)		新設住宅着工戸数 合計		持家	貸家	分譲	消費者物価指数(2010年=100)鹿児島市		大型小売店販売額	
	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	51.4	7.5	2,006	▲7.8	932	13.5	9,039	4.3	6.0	▲7.0	56.0	99.7	▲0.3	164,957	2.0
2012年	▲25.7	▲5.2	2,376	18.4	1,063	14.0	9,701	7.3	▲3.0	21.8	1.8	99.3	▲0.4	162,863	▲1.3
2013年	81.1	21.6	2,494	5.0	1,075	1.1	11,307	16.6	20.2	17.5	1.4	99.4	0.1	162,842	▲0.0
2014. 5	▲24.8	▲17.5	192	25.4	60	5.3	666	3.4	▲19.1	28.6	94.1	102.1	3.0	12,858	▲2.7
6	1.2	▲12.5	173	▲15.7	65	▲69.4	888	▲1.8	▲16.1	6.7	50.0	101.9	2.6	12,089	▲3.6
7	19.8	67.4	254	23.0	61	▲33.8	535	▲44.2	▲35.4	▲45.0	▲75.3	102.3	2.8	14,507	▲0.7
8	▲15.5	▲15.9	222	▲22.0	65	▲19.8	965	▲2.8	▲25.8	57.0	▲38.8	102.5	2.7	13,242	1.1
9	908.3	▲17.0	256	▲13.4	84	18.5	882	▲21.2	▲27.5	▲13.1	▲19.0	102.8	2.8	11,707	▲1.9
10	23.5	▲21.4	257	5.6	150	116.2	915	▲11.8	▲17.6	▲1.4	▲35.3	102.8	2.7	13,325	▲0.6
11	13.3	▲26.5	171	▲13.3	106	79.0	1,106	7.8	▲23.5	30.6	136.4	102.2	2.2	14,412	1.2
12	16.2	▲9.3	150	▲22.3	49	▲53.2	986	▲15.8	▲36.1	▲17.4	145.8	102.5	2.4	19,046	0.1
2015. 1	▲4.3	▲25.9	103	▲35.3	58	28.0	683	24.4	▲3.4	39.8	116.4	102.1	2.2	12,742	▲1.1
2	▲17.4	▲39.3	97	6.8	58	▲33.8	788	▲14.2	▲7.4	▲20.6	0.0	101.8	2.2	11,134	0.3
3	16.5	▲22.3	151	▲33.8	71	▲33.6	770	▲6.4	▲14.1	39.3	▲60.8	102.5	2.4	13,622	▲13.9
4	▲16.7	▲37.3	145	▲13.7	113	31.4	927	24.1	25.8	26.9	▲26.3	102.9	1.1	12,722	10.3
5	▲21.7	▲4.6	121	▲36.9	60	▲0.6	799	20.0	3.3	20.8	58.6	103.3	1.2	13,315	3.6
6	19.3	▲33.2	175	1.1	92	41.1	1,157	30.3	0.8	40.0	97.6	103.1	1.1	11,979	▲0.9
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 / 年月	乗用車 乗用車新規登録台数		乗用車 軽乗用車販売台数		家計消費支出(勤労者世帯)鹿児島市 可処分所得		消費支出		有効求人倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	25,305	▲20.9	18,618	▲15.2	457,131	1.1	312,314	▲5.9	0.55	64	0.0	38,496	2.0	27,594	2.3
2012年	32,261	27.5	26,228	40.9	438,338	▲4.1	331,023	6.0	0.65	72	12.5	39,277	2.0	28,174	2.1
2013年	30,442	▲5.6	27,432	4.6	465,539	6.2	338,203	2.2	0.71	76	5.6	41,032	4.5	29,574	5.0
2014. 5	1,945	▲1.5	2,024	2.8	335,628	4.5	317,098	▲2.8	0.75	5	▲37.5	41,783	4.5	29,971	6.6
6	2,364	7.5	2,221	5.1	606,828	▲2.0	294,463	8.3	0.75	7	0.0	41,822	2.9	30,050	5.9
7	2,956	19.7	2,293	▲10.8	483,208	▲10.2	339,313	▲15.2	0.75	5	▲70.6	41,316	2.9	30,224	5.8
8	2,192	7.0	1,925	▲8.0	405,388	▲11.0	296,298	▲7.6	0.75	6	0.0	41,843	3.6	30,402	6.3
9	2,724	▲5.2	2,480	▲3.3	384,746	2.6	308,957	0.7	0.77	8	166.7	41,672	3.5	30,625	6.4
10	2,218	▲9.2	1,861	▲3.2	423,829	1.1	330,892	▲1.3	0.78	5	0.0	41,522	3.0	30,887	6.8
11	2,359	▲17.8	2,051	7.6	363,303	▲3.9	295,976	▲10.7	0.80	7	75.0	41,802	3.1	31,271	7.2
12	2,272	▲11.1	2,853	32.3	746,325	▲9.1	352,025	▲5.0	0.81	2	▲71.4	42,403	3.3	31,603	6.9
2015. 1	2,209	▲24.0	2,443	▲6.9	372,460	▲1.1	289,928	▲9.4	0.80	8	0.0	42,195	4.0	31,538	6.8
2	2,524	▲21.2	2,683	▲12.4	415,248	3.9	277,486	▲12.2	0.85	4	▲63.6	42,631	3.9	31,629	6.7
3	3,808	▲14.0	3,462	▲10.5	416,805	18.6	322,134	▲24.7	0.86	6	▲14.3	42,749	3.3	31,743	5.9
4	1,863	0.1	1,669	▲16.2	389,337	9.7	325,575	▲1.7	0.87	8	100.0	43,802	4.0	31,625	5.8
5	1,798	▲7.6	1,698	▲16.1	365,368	8.9	336,126	6.0	0.88	7	40.0	43,505	4.1	31,715	5.8
6	2,321	▲1.8	1,853	▲16.6	570,554	▲6.0	311,587	5.8	0.86	5	▲28.6	43,515	4.0	31,814	5.9
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

家づくり ふくぎん アレコレカレッジ

大好評!

ブランドキャラクター「ユーモ」

会 場 福岡銀行本店中2階 住まいるギャラリー　定 員 各15名

参加無料

シリーズで学ぶ住まいのセミナー

＼1つ参加、全部参加OK!／

デザイン

やさしいインテリア コーディネート入門

カラー　家具・照明・窓まわり　コーディネート体験

時 間 10:30〜12:30
講 師 インテリアコーディネーター

9/3（木） C-211

お金

住宅資金の基礎知識

ライフプラン　住宅ローン　諸費用・火災保険

時 間 10:30〜12:30
講 師 福岡銀行 住宅ローン担当者・保険担当者

9/12（土） C-212

体験付

リノベーションで 理想の空間を手に入れよう!

リノベーションの基礎知識　ペイントワークショップ

時 間 10:20〜12:00
講 師 住まいるギャラリー建築士 塗料メーカー

エイジング風フォトフレームをつくるよ!

9/29（火） C-213

セミナーのお申込みは

■ふくぎんホームページアドレス

http://www.fukuokabank.co.jp

福岡銀行のホームページにアクセスし、「セミナー・キャンペーン・イベント」よりお申込みください。

■ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ

0120-559-655

携帯・PHSからもご利用いただけます。

受付時間／9：00〜20：00（但し、銀行休業日は除きます。）
お電話の場合は、上記へ直接お電話いただき、お申込みください。
予約コード（C211など）とテーマをお申し付けください。

【ご注意事項】

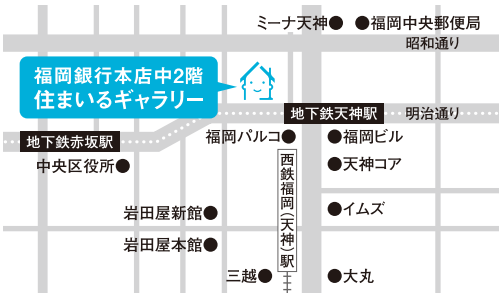
■先着順ですので、お早めにお申込みください。
■受講票等は送付いたしませんので、ご来場の際は受付にてお名前をお伝えください。
■セミナーの受付は開始時間の30分前からとなります。
■セミナー開始後30分経過しますと、受付は終了させていただきます。受付終了後はセミナーにご参加いただけませんので、あらかじめご了承ください。
■セミナーの予定は、予告なしに変更する場合がございます。最新の情報は福岡銀行のホームページをご覧ください。また、自然災害などによりセミナーの内容変更、中断または中止させていただくことがあります。
■駐車場については数に限りがございます。公共の交通機関をご利用ください。

お問い合わせ・ご相談は

住まいるギャラリー
FUKUOKA BANK SMILE GALLERY

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店中2階
【営業時間】平日／9:00〜17:00　土曜／10:00〜17:00
※12月31日〜1月3日はお休みさせていただきます。

TEL 092-723-2290



福岡銀行

平成27年8月31日現在

福岡銀行には
無料で相談できる
建築士がいます!

住まいるギャラリーは、住宅購入やリフォームなどの疑問を建築士に相談できる窓口です。

住まいの“ちょっと相談、ちょっと質問”受付中!!

購入の流れ　土地のこと　業者の選び方
間取りのこと　リフォームのこと　インテリアのこと　etc…

住まいづくりのライブラリーとしてもご利用ください。※住宅の販売・契約は行っておりません。

あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

愛おしい妻への記念碑　タージ･マハル

世界でもっとも美しいと霊廟とよばれるタージ･マハルは、正確無比な左右対称、すべて大理石で造られた巨大建造物です。ムガール帝国の第5代皇帝シャー・ジャハーンが若くして亡くなった王妃のために22年の歳月をかけて、世界各地から最高の職人を集め築いています。

皇帝は自らの霊廟をヤムナー川の対岸に造り、タージ･マハルと橋でつなぐ計画があったと言います。

現在も美しく荘厳な姿は、インドの観光産業を支える重要な世界遺産のひとつです。

バンコク駐在員事務所　佐々木

FFG Watching

見つけたアジア

File.10

［Data］

インド 基礎データ

面　　積	328万7,469平方km
人　　口	12億1,057万人（2011年）
首　　都	ニューデリー
G　D　P	1兆8,768億ドル（2013年）
総貿易額	輸出：3,106百万ドル 輸入：4,480百万ドル
主要貿易品目（2014年）	
輸出	石油製品、宝石類、機械機器
輸入	原油・石油製品、金、機械製品

写真提供：前島吉裕

観世流 能役者

シンガポールのマリーナベイサンズにて。イタリアやフランスなど海外での能公演も多い。

profile

坂口 貴信

SAKAGUCHI TAKANOBU

観世流 能役者
（福岡県出身）

九州の達人
Master of Kyushu
13
頑張るあなたを紹介するコーナーです

時分の花咲く能楽師

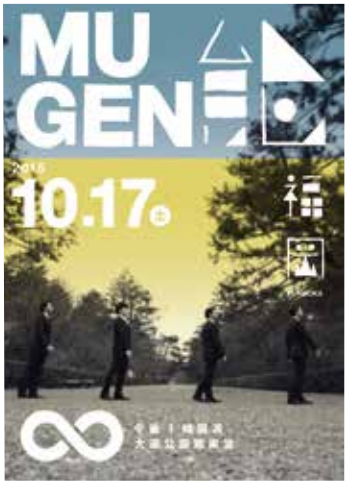
福岡で曾祖父の代から続く能楽師の四代目。幼少期から能楽の稽古に励み、東京藝術大学に進学。卒業後は観世宗家の元で8年間内弟子修業を積み、5年前に独立した。

「舞台は自ずと役者の生き様がでます。だからこそ、日々稽古を怠らず、自分と向き合っていかなければなりません」

今年、新たな取り組みとして若手の能楽師4人で「MUGEN∞能」を立ち上げ、京都、福岡、東京の三都市で能楽公演を行う。

「今しかできないことに挑戦し、志ある仲間と共に役者としての幅を広げたいです」

可能性は無限大に広がっていく。



FFG調査月報[MONTHLY SURVEY　2015年9月 VOL.84]

中秋の名月（9月27日）

福岡銀行

熊本銀行

親和銀行

FFG調査月報84号
2015年9月3日／㈱FFGビジネスコンサルティング
福岡市中央区大手門１丁目８番３号
TEL 092(723)2576　http://www.fukuoka-fg.com/
制作・印刷／久野印刷㈱

非売品